

WINET 情報

ウイネット

No. 7

2001. 3



国立女性教育会館

WINET情報 ● CONTENTS

第7号 平成13年3月

巻頭言

高度な情報センターを目指せ 神津 十月 1

会館事業情報

平成12年度海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業 2

ヌエック・フェスティバル2000 4

第4回世界女性会議（北京）からの女性広報誌の流れ ... 6
(ヌエックフェスティバル2000自由企画プログラム参加)

女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会 10

エル・ネット「家庭教育セミナー」 12

女性教育情報センターより

「女性及び家族に関する統計データベース」紹介 ... 14

海外女性情報

海外の女性センター情報の探し方 15

書誌情報

女性・家族関係雑誌記事インデックス 17

テーマ展示図書案内 55

新着図書案内 60

新刊案内 63

編集後記

WINET（ウィネット）とは...WINET(Women's Information NETWORK system)は、国立女性教育会館が収集している女性及び家族に関する様々な情報のデータベース検索システムの総称です。

「情報化」「IT化」の時代だと言われる昨今だが、この情報という代物は、取り扱いにかなりの熟練を要する。

時代の流れの中で、私もパソコンを使って仕事をする事が多くなったが、仕事の合間に気分転換のため、趣味や興味のある分野のホームページを覗きに、あちこちネット上を散策することもある。

そんな折に最近、とみに感じるのが、情報というものの取り扱いの難しさなのである。

同好の者たちが集まって、何かのテーマについてリアルタイムで話し合うチャットや、思いや考えを書き込む掲示板などを見ていると、時としてたいへん有益な情報を得たり、考えさせられることに出逢ったりする。

けれども何年かそういうWEB上での情報のあり方を見ているうちに、私は落とし穴の一つを見つけたような気がしてきた。

これはごく個人的な体験なのだが、パソコンで使うあるソフトを作っている人のページで、ソフトの改良についての議論が持ち上がったことがある。そのソフトを使っているユーザーがあれこれ意見を書き込み、しばらくしてそれらの意見の大勢を考慮して、制作者はソフトの改良版を作り上げた。

ところが改良版はまったくの不人気に終り、ほとんどの人が従前版を支持する結果となったのだ。掲示板上で圧倒的な意見は、ユーザー全体の圧倒的な意見ではなかったということである。

こういうことは何もWEB上に限らず、日常生活の中にもよくあることで、つまり積極的にものを言わない人を忘れると、進路を見誤ることがある……という怖さである。ある種の若者をテレビで頻繁に取り上げれば、若者はみんなそのようだと思ってしまうがちなのと似ている。分かっている、この落とし穴にはけっこうはまる。

これからの時代を生きるには、「情報」をどのように集め、分析し、そして活用するかという能力が不可欠だ。しかしそのためには同時に、表面に出てきた情報を情報として捉える時に、どれだけサイレントの人々の意見を想像できるかという力も併せ持たねばならないだろう。

国立女性教育会館が、女性の問題の情報、研究の核として、情報発信や流通を担う、その使命は重い。だからこそ目指してほしいのは、単に表面に表れた情報を提示するだけでなく、サイレントを好む、あるいはサイレントにならざるを得ない、サイレントでしかいられない女性たちの思いや問題を、丁寧に浮かび上がらせる、熟練した情報提供ができる高度なセンターである。

プロフィール

こうづ・かな 1958年東京都生まれ。エッセイスト・作家。幼稚園から高校まで東洋英和で学ぶ。ニューヨークのサラ・ローレンス・カレッジ演劇学科に留学し、1980年帰国。以後、ラジオやテレビの司会、雑誌のエッセイと多彩に活躍。国立女性教育会館運営委員。

<著作> エッセイ『あなたの弱さは幸せの力になる』、『親離れするとき読む本』、小説『美人女優』、『パープル・ドリーム』ほか多数。

平成12年度海外婦人教育情報専門家 情報処理研修事業

1. 概要

国立婦人教育会館では、平成12年9月10日から10月19日の40日間、アジア太平洋地域の6カ国から6名の研修生を迎えて、海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業を行った。この事業は、政府開発援助（ODA）の一環として平成元年度から毎年実施しており、婦人教育、女性情報等の専門家をアジア太平洋地域から招致して、女性問題の意識啓発に関する分析・まとめの技術、及び情報メディアの活用を習得するとともに、アジア太平洋地域における女性問題に関して相互理解を深め、女性情報ネットワーク化の促進を図ることを目的としている。

2. 研修生紹介

研修生は以下の6カ国6名であった。

中華人民 共和国 (China)	Dao Hua Hu (ダオ・ハウ・フー) 全国児童及び女性労働委員会事務官
イラン (Iran)	Leira Ahmad Abadipour (レイラ・アハマド・アバデュポー) 女性の参加センター情報科学研究専門家
北マリアナ 諸島 (Northern Mariana Islands)	Rosita Tarlaje Pangelinan (ロシータ・タラジェ・パンゲリナン) 政府女性問題事務所公共情報事務官
タイ (Thailand)	Siriwan Yentang (シリワン・ヤンチェン) 総理府大臣官房室、全国女性問題委員会政策企画分析官
バヌアツ (Vanuatu)	Eileen Roy Marae (アイリーン・ロイ・マラエ) 女性問題省研究コミュニケーション研修教育官
ベトナム (Viet Nam)	Huong Lien Luu (フォン・リン・ルー) ベトナム女性の地位向上全国委員会、ジェンダーと開発リソースセンター促進員

3. 全体プログラム

(1) カントリーレポートの発表

研修生が事前に用意した自国の女性の現状に関するレポートをもとに情報交換を行い、研修生、会館職員、研究員との討議を行った。

(2) 講義

女性問題及び女性情報に関して、日本の教育における男女平等、女性行政、ジェンダーと開発、女性学教育について幅広く学び、また女性情報ネットワークや女性とリテラシー、メディアとの関わりについて学ぶために以下の講義を行った。

- ・「日本の教育における男女平等」有松育子氏
(文部省男女共同参画学習課長)
- ・「日本の女性行政について」池永肇恵氏
(総理府男女共同参画調整官)
- ・「ジェンダーと開発」山口綾氏
(JICA企画環境・女性課ジュニア専門員)
- ・「女性情報ネットワーク」橋本ヒロ子氏
(十文字学園女子大学教授)
- ・「女性と健康」勝部まゆみ氏
(JOICFPシニアプログラムオフィサー)
- ・「女性とリテラシー」青柳茂氏
(ユネスコ・アジア文化センター識字協力課長)
- ・「女性とメディア」アイリーン・M・クニイ氏
(ビジネス・ウィーク誌特派員)
- ・「女性学教育」藤村ファンズロー久美子氏
(東洋英和女学院大学教授)

(3) 情報処理演習



情報処理演習

情報処理演習は研修生の希望及びレベルにあわせて下記の技術の習得を目指した。

! MS-Office2000 (Word、Excel、PowerPoint)

" ウェブページの作成 * 研修生が作成したページは以下のURLで見ることができる。

(<http://www.nwec.go.jp/itt2000/index.html>)

・デジタルカメラを使って素材を収集し、編集加工

・ウェブ上でのエチケット

#インターネット

・インターネットとは何か

・インターネット上での情報検索

\$ネットワークの構築

%データベース

・Accessの紹介

&その他

・NWECの情報システムの説明

・e-businessとは何か

'プレゼンテーション技法

今回の研修では上記の実践的技術を学ぶと共に、特に女性情報がなぜ必要か、自国に戻った後、女性の地位向上のため誰に対してどのような情報発信が必要かということを考え、その成果をプレゼンテーションの日に発表することとした。そのために、藤村ファンズロー久美子氏(東洋英和女学院大学教授)による講義・ワークショップを織り交ぜながらのプログラムとなった。



藤村ファンズロー久美子氏と研修生

(4) プレゼンテーション

プレゼンテーションは主にPowerPointを使つての発表となった。各研修生の発表内容は以下のとおりである。

アイリーン・ロイ・マラエ

「情報の共有について」

シリワン・ヤンチェン「女性の政治参加」

レイラ・アハマド・アバデュポー

「イランの現状について - 男女の各種比較」

ロシータ・タラジェ・パンゲリナン

「女性の生活向上のための情報活用」

フォン・リー・ルー「情報の行政への活用」

フー・ダオ・ハウ

「妊産婦死亡率を低下させるための情報活用」

各研修生とも情報処理演習で習得した技術とワークショップやディスカッションで得たものをふまえて発表を行った。藤村氏もコーディネーターとして参加し、それぞれのプレゼンテーションに対して、質問及びコメントを寄せた。

(5) その他

その他に国立情報学研究所、ユネスコ・アジア文化センター、外国特派員クラブ、東洋英和女学院大学、フォーラムよこはまの視察、コンピュータメーカーの見学、又エックボランティアの受け入れによるホームビジットや川越散策、また、しの笛のコンサートや又エックボランティアによるお茶会等の日本の伝統文化体験も行った。



国立情報学研究所への視察

4. 来年度に向けて

来年度より日本を含むアジア太平洋地域の行政及びNGOの指導者を対象者とした情報処理技術の研修を行う予定である。詳細は検討中の段階であるが、この研修を通じて、情報ネットワークを構築することにより、国際的な女性のエンパワーメントを実現することを目指している。

(国立女性教育会館情報交流課専門職員

合田 美恵子 / 青木 一恵)

ヌエック・フェスティバル2000 出会い・感動・ネットワークー男女共同参画社会の実現へー

国立婦人教育会館は、平成12年11月10日(金)より12日(日)までの3日間、男女共同参画社会の形成に向けた学習・活動を行っている団体・グループ等を対象として、参加者相互の学習、交流及びネットワークづくりを目的とする「ヌエック・フェスティバル2000」を約700名の参加者を得て実施した。

1. 事業の特色

「ヌエック・フェスティバル2000」は、昨年度実施した「男女共同参画学習フェスティバル'99 in ヌエック」と同様、実行委員会(東北・北海道地区、関東地区、東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区、九州地区から推薦された6名、ヌエックボランティアから2名、会館職員1名計9名)を組織した。より実行委員の意見を反映させるために、ヌエックとの共催事業とした。またヌエック・ボランティアから希望者を募り、ワーキング・グループを組織し、フェスティバルの企画・運営をサポートした。

参加者は、団体・グループを主な対象としているが、一般参加者の44団体・グループのうち、地方自治体が企画する国内研修団体が約8割を占めた。また自由企画プログラムの種類はさま



男女共同参画の寸劇を演じるコント集団
「ザ・ニューズペーパー」

ざままで、「ヌエック・フェスティバル2000」は、まさに多様な生涯学習を展開している全国の団体・グループの出会い・交流・ネットワークの場となった。

2. 事業の概要

第1日目は、男女共同参画社会を参加者に楽しく理解してもらおうと、コント集団ザ・ニューズペーパーによるコント「ザ・ニューズペーパーと一緒に考えよう、男女共同参画社会」、そして男女共同参画社会の形成に向けたそれぞれの地域の取組みと、今後の課題を考えるシンポジウムを行った。



シンポジウム

『男女共同参画 - それぞれの地域から - 』

シンポジウム『男女共同参画 - それぞれの地域から - 』は、大野曜国立婦人教育会館長をコーディネーターとして、志村直毅氏(山梨県東八代郡石和町「ホップ・ステップ・ジャンプ」推進委員会委員)・細谷洋子氏(北海道男女平等条例市民案策定プロジェクト代表)・三隅佳子氏(北九州市立女性センター「ムーブ」所長)により、男女共同参画社会基本法を受けて条例づくり等に取り組む地域の現状及び住民と行政とのパートナーシップを考えた。

はじめに、志村氏から男女共同参画の視点で行う石和のまちづくりの取組及び今後の課題についての報告があった。「ホップ・ステップ・ジャンプ」推進委員会委員として参加した出前講座、いろいろな場所でのアンケート等から感じたこと、そしてその地道な活動をもとに、困難があっても冷静にかつ賢く対処して、理想的な男女共同参画社会の形成をめざしていることについて話をした。

細谷氏は、志村氏とは対照的に「いかれる女たち」「鬼のようだ」と言われながらも、条例づくりを行政だけに任すのではなく、「ホットに、ホットに」住民の立場で市民案を考えた経緯、市民案の特徴、そして今後の課題について報告した。

三隅氏からは、男女共同参画社会の形成をめざすためのGOとNGOのパートナーシップについての説明があり、連携の具体例について報告があった。

3人のシンポジストに対し、会場からは、男女共同参画に関わる予算、男性の意識改革等についての質問が多数出た。三隅氏の「愛しているから夫の自立を望む」「自分の家庭の中、自分の足元を見つめ、自分の夫をどのように変えていくことができているのか、自分の娘や息子をどのように教育しているのか、自分自身への問いかけが原点である」の発言に、会場からは大きな拍手がわいた。

夜に行った「交流の夕べ」には約300人が参加し、活動事例紹介や北見サンバ・秩父音頭等の地域の踊りや歌が披露され、楽しくにぎやかに交流を深めた。



交流の夕べで登別「鬼おどり」を踊る参加者

2日目は、自由企画プログラムを中心とした日程になっており、研修室・実技研修室等を利用したワークショップ形式のプログラム・展示の他に、講堂ステージで演劇・楽器演奏・朗読・踊り等のパフォーマンスを行った。

公募による60件の自由企画プログラムは、ジェンダー問題・女性政策・高齢化・人権等に関する日頃の活動及び学習成果の発表を中心とするワークショップや展示の他、寸劇、演奏等のパフォーマンス、お茶、和紙すき等の体験学習等が行われた。夜は自由交流「地域ブロック別交流 - 地域でネット -」を行った。

3日目は、本フェスティバルの実行委員と会館職員が担当するテーマ別討論があり、それぞれの会場で全国の参加者との活発な意見交換を行った。

!男女共同参画・学習

担当：畑 恒子委員

内田 千賀子委員

小林 千枝子（事業課専門職員）

"高齢化社会

担当：岩田 京子委員

土岐 都子（事業課専門職員）

#生涯学習とボランティア

担当：山下 清子委員

金 朝子（事業課専門職員）

\$労働

担当：大高 ゆみ子委員

伊藤 眞知子（事業課研究員）

%子育て支援・まちづくり

担当：樋田 京子委員

中野 洋恵（事業課主任研究官）

&男性とともに

担当：野村 知恵子委員

島田 悦子（事業課事業主任）

フェスティバル開催期間中、婦人教育情報センター前ロビーでは、国連特別総会「女性2000年会議」特別展示が行われた。また自由企画プログラムとして、試食室を会場とした又エックボランティアの男性による「茶房」も好評であり、充実したフェスティバルとなった。

（国立女性教育会館事業課専門職員 土岐 都子）

ヌエックフェスティバル2000自由企画プログラム参加 女性教育情報センターボランティア自主グループ(J.T.V.)活動 第4回世界女性会議(北京)からの女性広報誌の流れ

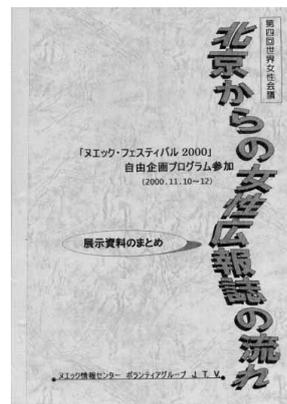
国立女性教育会館女性教育情報センター（以下情報センター）で活動するボランティアの自主グループ（J.T.V.）は、11月に開催された「ヌエック・フェスティバル2000」の自由企画プログラムに展示の形で参加しました。テーマは「第4回世界女性会議（北京）からの女性広報誌の流れ」。当日は実際に女性広報誌の作成に携わっている方、大学で教鞭をとっている方など多くの方々に見ていただきました。なかには資料として欲しいとの要望もあり、よい記録にもなるので、展示した内容を冊子にして12月に発行しました。6月からスタートしたそのとりくみを紹介します。

情報センターならではの学習テーマ 女性広報誌

情報センターでは、女性・家族に関する様々な資料が所蔵・提供されていますが、地方自治体等から発行された女性広報誌も多数寄贈されています。それらは情報センターのボランティア活動により整理され、誰でも何時でもみられるように整理されています。今回、「ヌエック・フェスティバル2000」に参加するにあたって、これらの女性広報誌を活用して、女性をとりまく状況や行政のとりくみ、動きをさぐることにしました。対象としたのは、第4回世界女性会議（北京）が開催された1995年以降に情報センターで受け入れた6年間の都道府県・政令指定都市等から発行された女性広報誌で、取り上げられている特集記事（特集記事がない場合はメインの記事）の流れを、分野・年度・都道府県別に整理、比較してみました。

その結果を展示し、フェスティバルの参加者とともに女性広報誌がどのような役割を果たしているか、考えてみる機会としました。

作成した冊子



グループみんなでする作業だから
大変でも楽しい

<特集記事をひろい、分類する>

1995年から2000年8月までの、都道府県・政令指定都市発行の約100種類の女性広報誌バックナンバーから特集記事をひろいました。その内容を大分類（北京会議行動綱領による）し、さらに小分類（情報センター新聞クリッピングの分類を参考）しました。大分類は、12の行動綱領とそれにあてはまらなかった2つを設けて14の分類としました（次ページ表1「女性広報誌の記事分類」参照）。

記事の内容によってははっきり分類できないものもあり、メンバーで話し合ったり、または一人一人の判断にゆだねて、作業をすすめました。フェイスシートにあたる都道府県名、誌名、発行部署、発行地、発行回数などもあわせて調べました。

<集計し、グラフ化する>

できあがったデータをチェックし、パソコンにうちこみ、年度による分類項目件数、都道府県別分類項目件数などを図表やグラフにしました。手作業の部分もあって、集中力や根気を必

要としました。

<分析・考察する>

ひろいだした1027件の特集記事について、分類ごとの件数・内容について、また年度による特色があるものについて、分析・考察しました。

<年表を作成する>

女性広報誌の背景として、1975年から2000年までの国内の動きと国連・世界の動きの主なものを年表にしました。

<誌名の変遷をたどる>

女性広報誌は内容のみならず発行部署、誌名、表紙、判型なども変化してきています。その中で、誌名の変遷を一覧表にしてみました。

分担して記事を読みまとめた考察

分類項目及び年度による考察のなかから、「B：女性と教育について」、「D：女性に対する暴力について」、「J：女性とメディアについて」をご紹介します。

B：女性と教育

広報誌の主な目的の一つは啓蒙であるので、教育に分類されるものが308件（30.0%）と一番多かった（表2参照）。特に社会教育が244件と最も多く、およそ8割を占めている。内容としては、イベント、講演会、海外視察（スウェーデン、ドイツ等）の報告を

通し、女性の地位向上のため、あるいは男女共同参画社会へと進めるにあたり、その第一歩として意識改革の必要性を強調している。また、ジェンダーフリー、女性のエンパワーメント、女性が意思決定の場に参画することの重要性を総合的に浸透させようとの動きが力強く読み取れる。男性向け教育（29件）としては、女性のみならず男性の意識変革の必要性が不可欠で、「男」だからと肩肘張ってがんばるだけでなく、女性を対等なパートナーとして生きる選択を勧めている。学校教育（8件）では、これからの男女共同参画社会に生きる世代として、個性と能力を十分に発揮することができる教育へと進める努力がうかがえる。

D：女性に対する暴力

この項目は26件（2.5%）で7位であるが、1998年には9件と前年の3倍になっている。これは、この年以降ドメスティックバイオレンス（13件）に対する社会の関心が高くなっている一つの現われと見ることができる。1998年に東京都の

大分類		小分類		内容例
A	女性と貧困	A-0		母子家庭
B	女性と教育	B-0		性教育、職業教育、家庭科男女共修研修、派遣、報告、ジェンダー、講座、イベント
		B-1	学校教育	
		B-2	社会教育・生涯学習	
		B-3	男性向け教育	
C	女性と健康	C-0		ピル、不妊治療、摂食障害、エイズ
D	女性に対する暴力	D-0		家庭内暴力 性的いやがらせ 援助交際
		D-1	D・V・	
		D-2	セクハラ	
		D-3	売買春	
		D-4	ストーカー	
		D-5	相談、救済	
E	女性と武力紛争	E-0		
F	女性と経済	F-0		賃金差別、昇進差別、均等法 家事・育児・介護
		F-1	起業家	
		F-2	労働条件	
		F-3	アンパイドワーク	
G	権力及び意思決定における女性	G-0		政治参画、女性議員、審議会、人物紹介
H	女性の地位向上のための制度的な仕組み	H-0		女子差別撤廃条約
		H-1	男女共同参画基本法関連記事	
		H-2	育児介護休業制度関連記事	
		H-3	施設(女性センターなど)設立等	
		H-4	～プラン	
		H-5	夫婦別姓	
I	女性の人権	I-0		レスビアン、外国人花嫁、非嫡出子、憲法下の女性の人権
J	女性とメディア	J-0		
		J-1	女性情報発信	
		J-2	差別的表現	
K	女性と環境	K-0		ダイオキシ 遺伝子組替え
		K-1	公害	
		K-2	食品と安全	
L	女児	L-0		ポルノグラフィ、性器切除
M	その他日本のかかえている問題	M-0		ボランティア、平和運動、国際交流 保育所、介護保険、高齢者施設
		M-1	少子・高齢化	
		M-2	年金	
		M-3	家庭・家族	
		M-4	女性の自立	
W	北京・女性2000年会議	W-0		北京女性会議、女性2000年会議

* A-0～M-0は小分類には当てはまらないが、大分類には該当するもの。

表1 女性広報誌の記事分類

実態調査の結果がマスコミに報道されたり、総理府が週刊誌に啓発のための政府広告を載せた影響もあるであろう。記事の取上げ方は抽象的で一般論的なものが多いが、DVの説明、データ、対処法など詳しく具体的に8頁をさいて言及したものもある(鹿兒島)。他にも事例をあげたり対談形式をとったりと、わかりやすくし、身近なものと感じられるように取上げられている。セクハラ(7件)とDVをあってはならないものという同じ視点で、女性が被害者意識を持つだけでなく、当然の権利として排除に努力する姿勢を応援する論調のものもあり頼もしく思えた。

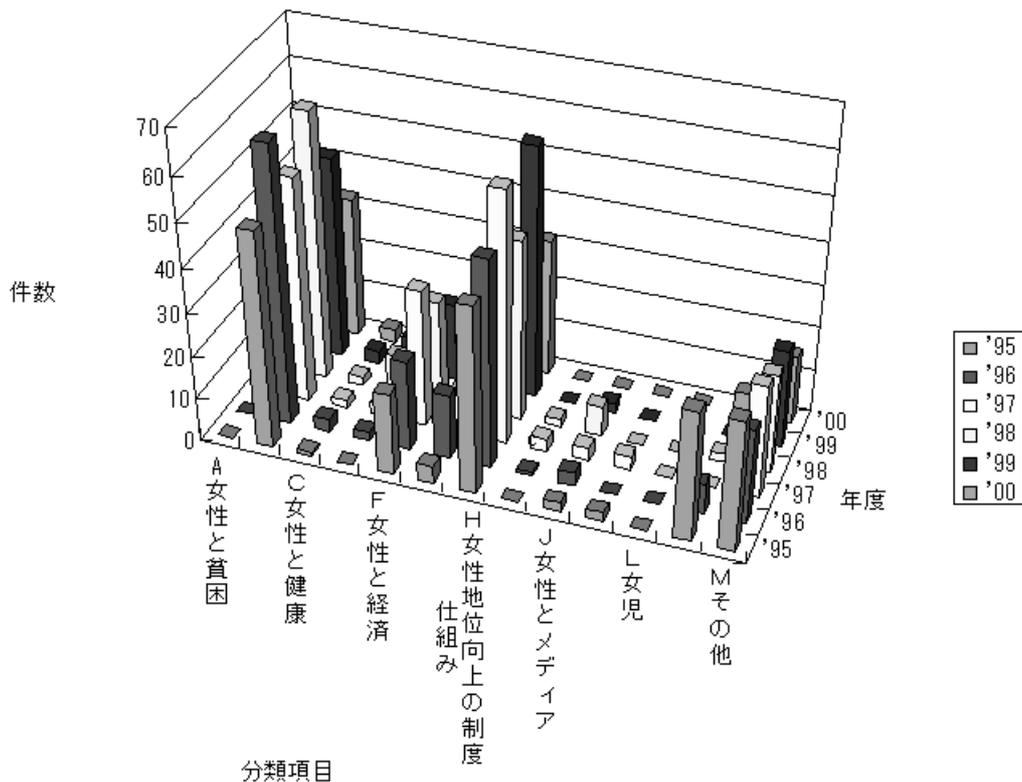
表2 分類項目件数順位表

順位	記号	項目	件数	%
1	B	女性と教育	308	30.0
2	H	女性の地位向上のための制度的な仕組み	281	27.4
3	M	その他日本のかかえている問題	140	13.6
4	F	女性と経済	124	12.0
5	G	権力及び意思決定における女性	62	6.0
6	W	北京・女性2000年会議	44	4.3
7	D	女性に対する暴力	26	2.5
8	J	女性とメディア	17	1.7
9	C	女性と健康	14	1.4
10	I	女性の人権	6	0.6
11	K	女性と環境	5	0.5
12	A	女性と貧困	0	0
12	E	女性と武力紛争	0	0
12	L	女児	0	0
合計			1027	100.0

J：女性とメディア

この項目は17件(1.7%)と非常に少ないが、記事の中で次のような重要な指摘がされている。女性の地位向上に貢献できるメディアに、ジェンダーの意識が低く、雑誌やテレビのCMで女性を性的対象物として扱っていることが多い。その原因としてメディアの方針決定に参画

している女性が少ないことがあげられる。女性の視点を生かした編集や番組作りをするためにメディアリテラシー(メディアを使いこなすコミュニケーションをする能力)を身につけ「表現される側の権利」にも配慮すべきである。プロ意識を持った女性の進出がメディアを変えると訴えている。



分類項目・年度別掲載件数 1995-2000 (8月)

工夫を凝らした展示



展示は、グラフ、表、年表、考察内容などとともに、女性教育情報センターの協力をえて、女性広報誌の実物を展示しました。都道府県・

政令指定都市ごとに並べ、壁にはった日本地図とテープで結ぶなどの工夫をこらしました。



おわりに

全国から女性広報誌が寄贈され、ボランティアの地道な活動によってそれらが整理され、いつでも閲覧できるという条件がそろったからこそ、今回の展示ならびに冊子はできました。また、約100種類の女性広報誌の1000件を超える特集記事に目を通し、タイトルを書き出し、集計をし、考察を書くためにもう一度読み返すといった作業は、一人ではなかなかできません。グループだから可能だったのではないかと思います。女性広報誌の充実に、国立女性教育会館が貢献していると同える誌面に出会うこともありました。この研究活動を通し、協同することの楽しさと達成感を学んだように思います。

女性広報誌の整理にかかわって

女性教育情報センターに所蔵している女性広報誌の整理をボランティア活動として20年あまり続けてきました。時代とともに、発行部署は婦人問題担当課、婦人課、婦人政策室から女性課、女性政策室さらに男女共同参画室へと変わりつつあり、誌名は「婦人」から「女性」へ、次第に「女と男」「参画」「男女共同参画」などの誌名のもの創刊されてきています。

北京会議以降、内容もエンパワーメント、ジェンダー、男女雇用機会均等法、男女共同参画社会など女性問題に対する意識が高くなり、女性が活発に活動している様子を知ることができます。

「ヌエック・フェスティバル2000」に女性広報誌をテーマとした展示に参加することになり、役割分担を決め、とりくんでしましたが、“わかりやすく、見やすい”展示であったとの声があり、これまでの活動が生かされた成果だと思います。女性広報誌の役割は大きかったと思う反面、これからの課題もあります。さらに前進できればと思っています。

(ヌエック情報センターボランティアグループJ.T.V: 青木百枝・内田千賀子・遠藤和徳・栗田澄江・小久保圭子・白石嘉子・鈴木優子・高市美佐子・中田芳恵・野村知恵子・早川聖子・森恭子・森幹雄・森田緑)

女性関連施設等 情報ネットワーク研究協議会

今年も12月、嵐山へ

2000年12月13日（水）から15日（金）に、『女性関連施設等情報ネットワーク研究協議会』が行なわれました。これは、「男女共同参画社会における女性関連施設等の情報活用方法・情報機能の連携のあり方等について研究協議を行うとともに、女性情報に関する専門的・実践的な研修を行ない、各施設・職員間のネットワーク形成の推進を図る」ことを目的に、女性情報等についてインターネットで情報発信を現在行なっているか、行なう予定のある施設の情報担当者を対象に開かれるようになって今回が2回目の事業になります。前回は、1泊2日でしたが、今回は2泊3日とたっぷり時間をかけ、いろいろな課題に取り組みました。

女性関連施設DB、更新ツールの使い心地は？

まず、初日最初のコマは、WinetCASSの現状と今後の予定についての報告を会館から行ないました。もともと、WinetCASSはこの会議での参加者の発言からアイデアを頂いたもので、この日は改めて参加者にご紹介しました。

参加者には、日頃ご利用頂いているCASSですが、女性情報のポータルサイトとしての必要性、自分たちの日々の仕事が確実にこのシステムを支えているのだということを改めて実感なさったようです。

また、ほぼ完成した女性関連施設データベースの更新ツールをお披露目、いくつかの施設が実際にデータの更新に挑戦しました。これは、ネット上で自分たちのデータが更新できるものでこれにより随時更新が可能になり、常に新しいデータを利用者にお届けすることができます。実際の更新作業も簡単にできるので、挑戦した参加者は、楽々と作業をこなしていました。

なぜネットワーク？

2日目の午前中は、4人の方に事例報告をしていただきました。そもそも今回の研究協議会は『ネットワーク』と『レファレンス』をキーワードにプログラムを組み立てましたが、この日は、『ネットワーク』ということで「地域のネットワークと共通検索」（岐阜県生涯学習センター 久世均氏）と「女性情報ネットワークについて」（東京ウィメンズプラザ 青木玲子氏）の2本、『レファレンス』では、「国際情報の収集と提供」（ヌエック 青木一恵）、「レファレンス分析」（大阪ドーンセンター 尼川洋子氏、木下みゆき氏）の2本の事例報告がありました。

岐阜県生涯学習センターの久世氏からは、岐阜県生涯学習総合情報システム『LLNet』の紹介とこのシステムを構築した背景、考え方、なぜ、生涯学習の共通検索システムが必要だったのか等を報告してもらいました。

次に、東京ウィメンズプラザの青木氏から1996年に発足した「女性情報ネットワーク」の紹介と今後の他施設とのネットワークの仕方などについて報告がありました。「女性情報ネットワーク」とは、「女性情報の発信者である出版社、ウィメンズブックストア、新聞社やミニコミの編集者、女性センターの利用者と女性情報に関心のある人たちのネットワークで女性をエンパワーメントする情報について語り合う」という目的で発足したもので、自分たちが話を聞きたいと思ったゲストを呼ぶことを基本に続けられてきました。しかし、メンバーが職場でワンパースンであったり非常勤であったり、それぞれが忙しく、人の入れ替わりも激しい、という状況で続けていくのはなかなか困難だったそうです。そこで、今後のネットワークの可能性として人を通して施設が結びつくネットワークを作ってはどうかという提言がなされまし

た。

また、地域の生涯学習ネットワークに入って、そこでジェンダーの視点を入れることの重要性についても言及されました。その他様々なネットワークの形やあり方等について言及されましたが、ネットワークを通して女性情報を提供し合い、共有していくことの重要性とその時にコーディネーターとして女性センターが果たす役割の大切さを述べられました。

レファレンス分析、面倒だけれども重要な業務

事例報告の後半は、『レファレンス』がキーワードです。まず、なかなか情報収集が難しい国際情報について又エックの青木一恵から報告がありました（今号「海外女性情報」参照）。どういった国際情報が利用者から求められているか、情報収集の方法として、インターネットの活用と紙媒体の重要性、日本語での情報の見直しなど、また逆に海外に対しに日本から情報提供をしていくことの重要性についても報告がありました。

最後は大阪ドーンセンターの尼川、木下両氏の「レファレンス分析」。レファレンス分析を行なうことは、利用者のニーズを把握しそれに対応した資料収集や情報発信のため、ライブラリーマネージメントの基礎データとして、スタッフ間での情報の共有のために、また、情報部門がどういったサービスを提供しているのかを組織内でアピールする手段としても必要です。さらに、ここで収集分析された事例は、事業の企画に活かすなどセンター内の他の事業とも有機的に連携がなされています。

レファレンス分析を行なうときには、利用者のテーマ別ではなく回答の内容で分類する方がよいということがポイントとしてあげられました。それはレファレンスを受け、何を知りたいのかについて利用者と話し合っていくと最初のテーマとずれが生じることが往々にしてあるからです。利用者のほんとうのニーズを知るためにいかにカウンセリングが重要であるかということでしょう。

日頃の実力発揮、レファレンス実習

事例報告の後、前日参加者から出されたレファレンス課題を受けてのレファレンス実習です。まず、番号順にグループを作りテーマ毎に分かれた課題をランダムに受け取ります。この実習の目的は、使えるツール、新たなツールを

発見することと、戦略の立て方の情報交換をすることです。課題に対して適当な資料にあたるまでの「どうやって選んだか」、「なぜ選んだか」のプロセスを発表のためのレポート用紙に記入、後で他のグループと意見交換をします。

日頃、レファレンスに取り組んでいる参加者同士、いろいろなツールやちょっとしたテクニックなど話が弾みます。

楽しいIT革命

レファレンス実習の後、文部省生涯学習局学習情報課長の岡本薫氏から「IT革命と情報ネットワークの課題」と題した講義を頂きました。「情報」とは何か、「情報化」とは何か等、巧みな話術にのせられ、楽しい時間を過ごしました。

協議が済んで日が暮れて

最終日には、今後のネットワーク研究協議会のあり方や、必要とする情報・データベース、他施設へのサポート等について研究協議を行ないました。

WinetCASSや女性関連施設データベースの更新機能などは、このネット研の大きな成果ですが、今後共同構築していきたいデータベースとして、ミニコミ誌や各地で活動するグループの情報、事業の講師選びに役立つようなものを等々が出され、今後も引き続き検討していくことになりました。

また、今後パソコンが入る施設が増えていくであろうことが予想されますが、現在この研究協議会の対象とされていない、ネット上での情報提供を行っていない施設に対して、どういったサポートをしていくか、会館では、来年度の事業として女性関連施設職員向けの事業として『女性関連施設職員のためのICT（情報コミュニケーション技術）習得サポートプロジェクト』を検討中ですが、ネット研として他施設に何を提供できるか、自分たちは今後どのような研修機会、研修プログラムが必要かについても意見がかわされました。

その他、全国規模の会だけでなく、地域ブロックでの会の開催希望や、今回から使用されているメーリングリストの運営方法、さらには、ネット研のメンバー対象のHPの開設など多くの提案がなされました。

（国立女性教育会館情報交流課専門職員

宮沢 紀美）

エル・ネット「家庭教育セミナー」

国立女性教育会館では文部科学省からの委嘱により教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）を活用して配信する番組「家庭教育セミナー」を制作し、2000年7月から2001年3月まで15回にわたって放送した。エル・ネットとは平成11年7月から文部省が本格運用を開始している社会教育の衛星通信ネットワークで、全国の教育関連施設を双方向衛星通信と地上の通信回線で結び衛星通信地球局と受信局間で双方向の教育情報ネットワークの形成を目指している。全体を制御するHUB局を中心に、全国各地の生涯学習施設、教育委員会、学校施設に設置される受信局で構成され、受信設備は全国で1500ヶ所を越える施設に設置されている。

このシステムの活用によって地域における家庭教育学習の支援をすすめる、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備することができるのではないだろうか。そこでそのひとつの方法として家庭教育を考える上での教材、資料になる番組を制作し、15回にわたって放送した。

放送は月に2回、金曜日の19:00～20:00とした。この時間を設定したのは、働いている人にもぜひ見てほしいと考えたからである。特に現在大きな課題となっている父親の子育て、家庭教育参加を進めるためには男性が家庭教育に関心を持つことが必要で、そのための時間を設定した。

15回の番組は第1シリーズ「しつけ集中シリーズ」、第2シリーズ「父親の家庭教育参加のためのシリーズ」、第3シリーズ「明日の親のためのシリーズ」で、それぞれのシリーズは5回の番組で構成



されている。また各回とも放送時間の最後10分は文部科学省で作成している「家庭教育手帳」「家庭教育ノート」の時間としてそれぞれの目次に沿って解説を加えた。

以下、各回のプログラムの概要を報告する。

しつけ集中シリーズ

第1回 7月14日（金）19:00～20:00

テーマ「親子のコミュニケーション」

世代間のギャップが言われる中で親子の絆を深めるためのコミュニケーションについて考えた。

講師：河合 隼雄（国際日本文化研究センター所長）
聞き手：残間 里江子（メディア・プロデューサー）

第2回 7月28日（金）19:00～20:00

テーマ「親から学んだもの」

伝統ある狂言の世界に生まれ育った狂言師 和泉元彌さんをゲストに親から学んだことや伝統について考えた。

対談：和泉 元彌（狂言師）

残間 里江子（メディア・プロデューサー）

第3回 8月4日（金）19:00～20:00

テーマ「基本的な生活習慣としつけ」

子どもの発達過程について理解し、どのようなしつけが必要なのかを明らかにした。

講師：藤崎 真知代（明治学院大学教授）

第4回 8月18日（金）19:00～20:00

テーマ「子どもの社会性を育てる」

他人に迷惑をかけない、差別をしないなど子どもの社会性について理解を深めた。

講師：汐見 稔幸（東京大学助教授）

第5回 9月1日（金）19:00～20:00

テーマ「私の子育て論」

“文壇最強の子育てパパ”の異名を持つ作家鈴木光司さんの経験談をもとに父親の意味について考えた。

対談：鈴木 光司（作家）

残間 里江子（メディア・プロデューサー）

父親の家庭教育参加のためのシリーズ
第1回 10月6日(金) 19:00~20:00
テーマ「夫婦のコミュニケーション」
家庭教育、子育てを考える上で父親と母親のパートナーシップが重要である。夫婦のコミュニケーションや家族のつながりについて考えた。
対談：広岡 守穂(中央大学教授)
河野 真理子(株)キャリアネットワーク
代表取締役社長)

第2回 10月20日(金) 19:00~20:00
テーマ「父親の地域参加」
様々な地域参加は親子のコミュニケーションの場として、また自然活動の場としても大きな意味を持っている。父親が多様な地域活動に子どもとともに参加し、子どもとともに育っていくことの重要性を話し合った。
対談：岸 裕司(秋津コミュニティ会長)
三上 欣也(日本PTA全国協議会教育問題委員長)
聞き手：金 朝子(国立女性教育会館事業課専門職員)

第3回 11月3日(金) 19:00~20:00
テーマ「父母の子育て経験」
日本の父親の家庭教育への参加は、諸外国と比較して少ないといわれる。諸外国の実情とも比較しながら日本の父母の子育て経験の実態を明らかにした。
講師：牧野 カツコ(お茶の水女子大学教授)
聞き手：中村 克洋(フリーアナウンサー)

第4回 11月17日(金) 19:00~20:00
テーマ「家庭での父親の役割」
父親の役割とは何かについて、諸外国の実例も示しながら父親像を考えた。
対談：ケント・ギルバート(タレント)
太田 睦(会社員)

聞き手：千葉 まゆみ(アナウンサー)
第5回 12月8日(金) 19:00~20:00
テーマ「仕事と子育て」
父親の子育て参加が言われるようになってきたが、父親の子育て参加は進んでいるのか、父親も母親も子育てに関わる時間をどのように確保していけばいいのか。子育てと職業のバランスについて考えた。
対談：下村 健一(元TBSキャスター)
西東 桂子(フリーエディター)

明日の親のためのシリーズ
第1回 1月12日(金) 19:00~20:00
第2回 1月19日(金) 19:00~20:00

テーマ「今どきの妊娠・出産事情」
第1回 子どもを産むということ
第2回 子どもを育てるということ
最近の妊娠・出産をめぐる状況について紹介するとともに、乳児期の子どもへのかかわり方や子どもを産み育てることの意味についてパネルディスカッションを実施し、2回にわたって放送した。
コーディネーター：中村 克洋(フリーアナウンサー)
講師：大日向 雅美(恵泉女学園大学教授)
安達 知子(東京女子医科大学助教授)

山田 まりや(タレント)
第3回 2月2日(金) 19:00~20:00
テーマ「いろいろな子育て・外国の子育て事情」
各国の子育て事情や日本との比較をとおり、どのように子どもを育てるかについて、視聴者の意見や感想を交えて考えた。
コーディネーター：西東 桂子(フリーエディター)
講師：ミュリエル・ジョリヴェ(上智大学教授)
ペマ・ギャルボ(岐阜女子大学教授)

第4回 2月16日(金) 19:00~20:00
テーマ「みんなで支える子育て」
子どもを持つ家庭を支えるための様々な制度の現状について理解し、子育てしやすい社会にしていくなめにはどのような制度の充実が必要かを考えた。
講師：上出 弘之(子どもの虐待防止センター理事長)
河野 真理子(株)キャリアネットワーク
代表取締役社長)

聞き手：西田 百合子(フリーアナウンサー)
第5回 3月2日(金) 19:00~20:00
テーマ「21世紀の子育てのために」
急速な少子高齢化にともない21世紀の日本がどのような社会になっていくのか、子どもが育つ環境がどのようなようになっていくのか、今後の展望を議論した。
講師：鹿嶋 敬(日本経済新聞社編集委員・論説委員)
棕野 美智子(日本社会事業大学教授)
山田 昌弘(東京学芸大学助教授)

今回の「エル・ネット家庭教育セミナー」では番組を制作し、それを放送するという方法をとった。今後は遠隔地を結んだ双方向性を重視した対話型の番組構成も考えられる。情報通信分野の技術革新はめざましい。新しい様々な情報・コミュニケーションの技術を活用したプログラムの内容をどのように組み立てていくか、それが21世紀の大きな課題となっていくのではないだろうか。

(国立女性教育会館事業課主任研究官 中野 洋恵)

海外の女性センター情報の探し方

当館の女性教育情報センターには「海外の女性センターについての情報が知りたい」というレファレンスが多く寄せられる。今日では海外の情報というと、インターネットでの検索をまず最初に考えるであろう。ここでは海外の女性センターを探す際に役立つと思われるサイトをいくつか紹介すると共に、情報収集の方法について考えてみたい。

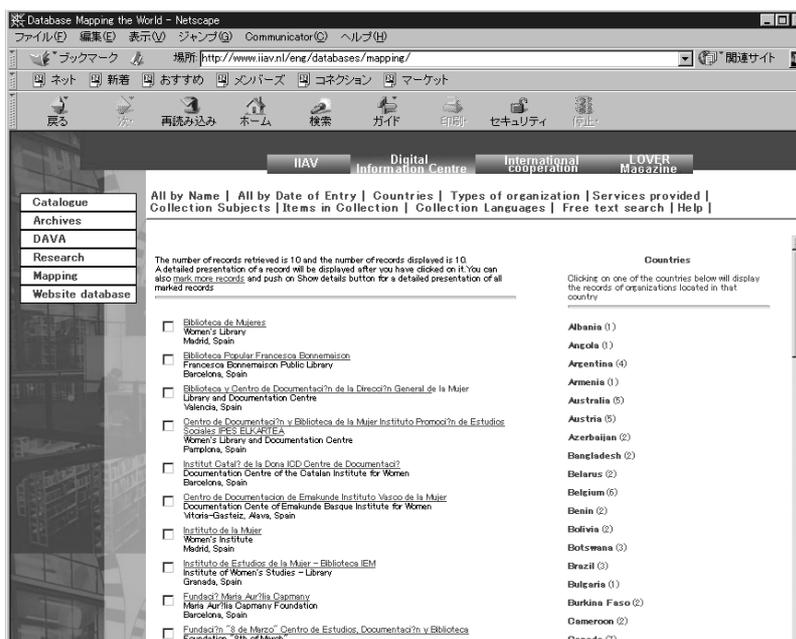
1. インターネットによる検索

まず「女性センター」と言っても、海外に日本の女性センターと同じような設置形態、活動内容の組織はほとんどないと言えるであろう。そのことを念頭に置いて検索を行う必要がある。効率よい検索をするためには、自分で使いやすいサーチエンジンに慣れておく、自分なりのブックマークを作っておくなどの工夫も必要

である。さまざまなサイトのURLが紹介されている図書などを参考に実際に検索を行い、役立つと思われるサイトを探しておくことが大切である。以下、関連のサイトをいくつか紹介する。

IIAV (International Information Centre and Archives for the Women's Movement)
<http://www.iiav.nl/eng/databases/mapping/index.html>

1998年に女性情報に関する国際会議 (KnowHow Conference) を開催したオランダの機関。その会議と連動した作られたのが Mapping the World databaseである。検索結果画面は以下のとおりである。(画面1) 表示項目も簡潔で、ここに掲載されている情報でほとんどの場合は充分であろう。

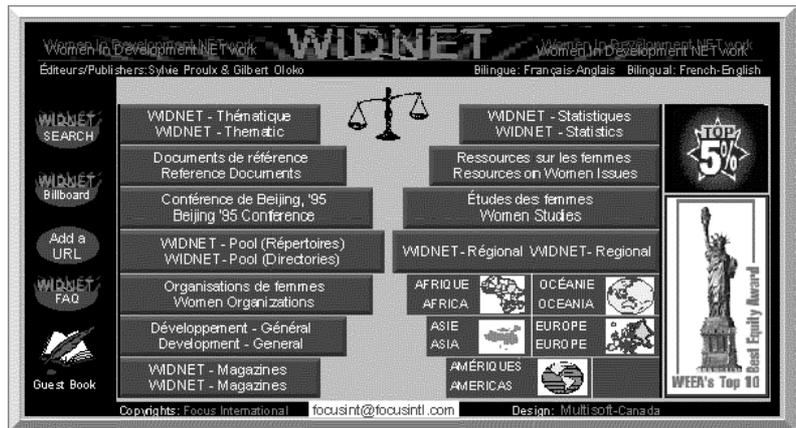


(画面1)

WIDNET (Women in Development Network) (画面2)

<http://www.focusintl.com/widnet.htm>

"Women organizations" をクリックすると、女性関係機関がアルファベット順に約130機関掲載されている。機関名はわかるがどこの国にあるのかわからない場合などに活用したい。その他、テーマ別のサイトの検索や、女性関連資料・雑誌の情報もある。



(画面2)

The National Council for Research on Women

<http://www.ncrw.org/resources/intlcent.htm>

約90カ国、400機関の住所が掲載されている。表示項目にばらつきがあり、住所のみの情報の機関が多いが、掲載数が多いので、連絡先を知りたい場合に活用できると思われる。

devMEDIA

<http://www.devmedia.org/Category.cfm?Category=22>

"Women working with media for development & democracy" のカテゴリーの中に37のサイトがアルファベット順に並んでおり、そのサイトの短い紹介も添えられている。特にメディアと女性関係のサイトが集められている。

The Women and International Development Program at Michigan State University

<http://www.isp.msu.edu/WID/wwwresources/>

WID関連のサイトを、国際機関及び北米・ヨーロッパ、アフリカ、アジア太平洋、東ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中近東と地域ごとに分けて紹介している。各サイトに1～2行の簡単な説明があり、わかりやすい。全体としては約250件だが、東ヨーロッパ、ラテンアメリカの情報がその4割強となっているのが特徴的である。

2 . 検索結果の検討

「女性センターを探す」という際に参考になりそうなサイトを紹介したが、あくまでも一例である。自分がどこまでの情報(センター名は正確か、国名はわかっているのか等)を持って

いて、今から何を探そうとしているのか(連絡先を知りたいのか、そのセンターの活動を知りたいのか等)を確認して取り組むことが効率のよい検索につながると言える。そして、得られた情報の信頼性、新鮮度を加味しての検索結果の検討が必要である。そのためには以下の点を忘れてはならない。

(1) 紙媒体の情報の必要性

世界中のどこでも同じような速度で情報化が進んでいるとは限らない。ニュースレターや雑誌・図書のみで情報を発信している機関もたくさんある。そうした紙媒体の資料の活用をもう一度考えてみる必要がある。

(2) 日本語での情報の見直し

「海外の」というと、どうしても英語やその国での言語での情報や資料のみを探してしまいがちであるが、日本語で提供されている資料を見直すことも大切である。その情報を提供している機関の信頼性も確認しやすい。

3 . まとめ

インターネットは大変役立つツールであり、現在ではそれを無視しての情報検索は成り立たないと言えるだろう。しかし、提供される膨大な情報から何を選択するかは検索者個々にかかっている。他の情報ツールと組み合わせることで信頼できる、新しい情報を手に入れることが可能となるのである。

(国立女性教育会館情報交流課専門職員

青木 一恵)

女性・家族関係雑誌記事インデックス

当会館女性教育情報センター所蔵の和雑誌のうち、2000年度後半にデータベース化された記事・論文の中から、女性の学習・研究に役立つものを雑誌名の五十音順に掲載しています。

データベース化の遅れを解消するために、昨年度より新しいものを先に入力し、一部保留して順次遡及で入れていくことにいたしました。号数の古いものが収録されているのはそのためです。当会館ホームページ (<http://www.nwec.go.jp/>) で提供している女性情報検索システムWinetCASSの文献情報データベースでは、全データが検索できますので、併せて御利用下さい。

凡例

雑誌名 [巻号] (発行年月日)

特集タイトル

No. 記事タイトル / 執筆者名 (ページ)

あごら [255] (1999.11)

1. めじゃーなりすとのめ：ちょっと変だよ、その「性」感覚 / 与口幸子 (p.56-57)
2. 気になる英語：Transvestite 6 / 奥川睦 (p.89-88)

あごら [260] (2000.07)

特集：憲法があぶない

3. 「女性の権利」と憲法 (p.2-13)
4. 参議院憲法調査会第7回議事録：ペアテ・シロタ・ゴードンさんを迎えて (p.68-77)

あごら [261] (2000.09)

特集：私らしく生きるために：それぞれの向老学

5. いきいき女性の向老学 / 大澤美紀 (p.4-17)
6. 高齢問題と私たちの取り組み：配食サービス<なでしこ>を5年間続けて / 久世須磨子 (p.18-25)
7. ある尼僧の向老学 / 柳澤つや子 (p.26-30)
8. 茶道の世界と老い / 重原惇子 (p.31-35)
9. 田園に生きる：ある大正生まれの80年 / 森田明子 (p.36-45)
10. 対談：日本とインドネシアの送葬儀礼 / 大橋やよ、宮地利枝 (p.56-63)
11. 特定非営利活動法人<ウイン女性企画>認証によせて / 大澤美紀 (p.68-69)
12. 住友電工男女賃金差別事件・不当判決について / 宮地光子 (p.82-85)

あごら [262] (2000.10)

特集：ドメスティックバイオレンス：沈黙から行動へ

13. ドメスティック・バイオレンスに対する政府の取り組みを検証する / 戒能民江 (p.4-10)
14. DV被害を語る：ある被害者の体験 / 原嶋栗子 (p.11-12)
15. DVの定義と被害者支援の現状 / 西山恭子 (p.13-22)
< 支援の現場から >

16. 婦人相談所と、DV被害女性の保護 / 鈴木真 (p.23-25)

17. 自立への支援：女性と生活保護 / 川村幸子 (p.25-27)

18. 民間シェルターを立ち上げて：湖面を漂う木の葉の心境! 発想は自由人 / 野川晴美 (p.27-29)

19. シェルターのなかの支配 / 秋風涼子 (p.30-31)

20. インターネットにおけるDV被害者への支援 / 佐藤真行 (p.32-33)

21. DV加害者=男性のケアについて：豊田正義さんに聞く (p.34-36)

22. DVをなくすために：実践からの問題提起：1.DV防止法制定に向けて - 法整備の流れ：2.DVへの意識と取り組みの広がり - 「女性学・ジェンダー研究フォーラム」から / 原嶋栗子 (p.37-45)

23. 各地の取り組み：三重県男女共同参画推進条例(仮称)とDV / 竹村洋子 (p.46-48)

24. 各地の取り組み：「ストップ女性・子どもへの暴力」富山市民企画講座からの1年<グループ『女綱(なづな)』ストップDVとやま>の活動と展望 / 登石知子 (p.48-50)

25. 資料1「女性に対する暴力に関する基本的方策について」男女共同参画審議会答申(概要)2000(平成12)年7月31日 (p.51-54)

26. 資料2「男女共同参画社会基本法」に基づいた自治体のDV関連条例 (p.55-57)

27. 資料3 DVに関する調査報告 (p.58-63)

28. 資料4 DV法に関する諸外国の取り組み (p.64-67)

29. 全国民間シェルター一覧 (p.68-69)

あごら [263] (2000.11)

特集：この判決を許せますか：住友電工裁判に怒る!

30. 裁判官による女性差別：住友電工男女賃金差別事件・大阪地裁判決の意味するもの / 宮地光子 (p.2-9)

31. マーシャ・A・フリーマン博士意見書(要約) / 長岡麻寿恵訳 (p.10-18)

32. 被告住友電工における男女差別の実態(平成12年5月31日原告最終準備書面から要約) (p.19-32)

33. 判決理由の要旨(被告会社に対する請求について)：平成12年7月31日大阪地方裁判所民事第5部 (p.33-38)
34. 判決を聞いて：原告の立場から / 西村かつみ, 白藤栄子 (p.39-43)
35. 住友電工裁判・判決を思う / 稲毛直美[ほか] (p.44-49)
36. ニューヨークで訴えた「住友の女性差別」 / 原野早知子, 北川清子 (p.55-65)
37. <住友>に対して私は闘う：住友金属・住友化学・住友生命の裁判原告陳述書 (p.66-73)

新しい家族 [37] (2000.11)

38. 第68回養子と里親を考える会講述録・122：養育について / 相馬豊 (p.2-13)
39. 第68回養子と里親を考える会講述録・123：養育家庭制度の運用について / 鈴木祐子 (p.14-27)
40. 第69回養子と里親を考える会講述録・124：里親制度と社会的養護のあり方をめぐって / 森望 (p.33-54)
41. 第69回養子と里親を考える会講述録・125：現代における児童養護施設の役割 / 長谷川重夫 (p.55-76)
42. 養子と里親を考える会・特別研究会講述録126：アダプション・エクステンジについて / ディクシー・デーヴィス, 澄子・ヘネシー (p.77-87)
43. 海外情報：国際資料センター(IRC/ISS)からの報告(2)：国際養子縁組に関するハーグ条約と法改正をめぐる動き (p.88-95)

インパクション [120] (2000.07)

特集：台湾：世界資本主義と帝国の記憶

44. 「民主化」台湾の欺瞞を露呈させた公娼たちの闘い / 芳崎まなち (p.76-79)
45. 植民地の記憶：亡霊をめぐる闘い：台湾のポストコロニアル心理地図 / 丸川哲史 (p.80-92)
46. 植民地下台湾の戦争被害者の声に耳を澄ます：日帝支配50年の記憶と東アジアの脱植民地化 / 役重義洋 (p.99-104)
47. 偏在する周辺と植民地主義の現在：「グローバル化」の中での新たな可能性のかたちをめぐって / 崎山政敏 (p.105-112)
48. 沖縄便り(24)：平和のハンカチとサミット / 浦島悦子 (p.130-135)
49. アート・アクティヴィズム(30)：ワンダリング・ポジションの視座から：柳幸典のヒノマル / 北原恵 (p.144-153)
50. <ポスト革命>状況における語り口の問題 / 野崎六助 (p.154-159)
51. 今月のフェミ的(9)：椎名林檎におけるフェミ的要素 / 渋谷知美 (p.176-177)

インパクション [121] (2000.09)

特集：グローバリズムを包囲する!

52. インタビュー：グローバル化に対抗する女性国際戦犯法廷 / 松井やより, 天野恵一 (p.63-78)
53. インタビュー：グローバリズムに対応するコンピュータ・ネットワーク：クリス・ピリーさん(レイパー・ネット)に聞く / 小倉利丸 (p.80-89)

54. 沖縄便り(25)：サミットの後に来たものは / 浦島悦子 (p.124-130)

インパクション [122] (2000.12)

55. 沖縄便り(26)：ジュゴン調査は何のため? / 浦島悦子 (p.142-148)
56. 性暴力に抵抗する歴史：日本軍「慰安婦」制度、米軍基地犯罪、セックスワークをつなぐ / 藤目ゆき (p.158-179)
57. 今月のフェミ的(11)：東アジアフェミ事情 / 竹下美穂 (p.190-191)

女たちの21世紀 [23] (2000.07)

特集：アート・女性・アジア：「私」と社会への視線

58. 不穏当な観者となるために / 萩原弘子 (p.4-6)
59. 座談会：アートは歴史と現実に向き合うのか：ドイツと日本そしてアジア / イルゼ・レンツ, 富山妙子, 松井やより (p.7-13)
60. 近い/遠い/家族の距離 / ヨン・スン・ミン ; 奥村ゆかり訳 (p.14-18)
61. 戦争の歴史を問うアーティスト：ヨン・スン・ミン / レベッカ・ジェニスン (p.19-20)
62. 「在日」にとっての家族写真 / 皇甫康子 (p.21-22)
63. 生き延びるための視線を / 本山央子 (p.23-24)
64. インタビュー：20世紀・消されたアート / 富山妙子 (p.25-28)
65. 表現のタブー：「天皇」：富山県立近代美術館問題から / 小倉利丸 (p.29-30)
66. 光州民衆抗争20周年記念写真展と展示拒否 / 新村繁文 (p.31-32)
67. 「自己規制」 / イトー・タリー (p.33-34)
68. インタビュー：韓国の現代美術：民主化から光州ピエンナーレ、女たちのアートへ / 古川美佳 (p.37-40)
69. アラフマヤーニさんインタビュー：挑戦するアート：戦術的に、繊細に (p.41-43)
70. フィリピンのフェミニズムアート：ブレンダ・ファハルド「タロット・カード・シリーズ」より (p.44-45)
71. 2000年「女性国際戦犯法廷」まであと130日、1人でも多くの「慰安婦」を招くためにご協力を!：「女性国際戦犯法廷」のポスターとロゴが決まりました / 松井やより (p.46-47)
72. 戦争の「記憶」と「記録」：ビデオ塾の映像記録運動から / 池田恵理子 (p.48-50)
73. 女たちが拓いた表現と空間 / 深尾勝子 (p.51-52)
74. “女性とアート” プロジェクトの活動：女性アーティストの作品とフェミニスト的視点 / 深沢純子 (p.53)
75. フェミニズムはアートに出会えるか? / MIDORI (p.54)
76. 「私の視点」を大切に! / 山上千恵子 (p.55)
77. イメージ&ジェンダー研究会：「美術」の枠組みを越えて / 千野香織 (p.56)
78. 芸術?街角の女性裸像ウォッチング / 乙竹文子 (p.57)
79. 主張するTシャツ：夫・恋人からの暴力をのりこえる / 山本雅美 (p.58)
80. 女性アートのネットワーク in Japan and Asia / ウィメンズ・アート・ネットワーク(WAN), イトー・タリー (p.59-60)

81. 男性との対話(16)：西欧・アジア・日本のアート：社会に関わるアート、私に向かうアート / 徐京植, 松井やより (p.61-66)
82. 国連総会特別会期2000年女性会議におけるCONGOの役割：CONGOとGINGOの間 / 国信潤子 (p.67-68)
83. 北京プラス5ニューヨーク世界女性会議報告：グローバル化と女性への暴力、武力紛争：予防と解決に女性がもっと積極的役割を / 松井やより (p.69-71)
84. 「沖縄国際女性サミット」報告：誰のための安全保障か / 久保田真紀子 (p.72-74)
85. 民族主義を連帯で乗り越えるフェミニストたち：旧ユーゴスラビアのツアーに参加して / 山岡優子 (p.75)
86. 旧ユーゴの女性運動を支えるクリエイターたち：女性イニシアティブ・グループとの交流 / 桑山亜也 (p.76)
87. アジア女性資料センター2000年シンポジウム報告：私たちはどんな時代に生きているのか：国家主義とジェンダー / 大内朋子 (p.77-78)

女たちの21世紀 [24] (2000.10)

特集：女性への暴力：日常から武力紛争まで

< 日常の女性への暴力 >

88. 女性に対する暴力：今どこまで / 丹羽雅代 (p.4-7)
89. DV法成立への動き：福島瑞穂 (p.8-9)
90. 男の加害的セクシュアリティとレイプ実録ものアダルトビデオ：辻雄作 (p.10-11)
91. 戦時的暴力と現在の日本の性暴力 / 東海林路得子 (p.12-13)
- ・滞日アジア女性
92. インタビュー：駆け込みセンターから見た女性への暴力：人身売買から夫の暴力まで / 大津恵子, 松田絃子, 大内朋子 (p.14-16)
93. 女性の性を商品化する出版物との闘い：『タイ買春読本』抗議・裁判の記録 / 滝光子 (p.17)
94. 日本の性産業に売られる女性たち：現代の性奴隷制の実態 / スズキヨシオ, 松田絃子, 鷹簀真由美訳 (p.18-21)
95. 女性に対する暴力・家制度：山形に生きるアジア女性から / 桑山紀彦 (p.22-23)
- ・アジアから
96. 名誉殺人1年間に1000人以上殺される：サミアは離婚を求めたため一族の名誉を傷つけたと殺された：パキスタンで / 中瀬純子, 小幡詩子訳 (p.24-25)
97. 中国における家庭内暴力とその対策 / 秋山洋子 (p.26-27)
98. 韓国の女性運動：90年代に性暴力に対する取り組み盛り上がる / 田端かや (p.28-30)
- ・北欧での買春をめぐる動き
99. 男性を処罰するスウェーデンの買春立法 (p.31)
100. 買春は女性に対する暴力だ / ノースネットワーク ; 落合久美子訳 (p.32)
101. アメリカのドメスティック・バイオレンス加害者対策：パタラズ・プログラムについて / 中村正 (p.33-35)
102. FGMは女性に対する暴力：日本の私たちも無関係ではない / 大内朋子 (p.36-40)
- < 武力紛争下の女性への暴力 >
103. 武力紛争と女性：暴力の被害者から平和の創り手へ /

松井やより (p.41-45)

- ・アジア
104. アフガニスタンの女性に対する暴力 / 三輪二葉 (p.46-47)
105. 武力紛争下のビルマの女性たち：軍事政権による女性に対する暴力と人身売買 / ビルマ女性連盟 ; 近藤真理子訳 (p.48-50)
106. カンボジアの武力紛争と女性に対する暴力：内戦中から現在まで / クメール女性の声センター ; 秋元由梨訳 (p.51-53)
107. 沈黙のマジョリティが声を上げる：インドネシアの女性の連帯 / チュスヌル・マリヤ ; 金村順子訳 (p.54-55)
108. 東ティモールの女性が経験したこと / 東ティモール人権センター ; 坂井隆之訳 (p.56-58)
109. インドネシア軍による西パプア女性に対する暴力 / アドルフィナ・ゾンゴナウ・オンダワメ ; 伊藤優子訳 (p.59-60)
110. 武力紛争下の女性に対する暴力：ブーゲンビル / レイタナ・ネハン女性開発協会 ; 村岸百合子訳 (p.60-61)
111. 沈黙していた女性たちの声を聞く：インド・パキスタン分離独立における女性に対する暴力 / 甲斐田万智子 (p.62-63)
- ・旧ユーゴ
112. コソボでのセルビア人による集団強かん / ヒューマン・ライツ・ウォッチ ; 小幡詩子訳 (p.64-65)
113. 女性への暴力と戦時暴力の共通点：家庭と戦場で / レバ・ムラジェノビッチ ; 中瀬純子訳 (p.66-67)
114. 旧ユーゴの武力紛争下の女性に対する暴力 / 西澤真知 (p.68-69)
- ・アフリカ・中米
115. ルワンダの女性と政治再建：ジェノサイド後の困難の中で / ローズ・ムカンコムジェ ; 小野聡子訳 (p.70-71)
116. チアパス戦争における女性：メディアの沈黙 / マリア・パライス ; 松田絃子訳 (p.71-72)
- ・女性、暴力的紛争、平和構築を地球規模で考える国際会議より
117. 女性たちが平和を築く：地方議会から国際交渉のテーブルへ：女性、暴力的紛争、平和構築を地球規模で考える国際会議より / サナム・ナラギ-アンデリニ, リタ・マンチャング ; 滝知則訳 (p.73-74)
118. 「武力紛争と女性」課題と提言：「女性、暴力的紛争、平和構築を地球規模で考える」国際会議より / 高瀬陽子訳 (p.75-76)
119. 基地・軍隊によらない安全保障へ：「民衆の安全保障」沖縄国際フォーラム開催報告 / 青山薫訳 (p.77-79)
120. 国際刑事裁判所は女性への暴力を裁く：批准を求め一日も早い設立を / 辻井美穂 (p.80-82)
121. 女性への暴力 / 女性と武力紛争：北京プラス5 ニューヨーク世界女性会議成果文書(抜粋) / 中瀬純子, アジア女性資料センター訳 (p.83-84)
122. 国連資料：「女性と武力紛争」：ニューヨーク北京プラス5 2000年世界女性会議で配布 / 梅垣由記訳 (p.85)
- < 国家の暴力 >
123. ナショナリズムと女性差別：「家族崩壊」「母性復権論」の脅しを越えて / 赤石千衣子 (p.86-88)

124. 多文化共生社会への取り組み：新宿・歌舞伎町・大久保でのイベント / 遠藤智子 (p.89-90)
125. 石原慎太郎の『「父」なくして国立たず』批判：軍国主義と女性蔑視の結びつき / 春原千咲 (p.91)
126. 国家の暴力装置としての「日の丸・君が代」 / 遠藤良子 (p.92-93)
127. 男性との対談(17)：男性から見た性暴力：日本軍の戦場での暴力と今の日本社会の暴力は共通している / 彦坂諦, 松井やより (p.94-99)
128. 「女性国際戦犯法廷」いよいよ近づく：センター会員ひとりひとりの協力で成功を / 松井やより (p.100-101)
129. 第4回東アジア女性フォーラムに参加して：初めて若い女性たちがユースフォーラム開く / 大内朋子 (p.102-103)

家族心理学研究 [14-1] (2000.05)

130. 子供のいない女性の同一性の研究：中年期の同一性地位に関する一考察 / 森川早苗 (p.1-13)
131. 父親の協力的関わりと子どもの共感性および父親の自我同一性：家族機能も含めた検討 / 尾形和男, 宮下一博 (p.15-27)
132. 青年期後期の親子間コミュニケーションと対人意識、アイデンティティとの関連 / 平石賢二 (p.41-59)
133. 母子分離<保育園に子どもを預ける>についての母親の感情・認知：分離経験および職業の有無との関連で / 柏木恵子, 蓮香園 (p.61-74)

家族心理学研究 [14-2] (2000.11)

134. スクールカウンセリングにおけるコラボレーション面接記録法の作成 / 相模健人, 田中雄三 (p.99-116)
135. 登校拒否の小学生男児をもつ母親との面接過程：「無理に学校に行かなくてもいい」と言いつづけた事例 / 川中淳子 (p.117-127)
136. スケーリング・クエスチョンによる教師に対するイメージ変化：教師に対する暴力の非行事例から / 笹竹英穂 (p.129-138)
137. 母親の個人化と子どもの価値：女性の高学歴化、有職化の視点から / 永久ひさ子, 柏木恵子 (p.139-150)
138. 共働き世帯の夫婦における多重役割と抑うつ度との関連 / 福丸由佳 (p.151-162)

家庭科教育 [73-11] (1999.11)

139. 我が国における育児の近代化の中で / 木本尚美 (p.11-14)
140. 子どものしつけと学校教育 / 木村恵子 (p.15-19)
141. 家庭科の食物教育における学校段階の連携について(1)：高校生のダイエットの実態と意識 / 高田涼子 (p.63-68)
142. お城と桜とりんごのまち弘前市のジェンダーフリーへの取り組み(1)：弘前市世論調査の結果から見る農業地域の実態 / 早川和江, 日景弥生 (p.75-78)
143. 男子学生さんに母親について褒めてもらう / 小林俊雄 (p.86-90)
144. 高校教材研究：妊婦さんの気持ちになってみよう：妊婦体験実習を取り入れた授業実践 / 浅井玲子, 嘉藤真

愛 (p.105-110)

家庭科教育 [73-12] (1999.12)

145. 出口の見えない子育て問題の中で / 関口はつ江 (p.30-35)
146. 大学における資格取得と生活学の接点：キッチンスペシャリストのテキスト改訂に当たって / 茂木美智子 (p.36-40)
147. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(1)：コスチュームとデザインのロンドンとその周辺の博物館(その1) / 日下部信幸 (p.46-54)
148. 女子学生さんに母親について褒めてもらう / 小林俊雄 (p.55-59)
149. お城と桜とりんごのまち弘前市のジェンダーフリーへの取り組み(2)：ワークショップによる農家の女性の実態把握 / 早川和江, 日景弥生 (p.75-79)
150. 女子学生の魚食に関する調査 / 本田テル子 (p.80-84)

家庭科教育 [74-8] (2000.08)

151. アルコール依存症の世代伝播を予防する家族援助：家族強化プログラム(The Strengthening Families Program) / 横山登志子 (p.22-26)
152. ふれあい、育てあい、学びあい：心の充実を図る保健体験学習の推進 / 岡島まどか (p.27-33)
153. 家政系短大学生に適した基礎教育(2)：家政学の視点から見た短大学生像(短大生の家政学観)と今後の課題 / 李瑛媛[ほか] (p.56-65)
154. 自分の褒め方に見られる現代女子学生の特徴 / 小林俊雄 (p.73-77)
155. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(4)：ニット・レース及びコスチュームのレスター・ノッテングラムなどイングランド中央地帯の博物館(2) / 日下部信幸 (p.91-98)

家庭科教育 [74-9] (2000.09)

156. 家庭科教育の充実を更に期待する / 小高千代子 (p.6-10)
157. 21世紀を展望した家庭科教育の実践：人の心に関心を払った家族・保育の授業 / 瀬戸友子 (p.27-33)
158. キレル若者の心理と対策 / 小林俊雄 (p.74-78)
159. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(4)：ニット・レース及びコスチュームのレスター・ノッテングラムなどイングランド中央地域の博物館(3) / 日下部信幸 (p.85-90)

家庭科教育 [74-10] (2000.10)

160. どうなる家庭科：変化する社会と新学習指導要領 / 伊藤央子 (p.6-13)
161. 『高等学校学習指導要領解説家庭編』における改訂のポイントと問題点の指摘 / 山下美紀 (p.25-29)
162. 家族とは何か：古典的な問いへの挑戦 / 佐々木隆 (p.31-36)
163. 現代女子学生さんの心理と接し方 / 小林俊雄 (p.80-84)
164. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(5)：タータンとペイズリー、ツイードとカシミヤ、コスチュームとデザインのスコットランドの博物館

- (1) / 日下部信行 (p.85-92)
165. 『女子師範学校の全容』の執筆を終えて / 新福祐子 (p.93-98)
166. 「ボンディング(母と子の絆)論」文献としての役割 / 武田恵子 (p.101-102)

家庭科教育 [74-11] (2000.11)

167. 子育て支援と児童福祉 / 木村壽子 (p.11-15)
168. ハレの日の女性たち / 大城晋武 (p.26-32)
169. 「親になること・子どもを育てること」を考える授業 / 佐藤ゆかり (p.47-55)
170. 男女で共に学ぶ保育の実践：パーチャル保育体験を通して / 香川実恵子 (p.56-62)
171. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(5)：タータンとペイズリー、ツイードとカシミヤ、コスチュームとデザインのスコットランドの博物館(2) / 日下部信幸 (p.86-93)

家庭科教育 [74-12] (2000.12)

172. 幼児期に必要なこと / 小川清美 (p.11-16)
173. 自分の生活を創造していくために / 大崎文子 (p.26-32)
174. 中学生の実態に合った食教育 / 相馬千世 (p.33-36)
175. 重度障害児の母親に対する援助 / 藤原里佐 (p.51-55)
176. スウェーデンのカップルにおける就労と家庭生活 / 斧出節子 (p.56-61)
177. デンマークの生活時間に見る男女の役割関係(1)：1964年から1987年における変化 / 佐藤裕紀子 (p.62-67)
178. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(5)：タータンとペイズリー、ツイードとカシミヤ、コスチュームとデザインのスコットランドの博物館(3) / 日下部信幸 (p.68-73)

家庭科教育 [75-1] (2001.01)

179. 家庭科教育への期待 / 酒井豊子 (p.6-11)
180. ジェンダーの視点を高校家庭科で(1)：家族・保育領域での実践 / 大沼洋子 (p.27-32)
181. アメリカにおけるDeath Education の実際(1)：中高生を対象とした教科書の記述分析 / 鈴木真由子, 吹山八重子 (p.47-52)
182. デンマークの幼児を持つ家庭：ヤコブとハンナの家庭の例を中心に / 中原順子 (p.53-57)
183. デンマークの生活時間に見る男女の役割関係(2)：家庭生活の実態 / 佐藤裕紀子 (p.58-62)
184. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(5)：タータンとペイズリー、ツイードとカシミヤ、コスチュームとデザインのスコットランドの博物館(4) / 日下部信幸 (p.79-84)

家庭科教育 [75-2] (2001.02)

185. 今こそ原論(2)：家庭科教育と家政学の21世紀のフレームワークを考える / 正保正恵 (p.14-18)
186. ウィスコンシン州・オハイオ州・ミネソタ州の家庭科教育視察報告(1)：初めてのアメリカ訪問 / 河崎智恵, 林未和子 (p.19-25)
187. アメリカにおけるDeath Education の実際(2)：『Families Today』に見られる記述より / 鈴木真由子,

吹山八重子 (p.26-30)

188. ジェンダーの視点を高校家庭科で(2)：家族・保育領域での実践 / 大沼洋子 (p.31-37)
189. 体験を通じて心育てる家庭科教育の実践：保育園実習を通して / 杉山敦子 (p.38-41)
190. カタログ誌における衣服の素材評価と情報 / 吉野鈴子, 中尾時枝, 木村恵子 (p.42-49)
191. ますます増える生活習慣病の対策 / 福山悦子 (p.55-60)
192. 最近の少年の凶悪殺人事件の心理と対策 / 小林俊雄 (p.71-75)
193. フランケンシュタインの系譜(1)：現代のモンスターを生み出したもの / 福田豊子 (p.76-80)
194. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(6)：リネン産業を主体に展示している北アイルランドの博物館(アイルランド共和国のテキスタイルを含む)(1) / 日下部信幸 (p.86-92)

季刊女も男も：自立・平等 [84] (2000.07)

特集：神サマを求める若者たち

195. カルト宗教と女性信者：人はなぜたまされるのか：フェミニズムの視点から / 蓮月 (p.14-17)
- ・いま学校で：高等学校
196. 同性愛者として生きる：カミングアウトの軌跡 / 高取昌二 (p.24-27)
- ・いま学校で：小学校
197. メディアでジェンダーチェック：メディアの中のジェンダーに気づかせる / 花房逸江 (p.28-31)
198. メディアの現場から(10)：バックラッシュより怖いもの(下) / 竹信三恵子 (p.32-33)
199. はたらく(10)：男にもできる、男だからできる：ホームヘルプサービスの現場から：伊東寛さんに聞く / 高橋淳子 (p.34-36)
200. 写真を読む(14)：桑港(サンフランシスコ)の中国夫人等軍人慰問品を製作す / 岩尾光代 (p.37)
201. 出版という「暴力」を傍観しない：『タイ買春読本』に対する抗議・裁判の記録 / 黒田貴史 (p.38-39)
202. 建築現場を渡り歩いてつかんだ技能職：専業主婦から「住まいと家具」補修のスペシャリストへ / 松永み子 (p.39-42)
203. アンホイ監督が香港アカデミー賞受賞：実力で評価される社会の反映 / 宮崎暁美 (p.43)
204. パートナースHIP(10)：生命循環の中で豊かに生きる：「いのちのアトリエ」はライブハウス実験ハウス：大谷ゆみこさん、郷田和夫さん / 古庄弘枝 (p.46-49)
205. 女性解放思想史講座(70)：朝鮮の女性作家姜敬愛(カン・ギョンエ)：植民地下女性の三重苦を描く / 市場淳子 (p.50-53)
206. インタビュー『男の曼荼羅』(10)：自分に問題があるとは正直言って考えたことはありませんでした。 / 豊田正義 (p.58-60)
207. 資料解説：ストーカー規制法成立 (p.61-63)

季刊女も男も：自立・平等 [85] (2000.10)

特集：エイジングと女性：自立・自尊の高齢社会へ

208. 座談会：自立・自尊の高齢社会へ：労働力の流動化に対応できる自己を / 石毛 禰子, 岡村清子, 中島圭子 (p.6-10)
209. デンマークのいきいき高齢者：「自分で決定できる」人生を / ブンゴード・孝子 (p.17-19)
210. いま学校で：中学校：ジェンダー・フリーな絵本作り：「男は強くならねばならない」呪縛を痛感 / 森陽子 (p.20-22)
211. いま学校で：自分らしく自分で決める：保護者と本音で語り合う：三重県のとりにくみ / 福本康代 (p.23-25)
212. メディアの現場から(11)：オランダで見た「世帯主義の不経済」 / 竹信三恵子 (p.26-27)
213. はたらく：定年までバス運転士として働き続けたい：小川久美子さんに聞く / 藤田記子 (p.28-30)
214. ムーブメント：稲作りは子育てとよく似ている：「元気な母子家庭」を生きるライター・横田不二子さんの歩み / 松永のみ子 (p.32-35)
215. パートナーシップ(11)：やりたいことは家族全員で応援：二人でめざす家庭生活と社会活動の両立：太田貴美さん、太田互さん / 古庄弘枝 (p.42-45)
216. 歴史をジェンダーで読む(7)：半田たつ子さんに聞く「家庭科の男女共修」運動：女の子だけの家庭科というのはおかしい。どうして、男の子はやらなくていいと、思われるのですか。 / 酒井はるみ (p.46-50)
217. インタビュー『男の曼荼羅』(11)：男の自分のことは二の次にしてでも彼女のリップをかなえさせたかった。 / 豊田正義 (p.58-60)
218. 資料解題：男女共同参画審議会「女性に対する暴力に関する基本的方策について」の答申案 / 田村のりこ (p.61-63)

季刊家計経済研究 [47] (2000.07)

- 特集：少子化：非婚化・晩婚化のゆくえ
219. 近年の結婚力と出生力の低下について / 鈴木透 (p.13-19)
220. 少子化問題への経済学的アプローチ / 八代尚宏 (p.20-27)
221. 晩婚・非婚世代の直面するもの：“パラサイト・シングル”の隘路 / 宮本みち子 (p.28-35)
222. 少子化社会の系譜：昭和30年代の「新生活運動」をめぐって / 重田園江 (p.36-43)
223. アイルランドにおけるリプロダクティブライツ研究の動向 / 澤田倫子 (p.44-50)
224. 夫の通勤時間・労働時間が出生率に与える影響について：『消費生活に関するパネル調査』による実証研究 / 駿河輝和, 七條達弘, 張建華 (p.51-58)
225. 「主婦」をめぐる意識構造 / 西村純子 (p.59-72)

季刊家計経済研究 [48] (2000.10)

226. 女性の結婚・出産および人的資本の形成に関するパネルデータ分析：出産退職は若い世代で本当に増えているのか / 大沢真知子, 鈴木春子 (p.45-53)
227. 結婚・夫婦満足度の規定要因：特に妻の就業状態の影響をめぐって / 新田目夏実 (p.54-62)
228. 共働き世帯における夫の家事・育児分担についての分

析 / 前田正子 (p.68-74)

229. 夫婦による家事・育児分担形式の変容可能性についての実証研究：役割分担意識の形成に「役割モデル」としての親が与える影響とその変容 / 井田瑞江 (p.75-82)
230. 2000年目の快挙：国連特別総会「女性2000年会議」に思う / 藤原房子 (p.83-88)

季刊家計経済研究 [49] (2001.01)

- 特集：現代の家族関係
231. 「現代核家族調査」の目的と実施状況 / 木村清美, 永井暁子 (p.10-13)
232. 家計の共同性と夫妻関係 / 木村清美 (p.14-24)
233. 核家族の連帯性とパーソナル・ネットワーク：夫婦・親子間紐帯の構造分析 / 野沢慎司 (p.25-35)
234. 妻と夫の生活満足度を規定する要因について：認知の一致性指標と事実の共同性指標を用いた検討 / 色川卓男 (p.36-43)
235. 父親の家事・育児遂行の要因と子どもの家事参加への影響 / 永井暁子 (p.44-53)
236. 母親の就業に対して否定的な子どもと家庭生活 / 濱本知寿香 (p.54-62)
237. 高齢者世帯の生活費と社会保障 / 馬場康彦 (p.63-75)
238. 手の知恵の行く末：サバイバルからエンパワーメントへ / 藤原房子 (p.85-90)

季刊社会保障研究 [34-4] (1999.03)

- 特集：少子化社会と社会保障
239. 出生率低下と子育て支援政策 / 津谷典子 (p.348-360)
240. 少子化社会における労働市場：女性の結婚と労働力供給の視点から / 阿部正浩 (p.361-373)
241. 少子化問題の社会的構成と家族政策 / 渋谷敦司 (p.374-384)
242. 仕事と家庭の調和のための就業支援：日本の雇用慣行の変化のなかで / 大沢真知子 (p.385-391)
243. 女性の高学歴化と少子化に関する一考察 / 白波瀬佐和子 (p.392-401)
244. 保育における規制緩和と民営化 / 横山由紀子 (p.413-420)

季刊社会保障研究 [35-1] (1999.06)

245. 出産・育児と女子就業との両立可能性について / 山上俊彦 (p.52-64)
246. 女性パートタイム労働者の社会保険加入の分析 / 安部由起子 (p.77-95)
247. 保育サービスの供給について：費用面からの検討を中心に / 福田素生 (p.90-101)
248. 家族内支援と社会保障：世代間関係とジェンダーの視点から / 白波瀬佐和子 (p.122-133)
249. 高齢者の世帯構造と医療需要 / 金子能宏 (p.134-148)

季刊社会保障研究 [36-2] (2000.09)

- 特集：介護保険制度をめぐる諸問題
250. 公的介護保険と社会福祉事業改革の課題 / 八代尚宏 (p.176-186)
251. 家族ケア・女性の就業と公的介護保険 / 永瀬伸子

- (p.187-199)
252. サブシディアリティ原則と介護保険 / 池田省三 (p.200-209)
253. 介護報酬 / 小山秀夫 (p.224-234)
254. 介護保険制度と利用者の権利擁護 / 菊池馨実 (p.235-245)
255. 中高年のボランティア活動への参加行動：アンケート調査個票に基づく要因分析 / 跡田直澄, 福重元嗣 (p.246-255)
256. 家庭内性別役割分業と社会的支援への期待に関する一考察 / 白波瀬佐和子 (p.256-268)

季刊年金と雇用 [19-1](2000.05)

特集：家族と年金

257. 公的年金・課税における個人・家族の扱い / 牛丸聡 (p.4-11)
258. 家族、家計、生活設計 / 降矢憲一 (p.12-18)
259. 男女平等参画社会に向けての年金制度に / 秋元かおる (p.19-22)
260. 公的年金：世帯単位か個人単位か / 安藤幸子 (p.23-30)
261. 年金から未来が見える：変わる社会、変わる家族、変わる価値観 / 堤江実 (p.31-36)
262. 少子化と女性の就労と社会保障制度 / 前田正子 (p.37-43)

教育と医学 [48-8](2000.08)

特集：子育てのメンタルヘルス

263. 子育て文化への歴史的視点 / 小嶋秀夫 (p.4-11)
264. 少子化と子育て / 鈴木榮 (p.12-19)
265. 子育て相談ネットワークについて考える / 山崎晃 (p.20-28)
266. 子育てのメンタルヘルスと心理相談 / 田中千穂子 (p.29-35)
267. 子育ての精神医学 / 石川憲彦 (p.36-42)
268. 子育てと夫婦の関係 / 神原文子 (p.43-49)
269. 育児支援と小児科医 / 吉永陽一郎 (p.58-63)
270. 産後うつ病と子育て / 上田基子, 山下洋, 吉田敬子 (p.64-70)
271. 子育ての破綻と子ども虐待 / 松井一郎, 谷村雅子 (p.71-77)

教育と医学 [48-9](2000.09)

特集：21世紀の父親像

272. 21世紀の父親像：父親像の変遷をとおして展望する / 黒柳晴夫 (p.4-10)
273. 男はなぜ子育てする父親になったか / 小原嘉明 (p.11-18)
274. 「父親を引き受ける」ということ / 柴田長生 (p.19-25)
275. 父親像の転換 / 藤原和博 (p.26-34)
276. 母子相互作用と父親 / 加藤忠明 (p.35-42)
277. 母系社会における「父親」：インドネシア・ミナンカバウの結婚式の風景から / 坂元一光 (p.43-49)
278. 父親を切り取った不幸：トルコと日本の家族はなにが違う / 内藤正典 (p.50-57)
279. 小児科医からみた現在の父親 / 石谷暢男 (p.58-67)

280. 21世紀に父親不在論はあるか / 森井利夫 (p.68-75)

教育と医学 [48-10](2000.10)

特集：常識を育む

281. ジェンダーと常識：変化と多様性の視点から / 多賀太 (p.19-25)
282. 高校生の常識とその指導 / 長谷川充麻 (p.34-45)
283. 世代間にみられる常識の葛藤 / 中山治 (p.46-52)

教育と医学 [48-11](2000.11)

特集：家庭における暴力

284. 家族の中の暴力 / 清水将之 (p.4-11)
285. 家庭内における暴力行為(Violence in the home)と子ども達：児童虐待の観点から / 井上登生 (p.12-17)
286. ドメスティック・バイオレンス：親密な男女間の暴力 / 中村博文 (p.18-24)
287. 非行少年にみる暴力性とその家庭 / 萩原恵三 (p.25-31)
288. 高齢社会と老人虐待 / 杉井潤子 (p.33-41)
289. 子どもの虐待と地域ネットワーク作り / 鈴宮寛子 (p.42-49)
290. 家庭における暴力：暴力の被害者への援助 / 石井朝子 (p.50-59)
291. 家庭内暴力に対する児童相談所の取り組みと今後の課題 / 阿部計彦 (p.60-66)
292. 子どもたちに「安心・自信・自由」の権利を / 高木美砂子 (p.67-75)
293. 子どもが傷つく言葉 / 宮里香 (p.76-83)

くらしと教育をつなぐWe [8-7](1999.11)

特集：語られなかった言葉を聴く

294. インタビュー：「ナムムの家」のハルモニたち：慧眞(ヘジン)さん / 稲邑恭子 (p.2-4)
295. インタビュー：おばあちゃんのいる風景：日本軍「慰安婦」問題が、ワタシの問題に変わるとき：坂本知壽子さん / 稲邑恭子 (p.5-15)
296. 学校訪問記：「ヘジンさんは真さんだ！」 / 加藤昭仁 (p.16-17)
297. インタビュー：被害者の生きているうちに解決を：戦後補償・立法化に向けて：有光健さん / 稲邑恭子 (p.18-28)
298. S&Sネットワーク作品集：『ことばをさがして』をめぐって / 稲川美也子 (p.29-35)

299. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの5：職場の家事 / 竹信三恵子 (p.42-45)

くらしと教育をつなぐWe [8-8](1999.12)

特集：地域介護のネットワークを

300. インタビュー：地域介護のネットワークを：ふれあいネットワーク養成の試み / 奈良環, 中村泰子 (p.2-7)
301. 講演記録：市民の意識変革の武器としての介護保険：田中尚輝さん (p.8-11)
302. インタビュー：共に支え合う地域づくり：地域で安心して老いるために：岩崎寿美男さん / 中村泰子 (p.12-16)
303. 講演記録：小地域のネットワークづくり：住民の二

- ズに密着したサービスを / 平井俊圭 (p.17-22)
304. 講演記録：医者を上手に使う方法：在宅支援のネットワークづくり / 高橋昭彦 (p.23-26)
305. 講演記録：スウェーデンの社会サービス法と自己決定について / 訓覇法子 (p.27-29)
306. 高原の町にオープンした老人保健施設「あららぎ」の日々 / 川名はつ子 (p.30-33)
307. 家事神話(6)：女性の貧困のかけにあるもの(11)：不機嫌な装置(上) / 竹信三恵子 (p.40-43)

くらしと教育をつなぐWe [9-4](2000.07)

特集：フェミニズムへのバックラッシュ?!

308. シンポジウム記録：「男女共同参画」と「日の丸」フェミニズムとの危うい関係 / 久場嬉子, 竹信三恵子, 堀田碧 (p.2-21)
309. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(12)：不機嫌な装置(中) / 竹信三恵子 (p.40-43)
310. 新米議員のジェンダー議事録(2)：「男女共同参画」を後ろ盾に / 木村民子 (p.44-45)
311. ひげのおばさん子育て日記(4) / 中畝常雄 (p.44-45)

くらしと教育をつなぐWe [9-5](2000.08)

特集：自尊感情を高める性教育

312. 講演記録：メグさんの性教育：メグ・ヒックリングさん (p.2-9)
313. メグ・ヒックリングさんと田上時子さんの講演を聞いて：虐待を防ぐための性教育 / 稲邑恭子 (p.10-14)
314. メグさんのワークショップ体験報告：性を科学的に教える / 岡村聡子 (p.15-17)
315. メグさんのワークショップ体験報告：自分を守るために / 大沼もと子 (p.18-21)
316. WEN-DOワークショップ体験報告：からだで感じるエンパワメント / 稲邑恭子 (p.22-24)
317. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(13)：不機嫌な装置(下) / 竹信三恵子 (p.36-39)
318. 新米議員のジェンダー議事録(3)：女たちは割烹着姿で後方支援 / 木村民子 (p.46-47)
319. ひげのおばさん子育て日記(5)：中畝常雄 (p.50-51)

くらしと教育をつなぐWe [9-6](2000.10)

320. 家庭科・風がかわる 匂いがかわる：絆：共に生きる体験を通じた家庭科授業 / 古川耕三 (p.21-32)
321. 家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(14)：専業主婦と主婦業の間 / 竹信三恵子 (p.43-46)
322. 新米議員のジェンダー議事録(4)：「男女共同参画」のかけで女性政策の後退 / 木村民子 (p.52-53)
323. ひげのおばさん子育て日記(6)：出来ないという自信 / 中畝常雄 (p.56-57)

くらしと教育をつなぐWe [9-7](2000.11)

特集：ジェンダー・フリー教育の可能性

324. インタビュー：ジェンダー・フリーな教育環境づくりのために / 松村泰子, 稲邑恭子 (p.2-10)

325. ノルウェーにおける男女平等のいま / 青木順子 (p.11-16)
326. 講演記録：ノルウェーの男女平等教育の取り組み / シエウラ・ペテルセン (p.17-22)
327. 「びあの&トーク」がやってきた / 藤崎由紀子 (p.23-26)
328. 家事神話 女性の貧困のかけにあるもの(15)：男女共通規制(上) / 竹信三恵子 (p.41-44)
329. 新米議員のジェンダー議事録(5)：DV根絶へ向けて、区とパートナーシップ / 木村民子 (p.52-53)
330. ひげのおばさん子育て日記(7)：中畝常雄 (p.56-57)

くらしと教育をつなぐWe [9-8](2000.12)

特集：「自己決定」を支える

331. インタビュー：介護保険時代こう生きる、こう支える：岩見太市さん / 中村泰子 (p.2-10)
332. 介護保険を市民社会の入り口に：さいたま介護保険サポーターズクラブの試み / 西川正 (p.11-18)
333. 障害児(者)の自己決定を援助する：MOVEプログラムの理論と方法 / 白崎淳子 (p.19-26)
334. 自助グループの課題：トマシーナ・ボークマンさんの講演を聞いて / 稲邑恭子 (p.27-30)
335. 家事神話 女性の貧困のかけにあるもの(16)：男女共通規制(中) / 竹信三恵子 (p.48-51)
336. 新米議員のジェンダー議事録(6)：男女共同参画の解釈と観賞 / 木村民子 (p.52-53)
337. ひげのおばさん子育て日記(8)：写真好き / 中畝常雄 (p.56-57)

くらしと教育をつなぐWe [9-9](2001.01)

特集：「男女共同参画」を活かす知恵

338. シンポジウム記録：「男女共同参画」と「日の丸」フェミニズムとの危うい関係 第2弾 / 山崎久民, 竹信三恵子, 堀田碧 (p.19-22)
339. ノルウェーの統計資料・若者向けのテキストについて：想定問答集(マニュアル)づくりに向けて / 青木順子 (p.19-22)
340. 女性を活かす企業が伸びる：米国「カタリスト」の戦略に学ぶ / 佐々木真紀 (p.23-26)
341. 家事神話女性の貧困のかけにあるもの(17)：男女共通規制(下) / 竹信三恵子 (p.27-30)

342. 曲がり角の家庭科(4)：新学習指導要領を読み解く(3) / 梶原公子 (p.38-43)

343. 新米議員のジェンダー議事録(7)：ジェンダー・アレルギー症候群 / 木村民子 (p.50-51)

344. ひげのおばさん子育て日記(9)：楽しみなお子さん / 中畝常雄 (p.54-55)

月刊家庭科研究 [180](1999.12)

特集：装うことを授業でとりあげるには

345. 自分らしく装うために：“装う”ことをどう扱うか / 川本栄子 (p.32-37)

月刊家庭科研究 [188](2000.08)

346. 高校実践：ディベート学習を授業に取り入れて：学び

あう学習を目指して(2) / 樋田千愛 (p.50-57)

月刊家庭科研究 [189](2000.09)

347. 高校実践：週1時間で家族・家庭経済・保育を学ぶ：家族関係から性別役割分業まで / 千村博子 (p.56-63)

月刊家庭科研究 [190](2000.10)

特集：若者のファッションの魅力は何か

348. ストリートファッションの意味：若者たちのバーチャル志向 / 千村典生 (p.4-9)
349. ヤングファッションの現場：“まるきゅう”ショップはヤングと仲よし / 赤間りか (p.10-13)
350. 高校生ギャルのファッション感 / 吉村典子 (p.16-23)
351. 留学生から見た若者ファッション：制服・ピアス・化粧：時代と流行 / スーティリ, モハメッド・ナビール (p.28-31)
352. 特集実践 / 高校：“着ること”について考えてみよう! / 備前あや (p.32-39)

353. 中学実践：衣材料と、着ること / 金野三奈子 (p.47-51)

354. 高校実践：週一時間で家族・家庭経済・保育を学ぶ：家事労働から家庭経済まで / 千村博子 (p.54-63)

355. 長崎原爆松谷訴訟勝利確定：冷たい被爆者援護行政の転換を / 大塚高裕 (p.68-69)

月刊家庭科研究 [191](2000.11)

356. 男女平等とセクハラ問題 / 渡辺和恵 (p.80-83)

月刊家庭科研究 [192](2000.12)

357. 中学実践：社会への旅立ち「ひとりで暮らす」シリーズ(1) / 岡田真名美 (p.48-55)

358. 高校実践：高齢期の授業(1) / 中尾恭子 (p.56-63)

月刊家庭科研究 [193](2001.01)

359. 中学実践：社会への旅立ち「ひとりで暮らす」シリーズ(2) / 岡田真名美 (p.48-55)

360. 高校実践：高齢期の授業(2) / 中尾恭子 (p.56-65)

361. ヤングのためのエイズ学習 / 宮本信代 (p.66-67)

月刊家庭科研究 [194](2001.02)

特集：家庭科の授業を総合的な学びに：11月・家教連公開研究会から

362. 講演：家庭科の授業を総合的な学びに / 山田綾 (p.4-27)

363. 子どもの発達課題としての「家族・家庭経済」の授業 / 武田恭子 (p.33-37)

月刊公民館 [510](1999.11)

364. 現代若者考：参考データ：青少年の意識の変化：新入社員が関心を持つ社会問題：仕事、家庭、趣味のどれを最も優先するか：最も大切にしている“ネットワーク”はなにか：若者の小遣いの使い道 (p.22-25)

月刊公民館 [511](1999.12)

365. 公民館企画Q and A(20)：現代的課題編：ボランティア・コーディネーターの研修 / 清水隆 (p.19-21)

366. 公民館企画Q and A(20)：ネットワーク活用編：新し

い発想を生み、育てるネットワークリーダーの役割 / 浅井経子 (p.21-23)

月刊公民館 [520](2000.09)

特集：ボランティアと職員

367. ボランティアと職員：参考データ：青少年ボランティア：社会意識に関する世論調査 (p.20-24)

368. 公民館新機軸：青少年事業・ボランティア事業：託児ボランティア「スマイル」誕生：宮城県多賀城市中央公民館 / 尾形陽子 (p.34-38)

月刊公民館 [521](2000.10)

369. 学校との連携(総合的な学習)参考データ：(1)子どもの体験活動(2)学年別通塾率の状況(3)近所の人、家族との話し合いの程度(4)わが国の子育てや教育の問題点 (p.23-26)

月刊公民館 [523](2000.12)

特集：家庭教育の支援

370. これからの家庭教育支援を考える / 澤野由紀子 (p.4-9)
371. 家庭教育の支援：参考データ (p.17-19)

月刊社会教育 [43-11](1999.11)

372. 市民が綴った女性史『きしわだの女たち』：地域女性史づくりに取り組んだ女たち / 宮田清子 (p.72-77)

373. シリーズ私の実践：ののむらけいこの社会教育私史：東京・練馬での37年(5)：社会教育と生涯教育のはざままで：教育・学習は生きる権利 / 野々村恵子 (p.94-97)

月刊社会教育 [43-12](1999.12)

374. 女性労働者をめぐる職場の変化：女性活用と非正規雇用の増加 / 駒川智子 (p.74-79)

月刊社会教育 [44-9](2000.09)

特集：現代的課題をともに語ろう

375. 子どもの社会教育：「実践」のための今日的課題 / 立柳聡 (p.11-15)

376. 児童虐待防止のための子育て支援に関する考察：ジェンダー問題の視点から / 森谷育代 (p.62-67)

377. 集会報告：プロジェクト研究「ジェンダーと社会教育」を中心に / 日本社会教育学会 (p.82-84)

月刊社会教育 [44-10](2000.10)

特集：学びをささえる情報ツールの可能性

378. インターネットで子育て支援 / 今井晃男 (p.29-33)

379. 少子化社会における家族・地域支援と教育：中央教育審議会報告「少子化と教育について」を読む / 岡幸江 (p.54-59)

月刊社会教育 [45-1](2001.01)

特集：成人の学習：21世紀への鍵

380. NPOがつくる市民の学び：宮城での実践をもとに / 櫻井常矢 (p.13-19)

月刊社会教育 [45-2] (2001.02)

特集：10代の挫折にどうこたえるか

381. 社会教育は、いまこそ大事：なかよしのふりをする人たちの時代に / 青木悦 (p.6-10)
382. 10代の揺れ動く心と身体 / 墨岡孝 (p.11-15)
383. 地域に子どもの支援の輪を：日本子どもソーシャルワーク協会の発足 / 寺田壽美子 (p.16-21)
384. 10代の叫びにこたえる実践の動向 / 内田純一, 立柳聡 (p.22-27)
385. 笑顔を絶やさず、生きる喜びを：青少年の自立をめざす「ピバハウス」の取り組みから / 安達俊子, 安達尚男 (p.28-33)
386. 蔵王いこいの里にみる近頃の親子関係 / 岩川松鶴 (p.34-39)
387. 親子関係や家族関係の悩みに応える家庭問題情報センターの取り組み / 山口恵美子 (p.40-44)
388. 更生保護施設紫翠苑における演劇プロジェクト / 紫翠苑演劇プロジェクト実行委員会 (p.45-50)
389. 地域子育てネットワークと社会教育の課題(3) / 望月彰 (p.70-74)

月刊女性&運動 [206] (1999.11)

特集：『少子化』を考える

390. データでみる少子化社会 (p.8-13)
391. 女性の要求にこたえられるか：政府の「少子化」対策 / 日野徹子 (p.14-17)
392. 子育て支援の要求大きくひろげて / 横田昌子 (p.18-19)
393. ノルウェーの『少子化』支援策の動向 / 中川順子 (p.20-23)
394. 草の根の女たちのあゆみ(5)：遊郭廃止の運動と女性たちのデモ(大阪府) / 折井美耶子 (p.46-48)

月刊女性&運動 [207] (1999.12)

395. 草の根の女たちのあゆみ(6)：富山の女仲仕たちから始った米騒動 / 折井美耶子 (p.18-20)

特集：パートアンケートの結果からみた雇用と女性

396. 政府・財界による済再生の戦略と現実：女性労働者活用の意味 / 林堅太郎 (p.37-34)
397. いつ解雇されるかわからない不安：大阪のパートタイマーアンケートの結果から / 田口清子 (p.39-38)
398. 新婦人第5回パートタイマーアンケート結果：1999年11月 / 新日本婦人の会 (p.58-40)

月刊女性&運動 [215] (2000.07)

399. インタビュー：原田博美さん(就職難に泣き寝入りしない女子学生の会代表)：力を合わせてがんばるすばらしさを知って私は変わったんです (p.4-7)

特集：平和：世界の女性とともに

400. 核兵器廃絶を世界の世論に：NGOミレニアムフォーラムに参加して / 岡田麻也子 (p.17-19)
401. 女性の政策決定過程への参画についての現状と課題：参議院共生社会に関する調査会会議(2000年4月7日)：参考人大澤眞理, 鹿嶋敬 (p.40-44)

402. 草の根の女たちのあゆみ(13)：内灘米軍基地反対を闘ったおかかたち(石川県) / 折井美耶子 (p.45-47)

月刊女性&運動 [216] (2000.08)

403. 対談：「平和なくして平等なし」の原点で運動を：イデス・バランティンさん / 井上美代さん (p.4-7)

特集：国連・女性2000年会議

404. 「21世紀にむけた男女平等・開発・平和」の実現めざして：女性2000年会議に参加して / 井上美代 (p.8-14)
405. 国連特別総会：女性2000年会議での採択文書「政治宣言」：NGOの「平和コーカス」(女性と武力紛争会議)に新婦人が提案したアピール(案)：「女性と武力その他の紛争」コーカスから全体委員会およびすべての国連加盟国へのステートメント(声明) (p.15-17)
406. 国連特別総会：女性2000年会議への要望書(2000年6月1日) / 新日本婦人の会 (p.18-19)
407. 「夫・恋人・同居人から女性への暴力についてのアンケート：女性への暴力をなくすために」結果について / 新日本婦人の会 (p.21-30)

408. 国会リーダー：スウェーデンの高齢化社会と女性の政治参加(参議院共生社会に関する調査会会議(2000年3月1日))：参考人岡澤恵美 (p.38-40)

409. 草の根の女たちのあゆみ(14)：近江絹糸の人権争議：私たちの要求はぜいたくなのでしょうか(滋賀県) / 折井美耶子 (p.41-43)
410. 職場シリーズ：週35時間労働でフランスはいま：布施恵輔 (p.44-45)
411. 思春期を生きる(2)：支え合う親たち：『非行』と向き合う親たちの会 / 能重眞作 (p.46-47)

月刊女性&運動 [217] (2000.09)

412. 草の根の女たちのあゆみ(15)：いのちを守る母親運動：「母親が変われば、社会が変わる」(静岡県) / 折井美耶子 (p.50-52)

月刊女性&運動 [219] (2000.11)

413. 講演：不安の子育てから安心の子育てへ：子育てはあたたかく、やわらかく、ゆったりと：赤ちゃん・親子リズム小組全国交流会 / 増山均 (p.6-11)
414. 草の根の女たちのあゆみ(16)：沖縄の戦後：祖国復帰を、基地のない沖縄を(沖縄県) / 折井美耶子 (p.50-52)

月刊女性&運動 [220] (2000.12)

特集：大リストラに負けない女たち

415. 男女差別は許さない!!：“世界の日立”を相手に勝利の和解 / 高倉正子 (p.8-9)
416. 息子の思いを語り続けて：オタフクソース過労死裁判勝利 / 木谷照子 (p.10-11)
417. 許せない時代錯誤の判決：住友電工男女差別裁判 / 長岡麻寿恵 (p.12-13)
418. 草の根の女たちのあゆみ(17)：勤務評定反対の闘い：母と教師が手を結んで(愛媛県) / 折井美耶子 (p.35-

37)

月刊女性&運動 [221](2001.01)

419. 対談：「平等・開発・平和」の歴史をひらくNGOの力/フェリシティ・ヒル,井上美代 (p.4-9)

特集：連帯ひろげる女性運動

420. 20世紀から21世紀への女性運動：その展望をさぐる/米田佐代子 (p.10-14)
421. 女性の人権に関する略年表(国連・日本) (p.18-19)
422. 女性2000年NGO日本大会記念講演：21世紀を生きる女性たちの課題と行動/パム・ラジブット (p.20-21)
423. 草の根の女たちのあゆみ(18)：三ちゃん農業：出稼ぎ村の女たち(岩手県)/折井美耶子 (p.49-51)

月刊女性情報 [174](2000.09)

424. 特別企画：従軍慰安婦問題 (p.68-69)
425. 特別企画：女たちの性的状況 (p.70-73)
426. 特別企画：99年版女たちの事件簿：D・V/性犯罪(強姦・ストーカー) (p.74-89)

月刊女性情報 [175](2000.10)

427. 99年度版女たちの事件簿：性犯罪(2)：強制わいせつ、スクールセクハラ、痴漢 (p.60-80)

月刊女性情報 [176](2000.11)

特別企画I 全国子育て情報

428. 国・自治体の子育て支援策 (p.28-35)
429. 企業の子育て支援事業：勤務・福利厚生制度：託児・ベビーシッター派遣サービス (p.36-39)
430. 子育て情報誌 (p.40-45)
431. 子育て情報サイト (p.46)
432. 終わる「女性週間」半世紀のあゆみ(第49回まで「婦人週間」)/労働省女性局 (p.47-55)
433. 資料編：男女共同参画基本計画策定に当たったの基本的な考え方(上)：21世紀の最重要課題(答申)/男女共同参画審議会 (p.56-67)

月刊女性情報 [177](2000.12)

434. 女性がトップの企業リスト (p.42-59)
435. 資料編：第11回 女性社長の売上高ランキング(2000年7月(株)帝国データバンク発表) (p.60-63)
436. 資料編：男女共同参画基本計画策定に当たったの基本的な考え方(下)：21世紀の最重要課題(答申) (p.64-71)

月刊福祉 [83-14](2000.12)

特集：虐待問題を考える

437. 虐待者へのインタビュー調査からみた在宅高齢者虐待の要因/白井キミカ (p.20-23)
438. 児童虐待対策の現状と課題/才村純 (p.24-27)
439. 障害者虐待を考えるための視点/副島洋明 (p.28-31)
440. 暴力は犯罪である/松沢待子,米田弘枝 (p.32-35)
441. 早期発見と適切な介入のために/徳永雅子 (p.46-47)
442. 慎重にアクセスしてほしい民間シェルターのサポー

ト・システム/平川和子 (p.54-55)

443. 子ども・家庭・地域：外国籍・無国籍の子ども支援方法とその課題/花崎みさを (p.88-91)

月刊福祉 [83-3](2000.02)

特集：求められる保育サービス：地域の子育て支援の中核をめざす

444. 多様化する保育サービスの現状と課題：子育ての社会化に向けて/網野武博 (p.12-17)
445. データでみる「保育サービス」(p.18-19)
446. アンケートにみる「こんな保育サービスがほしい」：働くお母さんの声から (p.20-21)
< 保育園は今 >
447. 事例(1)：延長・夜間保育(東京都・品川区立東五反田保育園)/佐々木統子 (p.22-23)
448. 事例(2)：一時保育(神奈川県・湘野辺保育園)/松岡俊彦 (p.24-25)
449. 事例(3)：障害児保育(長野県・大町第5保育園)/福島百子 (p.26-27)
450. 事例(4)：子育て支援(福井県・草の実保育園)/塩谷庸子 (p.28-29)
451. 事例(5)：乳児保育(宮城県・権現乳児保育所)/小笠原加代 (p.30-31)
452. 事例(6)：24時間保育(石川県・金沢市)/宮田敏之 (p.32-33)
453. 福祉制度改革で、保育サービスは変わったか/菊池繁信 (p.36-41)
454. 福祉制度改革で、保育サービスは変わったか：保育所の可能性としての5つの選択肢/山縣文治 (p.42-47)
455. 改訂・保育所保育指針の意味と課題/柘尾勲(p.48-53)
456. 21世紀に求められる保育サービス提供システム：良質な保育サービスがもれなく効率的に提供されるために/福田素生 (p.54-59)
457. 児童家庭福祉の未来：東大阪子ども家庭センター：児童相談所のひとつのあり方：子どもの人権を守る機関として (p.90-95)
458. 「老人と子ども」統合ケアに関する調査研究について/新田淳子 (p.110-115)

月刊福祉 [84-1](2001.01)

特集：21世紀の社会保障のトータルビジョン

459. 公的年金制度：残された課題と将来展望/高山憲之 (p.26-33)
460. 女性と社会保障/木村陽子 (p.34-39)
461. 少子高齢化と社会保障制度のバランス：児童手当から考える/池本美香 (p.40-45)
462. 多様な家族の共生に向けた“ひとり親家族支援”/湯澤直美 (p.84-87)
463. トピックス：中央省庁の再編成と厚生労働省の発足について (p.122-123)

月刊婦人展望 [510](1999.12.10)

464. 座談会：女性問題の進展がみられた1999年を振り返る/戒能民江[ほか] (p.6-11)

465. I・サンチャゴ氏、フィリピン副大統領選を語る / アイリーン・サンチャゴ (p.12)
 466. 地方議会女性議員の現状調査概要 (p.13)
 467. ESCAPハイレベル政府間会議について聞く会 (p.14)
 468. 男女共同参画社会に向けて(3) : 農業分野での男女共同参画の取り組みと課題 / 根岸久子 (p.16-17)

現代思想 [27-12] (1999.11)

特集 : グローバリゼーション

469. グローバリゼーションとジェンダー / 足立真理子, 伊豫谷登士翁, 古田睦美 (p.58-90)
 470. すばらしき開発の言説 / 古谷嘉章 (p.98-109)
 471. 「開発」の中のリプロダクティブ・ライツ : 性の自己決定権の裏側 / 後藤浩子 (p.120-137)
 472. ポストコロニアル理性批判 / Gayatri Chakravorty Spivak ; 長原豊訳 (p.162-199)
 473. 世界銀行とニワトリ : 主婦クレジット : 夢か悪夢か? / Claudia von Werlhof ; 伊藤明子訳 (p.214-225)
 474. ジェンダーと環境保護運動 : 平等・能動的主体性・参加の問題について / Bina Agarwal ; 池田真理訳 (p.250-277)

現代思想 [27-13] (1999.12)

475. 変貌する空間 : 空間論的転回、その後 / 上野俊哉 (p.72-79)

現代思想 [28-9] (2000.08)

特集 : 感情労働

476. 「心の時代」は人を救えるのか / 小沢牧子 (p.92-99)
 477. 「教育の転換」とスクールカウンセラー / 篠原睦治 (p.100-110)
 478. 牧人=司祭型のカウンセリングを超えて : よりよい社会臨床のための試論 / 井上芳保 (p.111-125)
 479. 「嫉妬」は女のものか : 日本近代文学と「嫉妬」 / 鈴木直子 (p.142-149)
 480. 出生と生殖エンジニアリングへの価値理論的アプローチ / キャスリン・ラッセル ; 石井香江訳 (p.158-177)
 481. エンパワーメントへの意志 : 市民権のテクノロジーと「貧困との戦い」 / パーバラ・クルックシャンク ; 福本圭介訳 (p.178-197)
 482. メラニー・クライン、乳児の発見 / 福本修 (p.202-209)

現代思想 [28-11] (2000.10)

特集 : グローバルシティ東京

483. 同性愛者の人権とグローバル化 : 東京都人権指針骨子からの削除をめぐる / 風間孝 (p.94-99)

現代思想 [28-13] (2000.11)

484. 語れぬ出来事に遭遇した人々が何を語るのか / エレーヌ・シクスー ; 松田充代訳 ; コリン・コバヤシ解説 (p.8-21)
 485. 討議 : 和解の政治学 / 鷗飼哲, 高橋哲哉 (p.46-68)

特集 : 和解の政治学

486. 捕虜はなぜ「和解」に頷けないか : 英国捕虜・抑留者

問題における齟齬の構図 / 中尾知代 (p.145-169)

現代思想 [28-14] (2000.12)

特集 : ジュディス・バトラー : ジェンダー・トラブル以降

487. クィア理論をとおして考える / イヴ・K・セジウィック ; 竹村和子, 大橋陽一訳 (p.30-42)
 488. バトラーがつなぐもの / 竹村和子, 富山一郎 (p.44-65)
 489. 『ジェンダー・トラブル』序文(1999) / ジュディス・バトラー ; 高橋愛訳 (p.66-82)
 490. 「良心がわたしたち皆を主体にする」 : アルチュセールの主体化 / 隷属化(サブジェクション) / ジュディス・バトラー ; 井川ちとせ訳 (p.84-103)
 491. ヘーゲルの「不幸な意識」論を読む : 執拗な取り憑きと身体の主体化 / 隷属化(サブジェクション) / ジュディス・バトラー ; 大池真知子訳 (p.104-124)
 492. 性的差異の未来 : ジュディス・バトラー、ドゥルシラ・コーネルとのインタビュー / ジュディス・バトラー [ほか] (p.126-153)
 493. 裁く / 裁かれる者は誰か / 大越愛子 (p.154-161)
 494. 名づけ / パフォーマティヴィティ / パフォーマンス : 批判の特権性と独断性を切り崩す戦略 / 大貫敦子 (p.162-171)
 495. 主体なきフェミニズムは可能か / 岡野八代 (p.172-186)
 496. 主体化されない残余 去勢 / 村山敏勝 (p.187-199)
 497. 関係を続ける : 松浦理英子『裏ヴァージョン』、『こころ』と『放浪記』と / 飯田祐子 (p.200-211)
 498. ことばの畏のネゴシエーション / クレア・マリイ (p.212-224)
 499. 意味づけ直すこと / ゆだねること / 新田啓子 (p.225-239)
 500. 「変動する主体」の想像 / 創造 : 「レスビアン & ゲイ・パレード」とバトラー再考から / 砂川秀樹 (p.240-246)
 501. 主体・アイデンティティ・エイジェンシー : バトラー理論の再検討 / 伊野真一 (p.247-255)

現代思想 [29-1] (2001.01)

特集 : IT革命の陥穽

502. メルプロジェクトのはじまり : ゆるやかなコミュニケーション改革の対抗力 / 水越伸 (p.206-217)

現代性教育研究月報 [17-11] (1999.11)

503. 都性研「1999年、児童・生徒の性意識・性行動調査」報告 : 児童・生徒の性意識・性行動 : 現状をどう見るか / 東京都幼・小・中・高・心障性教育研究会性意識・性行動調査委員会 (p.1-7)
 504. 家庭科教師の性教育実践(2) : 化学教師からの方向転換 : 性教育への誘いその1 / 福田祥子 (p.8-9)
 505. 伏見憲明が聞く / 現代「性の倫理学」11 : “女”で“障害者”はダブル・マイノリティ : 嫌われることが社会を変える第一歩 / 小山内美智子, 伏見憲明 (p.10-15)

現代性教育研究月報 [18-7] (2000.07)

506. 調査報告 : 四半世紀の動向を探る : 青少年の性行動はどう変わったのか : 第5回「青少年の性行動調査」よ

- り/片瀬一男 (p.1-4)
507. 岡山発：出前性教育講座の試み：関係機関の連携で性教育の輪を/市場尚文 (p.5)
508. 座談会：21世紀のセクシュアリティを考える(第2回)/赤川学[ほか] (p.6-11)
509. 家庭科教師の性教育実践(10)：あなたは「からだ」のことをどれくらい知っていますか?/福田祥子 (p.12-13)

現代性教育研究月報 [18-8](2000.08)

510. 第38回日本=性研究会議報告：JASE 学術研究補助金対象研究(第10回)の成果/荻野員也[ほか] (p.1-6)
511. 岡山発：出前性教育講座の試み(4)：まずは大人の性教育/市場尚文 (p.7)
512. 座談会：21世紀のセクシュアリティを考える(第3回)/赤川学[ほか] (p.8-13)
513. 家庭科教師の性教育実践(11)：からだを知ろう、その2/福田祥子 (p.14-15)

現代性教育研究月報 [18-9](2000.09)

514. 記念講演(概要)：リプロダクティブ・ヘルス/ライツからみた性教育/松本清一 (p.4-7)

現代性教育研究月報 [18-10](2000.10)

515. セクシュアル・ヘルス/ライツ・推進のあしがかりを求めて：第6回アジア性科学学会(ACS)報告/鍛冶良実 (p.1-5)
516. 21世紀における性と健康と権利：その前進と展望/イライ・コールマン (p.6-10)
517. 岡山発：出前性教育講座の試み(5)：中高年の性行動・性意識の現状(1)/市場尚文 (p.11)
518. 家庭科教師の性教育実践(12)：中絶について/福田祥子 (p.12-13)

現代性教育研究月報 [18-11](2000.11)

519. エイズ予防教育はなぜうまくいかないのか/池上千寿子 (p.1-4)
520. 男が変われば予防もすすむ：国連合同AID計画 2000年世界AIDSキャンペーン/日本性教育協会訳 (p.5-8)
521. 岡山発：出前性教育講座の試み(6)：中高生の性行動・性意識の現状[2]/市場尚文 (p.9)
522. 家庭科教師の性教育実践(13)：避妊について/福田祥子 (p.10-11)

現代性教育研究月報 [18-12](2000.12)

523. 20世紀科学技術の発展は女性の生活をどう変えたか：ミレニアムを期して/宇野賀津子 (p.1-5)
524. インタビュー：いのち、性を撮り続けて：願いは老若男女共生の社会/横坪多鶴子 (p.6-9)
525. 岡山発：出前性教育講座の試み(7)：出前講座スタート/市場尚文 (p.10)
526. 家庭科教師の性教育実践(最終回)：ジェンダーをめぐるの逡巡/福田祥子 (p.12-14)

現代性教育研究月報 [19-1](2001.01)

527. 第39回日本=性研究会議報告：青少年の性行動：第5回青少年の性行動調査結果から/和田綾乃[ほか] (p.1-5)

528. 日本人の性意識：NHK「性についての実態調査」から (p.6-9)
529. 岡山発：出前性教育講座の試み(8)：講師の熱意が生徒に届いた/市場尚文 (p.10)
530. 海外レポート：人間が真の《人間》となる、その日まで：出産・出生のヒューマニゼーションに関する国際会議/小貫大輔 (p.12-14)

現代のエスプリ [388](1999.11)

特集：思春期挫折とその克服

< 青少年の危機とは何か >

531. 思春期と社会：ある父子二代の青春/斎藤悠紀雄 (p.28-34)
532. 思春期危機とは何か/江幡玲子 (p.35-43)
533. 若者の現状とその対策/荒木均 (p.44-52)
534. 青少年の危機とは何か：青少年と家族関係/佐藤悦子 (p.53-63)
535. 青少年期の精神発達とその課題/中島聡美 (p.64-71)
536. 青少年の精神病理：精神分裂病の場合/菊池章 (p.72-79)
537. 不登校と家庭内暴力/倉本英彦 (p.80-86)
538. いじめ・校内暴力/倉本英彦 (p.87-93)
539. 社会的ひきこもり：現状と展望/斎藤環 (p.94-101)
540. 摂食障害/池上恭司 (p.102-110)

541. 思春期における自己破壊行動：アメリカの子供たちに未来はあるか/パメラ・カンター；北川淑子, 斎藤友紀雄訳 (p.111-121)
- < 治療とウェルネス >

542. 訪問相談活動と社会参加支援活動/木曾俊介 (p.128-137)
543. 父親グループ：哀しみと不安の社会化/藤光純一郎 (p.152-157)
544. 登校拒否における不穏期(暴力期)の家庭の対応/米沢宏 (p.158-164)
545. インターネット・カウンセリング/田村毅 (p.165-172)
546. 米国の思春期専門治療施設/朝倉康之, 角田忠之 (p.193-203)
547. 思春期治療の現在/馬場謙一 (p.204-211)

現代のエスプリ別冊.流言, うわさ, そして情報：うわさの研究集大成 (1999.11.20)

548. いろいろなうわさ：現代の噂から口頭伝承の発生メカニズムを探る：「口裂け女」の噂を題材として/木下富雄 (p.13-30)
549. いろいろなうわさ：『消えた新妻』の諸相：パリの噂から/山本節 (p.57-62)

現代のエスプリ [389](1999.12)

特集：遊戯療法

550. プレイセラピストに求められるもの：現実と非現実の中間領域を生きるために/村瀬嘉代子 (p.168-182)
551. プレイセラピストの成長と感受性/東山紘久 (p.196-205)

現代のエスプリ [397](2000.08)

特集：現代社会のうつ病

552. 児童思春期のうつ状態 / 中山浩 (p.94-103)
 553. 摂食障害、人格障害を伴ううつ病：DSM診断の考え方を中心に / 西園マーハ文 (p.150-159)
 554. 母子の抑うつ / 石崎優子 (p.160-169)
 555. 就労ストレスとうつ病 / 永田頌史 (p.170-179)

現代のエスプリ [398] (2000.09)

特集：LD(学習障害)の臨床：その背景理論と実践

556. LDを理解するための基礎：関係障害臨床からみた学習とその困難さ / 小林隆児 (p.102-110)
 557. LDの臨床診断・査定：成人のLD / 鈴江毅 (p.132-138)
 558. LDの臨床診断・査定：LD(学習障害)のサブタイプについて：社会的不適応を起こしやすい子ども達 / 森永良子 (p.149-159)

現代のエスプリ [400] (2000.11)

特集：劇場型社会

< 劇場型社会を考える >

559. 劇場型社会：劇場型社会に生きる人間 / 藤竹暁 (p.27-37)
 560. 癒しとスペクタクル：相談室からみた風景 / 山崎久美子 (p.48-57)

561. 現代型犯罪類型としての「劇場犯罪」：劇場型犯罪の心理と病理 / 小田晋 (p.58-72)

< 劇場化する経済 >

562. 社会の劇場化と商品ブランド：消費者は、いま、何を求めているか / 小川孔輔 (p.131-141)

< 日常生活における劇場化 >

563. 劇場化する消費：見られることによる自己ブランド化 / 音好宏 (p.152-160)

564. 人間関係の劇場化：男女関係とスペクタクル / 野中ともよ (p.161-170)

565. 劇場型犯罪：サイバースペースという劇場が生む犯罪：インターネット犯罪と劇場型社会 / 山本鞆美 (p.200-209)

現代のエスプリ [401] (2000.12)

特集：家庭的保育のすすめ

566. いま「家庭的保育」を問い直す / 畠中宗一 (p.5-9)

< わが国の現状と課題 >

567. 転機に立つ家庭的保育制度の現状と課題 / 福川須美 (p.34-47)

568. 家庭的保育再考：臨床心理学の立場より / 倉戸ヨシヤ (p.48-56)

569. 家庭的保育の意義と可能性：児童福祉の立場から / 野澤正子 (p.57-67)

570. 家庭的保育再考：家族社会学の立場から / 栗山直子 (p.68-76)

< 多様な展開 >

571. ベビーシッター / 早川淳 (p.77-87)

572. チャイルド minder / 畠中宗一 (p.88-95)

573. 家庭福祉員：その制度と子育てにおける今日的役割 / 黒川衣代 (p.96-105)

574. 現代の保育ニーズと「保育ママ」の役割：子育て支援グループの取り組みから / 森下陽美 (p.106-115)

575. ファミリー・サポート・センター事業の現状と課題 /

冬木春子 (p.116-127)

< 世界の動向 >

576. アメリカ合衆国の保育制度：その現状と課題 / 岩崎美智子 (p.128-135)

577. フランスの家庭的保育 / 星三和子 (p.136-145)

578. ドイツの家庭的保育制度 / 古橋エツ子 (p.146-153)

579. スウェーデンの家庭保育室 / 泉千勢 (p.154-164)

580. EU諸国のファミリー・デイ・ケア：EC保育ネットワークの報告と勧告から / 福川須美, 上村康子 (p.165-174)

< 団体からの展望 >

581. 社団法人全国ベビーシッター協会の現状と展望 / 中舘慈子 (p.175-188)

582. チャイルド minder の使命と役割：家庭的保育の原型であるチャイルド minder の展望 / 西内久美子 (p.189-203)

583. 家庭的保育制度・実践者の立場から / 黒住光 (p.204-209)

584. 家庭的保育制度の展望 / 江見隆子 (p.210-213)

585. わが国における家庭的保育の展望 / 畠中宗一 (p.214-220)

現代のエスプリ [402] (2001.01)

特集：変貌する職場のメンタルヘルス

586. 職場のメンタルヘルスを支える人：産業看護職 / 錦戸典子 (p.68-74)

587. 職場におけるセクシュアルハラスメントの防止 / 一杉一子 (p.123-128)

588. 様々な病態：職場不適応症 / 夏目誠 (p.129-136)

589. 様々な病態：嗜癪 / 北村尚人 (p.168-176)

590. 職場のメンタルヘルスへの様々なアプローチ：キャリアカウンセリングの展望 / 大庭さよ, 渡辺三枝子 (p.177-183)

現代のエスプリ [403] (2001.02)

特集：ひきこもり

< ひきこもりの考え方とその対応 >

591. ひきこもり概念の変遷とその心理 / 武藤清栄 (p.35-44)

592. ひきこもりケースに対する精神保健活動 / 近藤直司 (p.69-77)

593. 日米の比較に見るひきこもり：対策と、リプロセス・リトリートによるアダルト・チルドレンの癒し / 西尾和美 (p.86-95)

< ひきこもりとカウンセリング >

594. ひきこもりと表現：音楽療法の実践 / 渡辺健 (p.104-112)

595. ひきこもりのSATカウンセリング / 宗像恒次 (p.113-128)

596. ひきこもりとプリーセラピー：解決焦点化アプローチの立場から / 市川千秋 (p.129-136)

597. ひきこもりと家族療法：患者を対象としない家族援助のあり方について / 吉川悟 (p.137-144)

598. ひきこもる若者たちの家族への教育実践 / 梶田宏子 (p.145-154)

< ひきこもる若者たちの居場所とグループ体験 >

599. ひきこもりと彼らの生活空間：フレンドスペース活動

- 実践 / 荒井俊 (p.155-162)
600. ひきこもる若者たちのグループワーク / 宮本佐代子 (p.163-172)
< ひきこもりと社会復帰 >
601. ひきこもる若者たちとキャリア開発 / 佐藤敏子 (p.182-192)
602. インターネットによるひきこもりからの脱出 / 渋谷英雄, 武藤収 (p.198-202)
603. 我がひきこもり体験を越えて / 萩原康博 (p.203-207)
< 連携とコンサルテーション >
604. ひきこもり民間相談機関へのコンサルテーション / 渡辺俊之 (p.208-218)

現代のエスプリ別冊.生活文化シリーズ [3]

(2000.07.10)

特集：現代人の居場所

- < 居場所はなぜ問題になるのか >
605. 居場所について / 芹沢俊介 (p.35-46)
606. 居場所を考える / 藤竹暁 (p.47-57)
< 居場所が論じられる諸相 >
607. 職場が居場所でなくなる / 片山修 (p.58-67)
608. 働く女の居場所 / 藤久ミネ (p.68-75)
609. 家庭の居場所探し / 久保田信之 (p.76-82)
610. 子どもの原風景と地域空間 / 天野正子 (p.83-94)
611. 「子ども部屋」は子どもの居場所たりうるか / 高山英男 (p.95-103)
612. 子どもに居場所を与えない母親・子どもをいじめる母親 / 菅佐和子 (p.104-113)
613. 子どもにとって学校が居場所でなくなるとき / 岩月謙司 (p.114-124)
614. 居場所をさがす女子大生 / 伊奈正人 (p.125-135)
< 人々と居場所 >
615. 少年の居場所・少女の居場所：コミックが語るもの / 藤本由香里 (p.136-151)
616. オトコの居場所 / 江原由美子 (p.152-160)
617. オンナの居場所 / 香取淳子 (p.161-170)
618. 夫の居場所 / 前納弘武 (p.171-182)
619. 妻の居場所 / 残間里江子 (p.183-192)
620. 高齢者の居場所：新しい福祉のあり方 / 三本松政之 (p.193-203)
621. ホームレスの居場所：居場所を捨てた人の居場所 / 金子雅臣 (p.204-212)
622. ミーフエチ世代の居場所 / 岩村暢子 (p.223-231)
623. ヴァーチャル空間における居場所 / 粉川哲夫 (p.232-238)
624. CMの居場所は何処に / 山川浩二 (p.239-250)

現代のエスプリ別冊.ヒューマン・ケア心理学シリーズ](2000.07.10)

特集：生活習慣の心理と病気

625. 生活習慣病を理解するための心理的基礎：生活習慣にかかわる性格特性 / 次郎丸睦子 (p.46-56)
< ライフサイクルから見た生活習慣の問題 >
626. 発達性肥満と母子関係 / 花沢成一, 芳川玲子 (p.88-98)
627. 子どものストレスと生活習慣病 / 小山田隆明, 足立久子 (p.99-111)

628. 若い女性の食習慣の異常 / 小澤真 (p.112-122)
629. 働き盛りの生活習慣病と健康管理 / 津久井要, 山本晴義 (p.123-135)
630. 高齢者の健康と生活習慣 / 長田久雄 (p.136-147)
< 心理社会的ストレスと生活習慣の問題 >
631. 子どもの生活環境要因と生活習慣病 / 遠藤公久 (p.158-169)
632. 地域社会のライフスタイルと心理社会的ストレス / 青木慎一郎 (p.170-183)
633. 生活習慣病と産業カウンセリング / 楡木満生 (p.184-193)
634. 疾病特性と心理学的要因：肥満・高脂血症患者の心理的問題 / 小玉正博 (p.218-230)

国立婦人教育会館研究紀要 [1](1997.10)

特集：女性のエンパワーメント

635. エンパワーメントと女性の教育・学習：国の婦人教育施設の系譜からみる / 志熊敦子 (p.5-12)
636. 開発・ジェンダー・エンパワーメント / 村松安子 (p.13-22)
637. 子ども虐待のイメージと女性のエンパワーメントの可能性を探る / 高橋佐知子 (p.33-47)
638. 『部落出身』であると同時に『女性』であること：二人の被差別部落女性の口述生活史より / 玉井真理子 (p.49-57)
639. 実践事例研究：エンパワーメントの思想に立った子育て支援 / 河合容子 (p.59-66)
640. 女性学教育・学習の課題と展望：国立婦人教育会館“女性学講座”16年の軌跡より / 上村千賀子 (p.67-76)
641. 男性対象のジェンダー講座の現状と課題 / 伊藤公雄 (p.77-88)
642. 日本におけるジェンダー統計：現状、問題、克服の方向 / 伊藤陽一 (p.89-97)
643. 日本の女性政策と「開発と女性」(WID)：1975年以降の動向 / 伊藤真知子 (p.98-103)
644. 実践事例にみる学校・家庭・地域の連携論の検討 / 中野洋恵 (p.104-111)
645. 『アジア・太平洋地域の女性政策と女性学』(原ひろ子・前田瑞枝・大沢真理編(新曜社、1996)合評会 / 岡澤憲英[ほか] (p.112-125)

国立婦人教育会館研究紀要 [2](1998.12)

特集：ジェンダーからみた家族

646. 家族と暴力 / 戒能民江 (p.3-12)
647. 福祉国家と家族 / 杉本貴代栄 (p.13-22)
648. 田子一民の「良夫良父主義」：大正期日本の父親論におけるジェンダー・ポリティックスと「ヘゲモニー」 / 海妻径子 (p.37-46)
649. < 家族のきずな > とケアに関する一考察：全身性障害者の「語り」を読み解く / 土屋葉 (p.47-56)
650. インフォーマル部門の女性労働と家族：インドネシア・中部ジャワの事例から / 嶋田ミカ (p.57-68)
651. 多重責務問題とジェンダー：多重責務と貧困の女性化 / 石黒由美子 (p.69-77)
652. 農村で女が「生活を書く」ということ：1945-1960年

- 代の生活記録運動から / 辻智子 (p.79-85)
653. 家庭教育・生涯学習における遠隔講座への新教育メディアの適用 / 飯田記子 (p.87-93)
654. 調査研究報告：都市化社会の進捗と家庭・地域の教育機能に関する調査研究 / 矢口悦子, 中野洋恵 (p.95-102)
655. 調査研究報告：平成8年度・平成9年度文部省科学研究費補助金(国際学術研究)「アジアにおける<開発と女性>に関する文化横断的調査研究」調査実施報告 / 伊藤眞知子 (p.103-106)
656. エック公開シンポジウム：シンポジウム 1：「ジェンダーの視点から統計を見る」 / 中野洋恵[ほか] (p.107-115)
657. エック公開シンポジウム：シンポジウム 1：「社会教育における女性学教育/学習の内容と方法」 / 伊藤眞知子[ほか] (p.115-125)

国立婦人教育会館研究紀要 [3] (1999.12)

特集：ジェンダーと生涯学習

658. ジェンダーと生涯学習：人権の視点からの女性のエンパワーメント課題 / 金井淑子 (p.1-12)
659. 家庭教育とジェンダー：家族臨床の視点から見えてくること / 中釜洋子 (p.13-21)
660. 学校教育における男女平等教育：教育機会均等と家庭科 / 朴木佳緒留 (p.23-32)
661. アルコール依存症と女性の関わり：妻のミーティング参加と「支え手」役割の変更 / 石川由香里 (p.33-42)
662. 女性の経済活動と女性観：カンボジア女性小売商の事例研究 / 日下部京子 (p.43-52)
663. 育児初期の母親の養育意識・行動とサポート資源 / 加藤道代 (p.53-59)
664. 0 - 1歳児の子どもを持つ母親の育児不安と育児情報に関する一考察：平成9-10年度「高度情報化社会における新しい子育てネットワーク形成に関する実証的調査研究」より / 中野洋恵 (p.61-70)
665. 調査研究報告：開発と女性に関する文化横断的調査研究：国際シンポジウムにおける成果公開 / 伊藤眞知子 (p.71-77)
666. 調査研究報告：高等教育機関における女性学関連科目等の現況：平成8年度調査報告 / 池田淑子, 宮澤紀美 (p.79-87)
667. 平成10年度エック(国立婦人教育会館)公開シンポジウム：子どもとおとなの居場所づくり：家庭を支える地域の教育力を考える / 天野正子[ほか] (p.88-101)

国立婦人教育会館研究紀要 [4] (2000.11)

特集：女性と人権

668. 女性と人権：「人権の世紀」を拓く課題 / 辻村みよ子 (p.3-8)
669. 女性の人権としてのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ / 柘植あづみ (p.9-14)
670. 男性にとってのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ：<産ませる性>の義務と権利 / 沼崎一郎 (p.15-23)
671. 「家族」のなかの人権：高齢者介護問題を中心として / 春日キスヨ (p.25-34)
672. 女性の人権と教育：女性問題学習における主体形成と自己表現 / 木村涼子 (p.35-42)

673. 「人権」を論ずることと「女性の人権」を論ずることの間隙：講義「人権」をめぐる考察 / 根岸泰子 (p.43-52)
674. 刑事司法とジェンダー / 宮園久栄 (p.53-64)
675. 加害者のDV克服支援からの新たな視点：フェミニズムと「加害者臨床」の統合モデルに向けての試論 / 草柳和之 (p.65-74)
676. 男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究 / 中野洋恵 (p.83-90)
677. 生涯学習の現状と情報通信技術を利用した情報提供に関する調査研究 / 安達一寿 (p.91-98)
678. エック(国立婦人教育会館)公開シンポジウム：「開発におけるジェンダーとエンパワーメント」(平成11年度) / 目黒依子[ほか] (p.99-113)

こころの科学 [85] (1999.05)

679. プリーフェセラービーの精神 / 児島達美 (p.2-7)
680. 発達障害の豊かな世界(13・最終回)：二人のトゥレット症候群 / 杉山登志郎 (p.8-15)

特集：現代の家族

681. 現代家族論 / 鈴木浩二 (p.18-22)
682. 学校と家族 / 澤田章子 (p.23-27)
683. 食事と家族 / 青木義子 (p.28-33)
684. 青年期と家族：教育と臨床のはざま / 坂上佑子 (p.34-38)
685. 高齢者の家族 / 高梨薫 (p.39-44)
686. ADHDと家族 / 上林靖子 (p.45-50)
687. 児童虐待と家族 / 佐藤協子 (p.51-55)
688. 性犯罪被害者とその家族：警察被害者相談の視点から / 佐々木千鶴子 (p.56-60)
689. 「ひきこもり」の精神病理 / 白石弘巳 (p.61-65)
690. アルコールと家族 / 三井敏子 (p.66-71)
691. ストレス病と家族 / 宮川真一 (p.72-77)
692. 家族療法の現在 / 榎理一郎 (p.78-83)

693. “母性愛神話”を問い直す(9)：男を父にさせない母性愛神話の罪 / 大日向雅美 (p.102-109)

こころの科学 [91] (2000.05)

694. レビッシュ思春期現象学(1)：二極分化する思春期 / 斎藤環 (p.8-14)

特集：アルコール依存症

695. アルコール依存症の回復と転帰 / 鈴木康夫 (p.43-47)
696. 家族をどう支えていくべきか / 安田美弥子 (p.59-63)
697. 女性のアルコール依存症 / 比嘉千賀 (p.64-71)
698. 老年期のアルコール依存症 / 堀井茂男 (p.72-78)
699. ヤングアルコールリックとAC / 鈴木健二 (p.80-84)
700. 共同作業所と福祉サービス / 榎本歌代子 (p.97-102)

701. クリニカル・インターネット(2)：インターネットは自己愛的か / 高石浩一 (p.122-128)

こころの科学 [93] (2000.09)

特集：人格障害

702. 人格障害と現代：人格障害と男らしさ / 林真一郎 (p.40-46)

703. 人格障害と現代：自己愛性人格障害と現代 / 和田秀樹 (p.66-71)

704. レビッシュ思春期現象学(3)：「おたく」のセクシュアリティについて(2)：おたく的欲望の二つの形式 / 齋藤環 (p.100-105)

こころの科学 [94](2000.11)

705. 大学生は何に悩んでいるか：青年期の拡散・希薄化のなかで / 齋藤憲司 (p.2-10)

特集：子どもの臨床の明日

706. 子どものこころを支えるために / 村瀬嘉代子(p.17-22)

707. 乳幼児精神医学はどこまで進んだか / 金子一史, 本城秀次 (p.33-38)

708. 親はなぜわが子を叩くのか：子ども虐待の背景にあるもの / 椎名篤子 (p.46-51)

709. 児童相談所はどこへ向かうのか：その可能性と限界 / 杉山信作 (p.69-75)

710. 非行と広汎性発達障害 / 藤川洋子 (p.76-84)

711. 「子どもの人権」再考 / 滝川一廣 (p.85-91)

712. クリニカル・インターネット(5)：インターネットにひそむ「悪」 / 高石浩一 (p.100-107)

713. 逸脱の精神史(6)：奇妙な食物 / 酒井明夫 (p.108-115)

714. レビッシュ思春期現象学(4)：「おたく」のセクシュアリティについて(3)：スーパーフラットと間主観性 / 齋藤環 (p.116-123)

こども未来 [338](1999.11)

特集：家族観の変容と子育て

715. 戦後の家族変動からその未来像を探る：自立した個人の確立が新しい家族像への第一歩 / 袖井孝子 (p.7-9)

716. 現代の子育て家庭が抱える問題とその支援：子育ては家族だけでなく社会全体で取り組むべき / 岩上真珠 (p.10-11)

717. 生態学・人類学の視点からみた家族と子育て：家族を考えることはヒトであることの原点を見つめること / 河合雅雄 (p.12-13)

718. これからの時代の望ましい父母のあり方を考える / 小此木啓吾 (p.14-15)

719. エンゼルプラン西東：13年度からの新プラン策定に向け現在の課題の細部をチェック(福井県) (p.24-25)

720. 地方からの報告：保育所と高齢者交流館の複合施設「花水樹ガーデン」：子どもたちと高齢者の交流を活発に(島根県島根町) (p.26-27)

こども未来 [339](1999.12)

特集：仕事と育児の両立「しにくさ」と「しやすさ」の諸条件

721. 仕事と育児を両立するための社会的支援を考える：両立支援の効果・根拠を実証し、具体的な行動へ / 下夷美幸 (p.12-13)

722. 実例紹介：(株)エトワール海渡：事業所内託児施設の設置で安心して働ける環境づくり (p.14)

723. エンゼルプラン西東：「すべての県民の関心喚起を」：テレビ番組とCMに大きな期待(岩手県) (p.24-25)

こども未来 [346](2000.07)

特集：自立した親子関係を目指して

724. 「親」と「子」という関係について：自立をキーワードに：自立は依存を前提に成り立つもの 子どもにならずして大人にはなれない / 野々山久也 (p.7-9)

725. 親子間コミュニケーションの在り方：親への依存から反抗、再評価へ：自立の階段に応じて気持ちを伝える / 大日向雅美 (p.10-11)

726. 親離れ・子離れの必要性：依存から自立へ：子別れの実効は思春期に以降は子どもを支える役割を / 齋藤環 (p.12-13)

727. 親子関係にみる日本と欧米の違い：子育ての目的を問うてみると 絶句する日本と「自立」と答える欧米 / あわやのぶこ (p.14-15)

728. ストップ! 児童虐待：早期発見と予防のための課題と対応 / 安部計彦 (p.20-21)

729. 地方からの報告(千葉県浦安市)：エンゼルヘルパー派遣制度：保護者の病気や産後の回復期に保育や家事をサポート (p.26-27)

こども未来 [347](2000.08)

730. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応 / 庄司順一 (p.20-21)

731. 子育てBack Up：こども未来財団の助成先紹介：事業所内保育施設整備費等助成事業：24時間体制の保育施設で働き続けられる環境を実現(福岡青洲会病院(福岡県粕谷町)) (p.25)

732. ホッ! とインタビュー：自然の中に放り出せば、子どもはいろいろなことを五感で学び取ります / 今井通子さん / 上垣内伸子 (p.31-33)

こども未来 [348](2000.09)

733. 子育てコストの推移とその影響を探る：こども未来財団が調査 (p.6-13)

特集：子育てコストの推移とその影響を探る

734. 「子育てコストに関する調査研究」報告書を読んで / 石田好江 (p.14-15)

735. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応 / 加藤曜子 (p.20-21)

736. 子育てBack Up：こども未来財団の助成先紹介：在宅保育サービス助成事業：息づく創業精神、両立支援も積極的に対応(主婦の友社(東京)) (p.25)

737. 地方からの報告：乳幼児地域ふれあい事業：保育所を入所児童と在宅児童触れ合いの場に(福岡県) (p.26-27)

こども未来 [349](2000.10)

特集：続発する少年犯罪 その背景にあるものは？

738. 現代の少年犯罪の傾向と背景：「普通の少年」「原因不明」「突発的」がキーワード：自己・他者・社会が欠如した心の空洞化が背景に / 清水賢二 (p.7-9)
739. 少年犯罪を生む温床とその予防：情報の氾濫と日本的「同一化」意識が関与：テレビによる弊害を親がもっと意識すべき / 福島章 (p.10-11)
740. 家族を含めた地域全体で防ぐ少年犯罪：親が心のゆとりをもつことが大切：生きる目標を感じ取れる環境づくりを / 川崎二三彦 (p.12-13)
741. 思春期の心理に影を落とす幼児期の接し方：子どもの感性を奪う親の過干渉：子どもを成長させる心からのほめ言葉 / 清水エミ子 (p.14-15)
742. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応：通告をめぐる現況と課題 / 平湯真人 (p.20-21)
743. 地方からの報告：父親の子育て参加推進事業：子育て体験記に続き、パパの子育てセミナーを各地で開く(静岡県) (p.26-27)

こども未来 [350](2000.11)

特集：活発化する子育て相談

744. 子育て相談の必要性和その背景：「長時間・密室で・孤立した」育児をする母親たち：求められているのは安らぎと共感が得られる場 / 丹羽洋子 (p.7-10)
745. 子育て相談活動の方法と展開：子ども家庭支援センターが中核となり、各機関とのネットワークが子育てを見守る / 佐伯裕子 (p.11-13)
746. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応：ネグレクトをめぐる課題と対応 / 渡邊好恵 (p.20-21)
747. 地方からの報告：乳幼児健康支援一時預かり事業：民間病院内のスペースの提供を受け、病後の回復期の子どもを預かる(群馬県前橋市) (p.26-27)

こども未来 [351](2000.12)

特集：子どもたちの居場所を考える

748. 調査データから見た子どもの居場所の現状：自宅以外の放課後の居場所は学校・塾・友だちの家：家庭・学校とは異なる「第三の空間」の充実が望まれる / 高山英男 (p.7-11)
749. 完全学校週五日制を有意義なものとするために：教育の場を学校だけでなく家庭・地域へ：子どもの生活力をアップさせる仕掛けづくりを / 瀬田智恵子(p.12-14)
750. 中・高校生たちの居場所づくり：学校や家庭以外の居場所としてスポーツや音楽活動などを展開 / 服部栄 (p.15)
751. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応：予防促進につなげる援助をめぐる課題と対応 / 広岡智子 (p.20-21)
752. 児童虐待の早期発見と予防のために：ドイツにおける取り組みから / 鈴木晶子 (p.26-27)

こども未来 [352](2001.01)

753. ストップ! 児童虐待：早期発見のための課題と対応：援助の連携における課題と対応：救済後の責任を担

う児童養護施設の改善と柔軟かつ地域をも越えた広範な連携を / 祖父江文宏 (p.20-21)

754. 地方からの報告：豊富な知識と経験をもつ中高年を「保育園士」として採用(新潟県上越市) (p.26-27)

思想 [905](1999.11)

755. あなたを忘れない(下)：性の制度の「脱-再生産」 / 竹村和子 (p.121-139)

思想 [913](2000.07)

756. アイデンティティの倫理：差異と平等の政治的パラドックスのなかで / 竹村和子 (p.23-58)
757. 性差と集団的アイデンティティ：グローバルな新たな配置 / Seyle Benhabie ; 長妻由里子訳 (p.59-90)

思想 [914](2000.08)

特集：他者の近代

758. 民族言説と女性：文化、権力、主体に関する批判的読み方のために / Kim Euu-Shil ; 中野宣子訳 (p.63-87)
759. 映画マニア・映画祭・アイデンティティ問題 / キム・ソヨン ; 浜邦彦訳 (p.169-182)

思想 [915](2000.09)

760. 人間の条件と医療：晩年パーソナルの医療社会学 / 高城和義 (p.113-133)

思想 [917](2000.11)

761. 書評：平田由美『女性表現の明治史-樋口一葉以前』 / 成田龍一 (p.146-152)

児童心理 [53-16](1999.11)

特集：しつけ上手な親

762. 望ましい心のしつけとは / 小此木啓吾 (p.1-11)
763. いま、何をしつければよいか：子どもの自立のために親ができること / 内藤俊史 (p.12-17)
764. しつけはどう変わったのか：家族について創り出される物語の中で / 小玉亮子 (p.18-23)
765. しつけ上手な親の共通点 / 伊藤友宣 (p.24-30)
766. しつけとジェンダー / 渡邊恵子 (p.49-53)
767. 母親は自立しているか：30代のライフコースを検証する(3)：親の扶養・介護と自分たちの老後はどうする? / 岩上真珠 (p.113-119)
768. アドラー心理学に学ぶ 自分を好きといえる子に育てる20の知恵(11)：責任感を教えよう / 星一郎 (p.120-126)

児童心理 [53-17](1999.12)

特集：「よい子」が問題

769. なぜ、「よい子」が問題か：「よい子」を生み出すおとなたち / 信田さよ子 (p.1-10)
770. 「よい子」を求める親・教師：ラベリング理論からみる問題点 / 新井郁男 (p.11-16)
771. 傷つのが怖い：「よい子」の行動と心理の特徴：親の期待に応えようとすすぎる子 / 淵上規后子(p.18-24)
772. 傷つのが怖い：「よい子」の行動と心理の特徴：評価に敏感な子 / 藤生英行 (p.25-31)

773. 傷つのが怖い：「よい子」の行動と心理の特徴：人の気持ちに合わせすぎると子 / 永井徹 (p.32-37)
774. 「よい子」のストレスと疲れ / 三池輝久 (p.38-43)
775. 「よい子」が挫折するとき / 林敦司 (p.44-48)
776. 現代の子どもの反抗を考える / 小沢一仁 (p.49-53)
777. 子どもがのびのび育つ家庭づくり：子どもが自己主張できる家庭 / 青木悦 (p.77-82)
778. 子どもがのびのび育つ家庭づくり：子どもが無理しているな、と思ったら：SOSの発見と対応 / 浜名紹代 (p.83-87)
779. 子どもがのびのび育つ家庭づくり：遊び体験は善悪の判断の形成にどう寄与してきたか / 小川博久 (p.88-93)
780. ケース研究：なぜ、あの子が：思春期に「よい子」が起こす問題行動：家庭内暴力：自己イメージが崩れるとき / 田中信市, 田中都子 (p.97-102)
781. ケース研究：なぜ、あの子が：思春期に「よい子」が起こす問題行動：どうして「よい子」がキレるのか / 新福知子 (p.103-107)
782. ケース研究：なぜ、あの子が：思春期に「よい子」が起こす問題行動：無気力：母親とのかかわりのなかで / 藤岡孝志 (p.108-112)
783. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵(最終回)：子育てのイライラ解消法 / 星一郎 (p.120-126)
-
- 児童心理 [54-11] (2000.08)
特集：励まし上手な親
784. 励まし上手な親とは / 野田俊作 (p.1-9)
785. 励ましの心理学：外発的動機づけと内発的動機づけ / 新井邦二郎 (p.10-16)
786. 子どもが励まされたいとき / 細井啓子 (p.17-22)
787. 発達と個性に応じた励まし方 / 塩崎尚美 (p.23-28)
788. 親は子どもの何を励ましたらよいのか / 伊藤友宣 (p.29-35)
789. 励まし過ぎが引き起こす問題 / 池田光幸 (p.36-41)
790. カウンセラー・パパの子育て論 8：どうする?反抗期の子どもとの対話 / 諸富祥彦 (p.119-126)
-
- 児童心理 [54-12] (2000.08.05)
特集：反抗期の子育て：子ばなれ・親ばなれの準備のために
791. 反抗期の子どもの心理・親の心理 / 織田尚生 (p.2-11)
792. 反抗期はどう変わったか：家庭・学校・社会における反抗の表れ方 / 田中信市 (p.12-20)
793. 大人になりたがらない子どもたち：子どもの育ちの基盤を見つめ直す / 栗原輝雄 (p.21-30)
794. 反抗をやめられない子の心の痛み / 浜野昌彦 (p.34-37)
795. データに見る思春期の子の友だちづきあい / 深谷昌志 (p.38-41)
796. 反抗期の親子関係を考える：反抗：子どもの側から考える / 山下英三郎 (p.42-47)
797. 反抗期の親子関係を考える：男の子の反抗・女の子の反抗：反抗の性差と対応 / 齊藤誠一 (p.48-54)
798. 反抗期の親子関係を考える：子どもに望みを託しすぎ
- る親になっていないか / 松元恵子 (p.55-61)
799. 反抗期と親の心構え：反抗期を乗り越えるための親の支援ガイド / 品川博二 (p.128-134)
800. 親がうまく子ばなれするには：親が自分の人生を生きる / 太田仁 (p.135-143)
801. 親がうまく子ばなれするには：母親の子離れを援助する父親 / 松岡洋一 (p.144-151)
802. 少年犯罪にみる反抗：「引きこもり」「人との関わりを避ける」子が犯罪にかかわるとき / 菅原圭悟 (p.152-157)
-
- 児童心理 [54-13] (2000.09)
特集：友だちと遊べる子・遊べない子
803. 友だちと遊べない子・遊べない子の問題点 / 勝倉孝治 (p.25-30)
804. 子どもと上手に遊べない大人たち / 山崖俊子 (p.31-36)
805. 子どもの友だち関係はどうなっているか：フォーマット化された友だちづくり / 西村清和 (p.37-42)
806. 幼児期に遊びに熱中することの大切さ / 及川研 (p.43-48)
807. 子どもの遊びを育てる家庭・地域：好きなことに熱中できる親と子：家族カウンセリングから / 中島弘美 (p.94-98)
808. プレイセラピー：その実践のポイント / 飽田典子 (p.104-108)
809. カウンセラー・パパの子育て論(9)：“いい子”にご用心! / 諸富祥彦 (p.119-126)
-
- 児童心理 [54-14] (2000.10)
特集：得意を伸ばす
810. 子どもにとって「得意」とは何か / 奈須正裕 (p.1-9)
811. 上達のタイミング：児童期における上達を促すもの・阻止するもの / 池田裕惠 (p.23-29)
812. 得意を伸ばす3つのポイント：自分の変化・進歩が実感できる / 清水幹夫 (p.36-41)
813. 得意を伸ばす3つのポイント：言葉かけを工夫する / 堀井恵 (p.42-46)
814. 親の「伸ばそう」意識が過ぎるとき：早期教育の問題点 / 高良聖 (p.47-52)
815. 「特訓」の功罪 / 中村俊雄 (p.59-63)
816. 得意を育てる家庭：親子でスポーツや趣味を楽しむ / 竹中麻理子 (p.94-95)
817. 得意を育てる家庭：経験の幅を広げる / 市毛恵子 (p.99-108)
818. カウンセラー・パパの子育て論(10)：私たち“松田聖子世代”の親の悩み / 諸富祥彦 (p.120-126)
-
- 児童心理 [54-15] (2000.10.05)
特集：元気な子・のびのびした子に育てる：新・生活習慣づくり
819. 毎日を元気に過ごす生活習慣づくり / 村田光範 (p.2-14)
820. 自分のからだを大切にできる子 / 大木みわ (p.15-23)
821. よい生活習慣を身につけさせるには / 前田基成 (p.32-

- 39)
822. これだけわかれば大丈夫・しつけのポイント：のびのびとした親と子の関わり方 / 鶴飼啓子 (p.40-46)
823. これだけわかれば大丈夫・しつけのポイント：発達段階に応じたしつけの目標 / 大熊保彦 (p.47-53)
824. これだけわかれば大丈夫・しつけのポイント：子どもの性格と生活習慣づくり / 近藤直子 (p.54-60)
825. 一日を快適にする朝のふれあい：家庭で・学校で / 安福純子 (p.61-67)
826. 子どもの生活体験調査：虫をつかめたことがあるか、魚をとったことがあるか / 大神憲章 (p.155-164)

児童心理 [54-16] (2000.11)

特集：がんばりのきく子

827. 子どものやる気を育てる家庭・学校：それぞれの役割を考える / 亀井浩明 (p.23-28)
828. ぼくの、私のがんばりどき：子どもの生の声を聞こう / 岡村克志 (p.30-34)
829. 「がんばれ」と言いすぎる親・教師 / 園田雅代 (p.35-39)
830. 「いざ」というときに力を出せる基礎づくり：規則正しい生活習慣と体づくり / 細江文利 (p.49-53)
831. がんばりのきく子を育てる家庭：「がんばる親」は子どもにどう影響を与えるか / 久保田福美 (p.100-104)
832. カウンセラー・パパの子育て論(11)：自分を大切に生きていける子どもに育てたい! / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-17] (2000.12)

特集：心配性の親

833. なぜ人は心配するのか / 根本橋夫 (p.10-15)
834. 現代の親をもつ不安とは：不安な時代の子育て / 蘭香代子 (p.17-22)
835. 心配しすぎる親・心配しなさすぎる親 / 川井尚 (p.23-28)
836. 心配性の親に育てられた子どもの性格 / 森田明子 (p.29-34)
837. 心配性の父親であることの問題点：ある事例を通してのコメント / 岩佐壽夫 (p.35-40)
- < こんな親になっていませんか >
838. 子育てマニュアルを手放せない親 / 高塚雄介 (p.41-46)
839. 清潔を求めすぎる親 / 中尾安次 (p.47-51)
840. 「よい子」を求めすぎる親 / 若島孔文 (p.52-57)
841. 友人関係を気にしすぎる親 / 扇子幸一 (p.58-62)
842. 取り越し苦労を減らすコツ：心配性の親にならないために / 國分久子 (p.74-78)
843. 心配性の親へのカウンセリング / 石川瞭子 (p.104-108)
844. カウンセラー・パパの子育て論(最終回)：どうすれば主人に子育てに参加してもらえるのですか! / 諸富祥彦 (p.119-126)

児童心理 [54-18] (2000.12)

特集：親・教師が知っておきたい思春期の危機への対応

845. 思春期の成長における危機：つまずきと迷い / 高石恭

子 (p.2-12)

846. 思春期の危機にどう対応するか：その基本的心得 / 本城秀次、村瀬聡美 (p.13-22)
- < 危機対応の実際[対応編] >
847. 無断外泊を繰り返すとき / 遊間千秋 (p.28-31)
848. 自室に閉じこもっているとき / 福田憲明 (p.36-39)
849. 性非行をしていることがわかったとき / 三枝恵子 (p.44-48)
850. 摂食障害になったとき / 中村このゆ (p.49-53)
- < 危機対応の実際[緊急対応編] >
851. 親に暴力をふるうとき / 田中勝博 (p.62-65)
852. 自殺未遂をしたとき / 竹内健児 (p.70-73)
853. 薬物乱用を見つけたとき / 大山みち子 (p.74-77)
854. 親はどこに相談したらよいか / 中原美恵 (p.78-84)
855. いま思春期の子どもたちのところに何が起きているか / 倉本英彦 (p.86-95)
- < 思春期の子どもたちの心理 >
856. 親の時代の思春期とどこが違うか / 岡田隆介 (p.96-103)
857. 14歳と17歳：心の闇に光をあてると / 作田明 (p.104-112)
858. 揺るぐ心とからだ / 武川行男 (p.113-124)
859. パーチャル世代にとっての「死」とは / 荒井克弥 (p.125-132)
860. 思春期の子どもたちのストレス状況：データから / 嶋田洋徳 (p.133-140)
861. 現代家族の中の思春期 / 伊藤直文 (p.149-154)
862. よい思春期への準備：幼少期からはじめよう / 浜名紹代 (p.155-160)

児童心理 [55-1] (2001.01)

特集：自分を表現できる子・できない子

863. 自分を表現するとは：自己表現の心理学 / 東山紘久 (p.1-10)
864. 以心伝心の文化は変わるのか / 林理 (p.11-16)
865. 自分を表現できる子・できない子の性格と心理 / 蓮見将敏 (p.23-29)
866. 自己表現できる人間関係・できない人間関係 / 伊藤美奈子 (p.31-35)
867. 子どもの「沈黙」をどう受けとめるか / 今井佳子 (p.36-41)
868. 上手に意見や気持ちを伝えるスキル：アサーションの基本技法 / 沢崎達夫 (p.47-52)
869. 自分らしい表現が育つ家庭：家族で「自己表現」を楽しむ / 市川薫子 (p.81-85)
870. 自分らしい表現が育つ家庭：意見や気持ちを伝え合える親子関係づくり：京都市の取り組みから / 人づくり21世紀委員会 (p.86-91)
871. 子どもの攻撃性が暴力にかわる時(1)：非行の現実と青年心理 / 大淵憲一 (p.105-111)

児童心理 [55-2] (2001.02)

特集：母親の危機

872. 今、母親の危機とは / 田中千穂子 (p.1-9)
873. なぜ子育ては難しくなっているのか：その心理 - 社会的背景 / 青木紀久代 (p.10-15)
874. 「母性神話」という物語 / 橋本やよい (p.16-21)
875. 母親としての生き方を考える：「自分さがし」から「自分づくり」へ / 金盛浦子 (p.22-27)
876. 子育てにあせりすぎる母親・父親 / 山崎万紀子 (p.29-33)
877. 子育てに関心をもてない母親・父親 / 桜谷真理子 (p.34-38)
878. 児童虐待に悩む母親たち：虐待防止のホットラインの相談から / 平田佳子 (p.39-43)
879. 母親同士のねたみの心理 / 丹羽洋子 (p.44-48)
880. 事例 母親の心の病：アイデンティティの危機 / 仁里文美 (p.58-61)
881. 事例 母親の心の病：キッチンドリンカー：アメシストは救われるか / 三和啓二 (p.62-66)
882. 働く母親の悩み・専業主婦の悩み / 宮本まき子 (p.67-71)
- <子育てにいきづまったら、困ったときにどう動くか>
883. 母親をサポートできる父親 / 羽生さくる (p.72-75)
884. 相談機関を活用する / 枝久保達夫 (p.76-79)
885. 学校の担任・スクールカウンセラーに相談する / 永瀬純三 (p.80-83)
886. 子育てのネットワークを役立てる / 桑名恵子 (p.84-87)
887. 母親面接の基本を考える / 深谷和子 (p.89-93)
888. 子どもの攻撃性が暴力にかかわるとき：青年期の暴力と自己関心 / 大淵憲一 (p.106-112)
-
- 児童心理 [55-3] (2001.02.05)
- 特集：きょうだいの上質な育て方：上の子・下の子・ひとりっ子のよさを生かす
889. きょうだいの中で育つということの意味 / 正高信男 (p.2-13)
890. きょうだい関係の心理 / 上林靖子 (p.14-22)
891. 出生順位は性格にどう影響するか / 清水弘司 (p.23-30)
892. きょうだいの性別による性格形成 / 國眼真理子 (p.31-38)
893. 双子の研究から見た性格形成と家庭環境 / 安藤寿康 (p.39-46)
894. データ：子どもたちにおける出生順位と性格との関連性について：父親の育児サポートを中心に / 達坂文夫 (p.47-55)
895. きょうだい関係の「よさ」が発揮される時 / 下山田裕彦 (p.56-62)
896. きょうだい関係を生かしたしつけ方 / 片倉瑛子 (p.63-69)
897. してはいけない、こんなきょうだいの育て方：子どもたちの声に耳を傾けて / 酒井カズ子 (p.69-74)
898. きょうだい関係の病理 / 賀陽濟 (p.75-81)
899. それぞれの子を生かす、きょうだいの育て方：二人きょうだいの心理と育て方 / 石崎一記 (p.82-87)
900. それぞれの子を生かす、きょうだいの育て方：三人きょうだいの心理と育て方 / 岩立京子 (p.88-93)
901. それぞれの子を生かす、きょうだいの育て方：ひとり

っ子の心理と育て方 / 石川洋子 (p.94-99)

902. メルヘンの中のきょうだい関係 / 森省二 (p.141-147)
903. きょうだいの個性を生かした「生き方」：二宮金次郎兄弟 / 童門冬二 (p.148-157)

社会運動 [233] (1999.08)

904. 座談会：'99統一地方選挙を終えて：女性の政治参画と代理人運動 / 岩橋百合 [ほか] (p.2-26)

社会教育 [641] (1999.11)

905. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える (11)：少子高齢社会における、企業の在り方(その2)：人事・人材育成活用の具体策と、人事の枠を超えた人材マネジメントの考え方 / 河野真理子 (p.42-45)

社会教育 [642] (1999.12)

906. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える 第12回・最終回：21世紀の日本を動かす、国・行政・地域・国民：22世紀を見据えた21世紀の在り方 / 河野真理子 (p.60-64)

社会教育 [651] (2000.09)

特集：選職社会のキャリア支援型生涯学習

907. キャリア形成と転職 / 森下一乗 (p.4-5)
908. キャリア形成と生涯学習 / 梅澤正 (p.6-9)
909. 創造性開発とキャリア開発 / 井口哲夫 (p.10-12)
910. 21世紀型キャリア開発：キャリアビジョンの個別化と自律(立)型キャリア開発 / 河野真理子 (p.14-23)
911. キャリア形成とコーチの役割 / 桜井一紀 (p.30-31)
912. 社会人講師技能認定資格が誕生：キャリアコミュニケーターって? / ユースポウル・ジャパン (p.34-35)
913. 働く意欲のある女性をサポート：「女性と仕事の未来館」(p.36-37)

914. 起業における生涯学習の役割 / 西山勝裕 (p.56-60)

915. 生涯活躍(6)：専業主婦からシャンソン歌手に：佐藤慧子さん (p.62-63)

916. ボランティア活動をはじめてみませんか!!：「全国ボランティア情報提供・相談窓口」について (p.68)

社会教育 [652] (2000.10)

特集：学校

917. 学校・行政・市民が協働：14歳の本音を聴く：これからの女と男のカンケイ / 片岡理智 (p.40-42)

社会教育 [654] (2000.12)

特集：IT学習をどうするか：情報通信技術をよみかきのように使いこなすには

918. シニアのIT学習普及の現状と提案 / 白倉登貴雄 (p.20-29)

919. シニアの人的資源を活用したIT学習環境の整備活動体験記：“情報弱者”といわれる高齢者こそ情報化推進資源の宝庫 / 庄子平弥 (p.30-33)

社会教育 [655] (2001.01)

特集：ボランティア国際年

920. 市民社会の世紀：ITでNPOのエンパワーメントを / 山内直人 (p.32-35)
 921. 「リーダー養成」とNPO / 岸田真代 (p.36-39)

ジュリスト [1166] (1999.11.01)

922. 「NHKチャイルドライン」に参加して / 神谷信行 (p.3)
 923. 出版とプライバシー：実名報道と子どもの人権 / 羽倉佐知子 (p.19-23)
 924. 第145回国会主要成立法律(3)：児童買春等処罰法 / 木村光江 (p.64-69)
 925. 第145回国会主要成立法律(3)：労働者派遣法及び職業安定法の改正について / 岡英範 (p.77-83)

ジュリスト [1167] (1999.11.15)

特集：人権擁護の推進・啓発に向けて

926. 人権と社会常識のあいだ：答申を読んで / 内野正幸 (p.33-36)
 927. 資料：人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本的事項について(答申) / 人権擁護推進審議会(平成11年7月29日) (p.37-50)

ジュリスト [1168] (1999.12.01)

928. 海外法律情報：妊娠中絶薬の解禁と医薬品法改正(ドイツ) / 齋藤純子 (p.4)

ジュリスト [1184] (2000.09.01)

929. 労働判例研究(第932回)：第1種職員男子65歳・女子55歳、第2種職員男女55歳の定年制の下で、第1種職員女子を第2種職員に呼称変更することの適法性：大阪市交通局協力会事件 / 渡辺章 (p.135-139)
 930. アメリカ新判例を読む(8)：日本法へのインプリケーション：子どもに対する親の養育決定権と祖父母の訪問権 / 山口亮子 (p.149-147)

ジュリスト [1185] (2000.09.15)

特集：第147回国会主要成立法律

931. ストーカー行為等の規制等に関する法律について / 楢垣重臣 (p.49-53)
 932. 個人通報制度の法的課題：女子差別撤廃条約選択議定書「手続き規則」をめぐる / 多谷千香子 (p.76-78)

ジュリスト [1187] (2000.10.15)

933. 労働判例研究(第934回)：能力評価のマニュアルの提出命令が認められなかった事例：住友金属工業(文書提出命令)事件 / 香川孝三 (p.113-115)

ジュリスト増刊・法律学の争点シリーズ [1]

(2000.11)

特集：刑法の争点(第3版)

934. 社会的法益に対する罪：わいせつ罪の保護法益 / 萩原滋 (p.236-237)
 935. 社会的法益に対する罪：インターネット上のわいせつ情報 / 岩間康夫 (p.238-239)

ジュリスト [1188] (2000.11.01)

特集：児童虐待の実態と法的対応

936. 児童虐待をめぐる法政策と課題 / 石川稔 (p.2-10)
 937. 児童虐待の防止等に関する法律と厚生省の取組みについて / 野崎伸一 (p.11-14)
 938. 児童虐待と親権の制限 / 吉田恒雄 (p.15-20)
 939. 児童虐待問題への刑事規制のあり方 / 岩井宜子 (p.21-26)
 940. 被虐待児の心理とケア / 池田由子 (p.27-34)
 941. 自治体・民間団体の取組み：児童相談所の対応実態を中心として / 津崎哲郎 (p.35-40)
 942. アメリカ法から見た児童虐待防止法 / 樋口範雄 (p.41-47)

943. 中国人の法意識(5)：1995年中国全国調査 / 加藤雅信、マイケル・K・ヤング (p.49-63)

944. 海外法律情報：育児手当・育児休暇制度の改革(ドイツ) / 齋藤純子 (p.64)

945. アメリカ新判例を読む(10)：日本法へのインプリケーション：性が動機となる暴力の被害者に私的訴権を与える連邦法が無効とされた事件 / 木南敦 (p.96-94)

ジュリスト [1189] (2000.11.15)

946. 海外法律情報：離婚給付制度の改正 / 松浦茂 (p.99)
 947. 労働判例研究(第936回)：使用者による労働者に対する退職勧奨行為と損害賠償：エフビコ事件 / 砂押以久子 (p.120-121)

ジュリスト [1190] (2000.12.01)

948. 司法記者の目：日弁連が人権救済機関提案 (p.115)
 949. 海外法律情報：韓国：家族法を中心に民法改正の動き / 白井京 (p.120)
 950. 民法研究会(第186回)：熟年離婚と主婦の年金 / 本山敦 (p.128-131)

ジュリスト [1191] (2000.12.15)

951. 労働判例研究(第938回)：転勤命令が権利濫用に該当しないとされた例：ケンウッド事件 / 大内仲裁 (p.85-88)

ジュリスト [1192] (2001.01.01+15)

特集：世紀の転換点に憲法を考える

952. 総論：個人の尊厳：憲法を支える人間像 / 深田三徳 (p.31-37)
 953. 人権：マイノリティーの人権 / 江橋崇 (p.64-68)
 954. 人権：男女共同参画社会と「女性の人権」 / 辻村みよ子 (p.69-74)
 955. 人権：子どもの人権 / 米沢広一 (p.75-79)
 956. 人権：参政権 / 近藤敦 (p.86-92)
 957. 人権：知る権利と情報公開制度：国際動向も踏まえた公開原則の徹底と拡充の課題 / 田島泰彦 (p.99-105)
 958. 人権：学問の自由と科学技術の発展 / 戸波江二 (p.112-119)
 959. 海外法律情報：スウェーデン：機会均等法の改正 / 木下淑恵 (p.211)
 960. アメリカ新判例を読む(11)：日本法へのインプリケー

ション：同性愛者差別の禁止と結社の自由 / 高井裕之
(p.239-238)

助産婦 [54-3](2000.08)

特集：自宅出産

961. 上質のケアを求めて自宅出産をした私の体験から / 大枝美伊奈 (p.15-17)
962. 産科医の立場から自宅出産を考える / 浦野晴美 (p.19-24)
963. オーストラリアの開業助産婦と自宅分娩 / 大原良子 (p.26-31)
964. 施設化以前の自宅分娩と現代の自宅分娩の連続性と非連続性 / 白井千晶 (p.33-36)

助産婦 [53-4](1999.11)

965. 起業家に学ぼう：意志の持続と変化への対処 / 今沢志激 (p.6-8)
966. 起業家に学ぼう：開業ナースに求められるのは心と技プラス…… / 稲留佳子 (p.9-11)
967. 起業家に学ぼう：コミュニケーションビジネスとしての生活支援センターの構想 / 丹羽勝子 (p.12-14)
968. 起業家に学ぼう：パースセンター(社)松山助産院の再開業 / 平岡ハマエ (p.15-17)
969. 起業家に学ぼう：良い親子関係を築くために子育て支援の助産院づくり / 宮川明子 (p.18-21)
970. 政策決定に大きな影響を与えよう! / 新野由子 (p.22-24)
971. 気になる数字：21大学・149名：平成11年4月時点の大学における助産婦の養成数 / 堀内成子 (p.49)
972. 助産婦の夫：母乳育児確立に頑張る妻の裏方として：大谷光顕 (p.56-67)

女子教育 [23](2000.04)

特集：悩む若者の心とその癒し

973. “くれない族”の子供たち / 島田治子 (p.34-37)
974. 「心の薬」としての文学 / 岩下均 (p.52-56)
975. シンポジウム：近頃の若者のこころを探る：調査および事例を通してみた若者の深層：若者と携帯電話：ホンネを言わない子どもたち-言えなくさせたのは誰? / 堀内聰[ほか] (p.74-102)

女子教育研究 [24](1999.02)

976. 公立学校女性管理職進出度の都道府県ランキングとその考察 / 池木清 (p.1-26)
977. 公立学校教員における女性の進出状況と今後の課題 / 池木清 (p.1-30)
978. 学校教育のジェンダー汚染状況と文部省のセクシュアル・ハラスメント防止訓令 / 池木清 (p.1-23)
979. 各都道府県教委は学校管理職への女性登用を進めているか：99年の進出度ランキングと96年以降の各県の実績を検証 / 池木清 (p.1-30)

女子教育研究 [28](2000.05)

980. 児童生徒によるジェンダー汚染の実態と教師の対応 / 池木清 (p.1-27)

女子教育研究 [29](2000.07)

981. 公立学校教員における都道府県別男女共同参画度 / 池木清 (p.1-29)

女子教育研究 [30](2000.11)

982. ジェンダーづけの学校に芽生える変化の兆しを探る / 池木清 (p.1-14)
983. 男子学生の指摘するジェンダーづけの学校の実態 / 池木清 (p.15-25)

女性行政情報 [11-4](1999.11.10)

< 国の動き >

984. 第5回仕事と家庭を考える月間：「ファミリー・フレンドリー」企業表彰を実施 / 労働省 (p.1-12)
985. 平成10年度における一般職の国家公務員の育児休業等実態調査結果：女性の育児休業取得者数・取得率・期間とも過去最高を更新! / 人事院職員局福祉課 (p.13)
986. 平成11年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(長崎市) / 総理府 (p.14-16)

女性行政情報 [11-5](1999.12)

< 国の動き >

987. 国の審議会等における女性委員の参画状況調べ / 総理府 (p.1-7)
988. 平成11年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査について / 文部省, 労働省 (p.8-14)
989. 農山漁村男女共同参画推進指針について / 農林水産省 (p.15-25)
990. 平成11年度全国男女共同参画宣言都市サミット開催要領(八代市) / 総理府 (p.27-29)
991. 平成11年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(府中市) / 総理府 (p.30-34)
992. 平成11年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(丸亀市) / 総理府 (p.35-37)

女性行政情報 [12-2](2000.06)

< 国の動き >

993. 「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理：21世紀の最重要課題」の公表及び意見募集について / 総理府 (p.1-59)
994. 国民的な広がりのある取組みの推進について：少子化への対応を推進する国民会議 / 内閣官房 (p.61-70)
995. 「パートタイム労働に係る雇用管理研究会報告」の概要：通常の労働者との均衡を考慮したパートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について / 労働省 (p.73-81)
996. 第15回男女雇用機会均等月間について：改正男女雇用機会均等法の施行から1年 / 労働省 (p.86-108)

女性行政情報 [12-3](2000.08)

< 国の動き >

997. 「女性に対する暴力に関する基本的方策について」男女共同参画審議会答申(概要) / 総理府 (p.1-27)
998. ストーカー行為等の規制等に関する法律 / 警察庁 (p.28-36)
999. 「女性の人権ホットライン」の導入について / 法務省人権擁護局 (p.37-39)

1000. 国立大学協会が男女共同参画推進について提言 / 文部省 (p.40)
1001. 「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」の策定について / 労働省 (p.41-45)
1002. 「コース等で区分した雇用管理についての留意事項」について / 労働省 (p.46-62)
1003. 平成12年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領 (新居浜市) / 総理府 (p.68)

女性行政情報 [12-4](2000.10)
 < 国の動き >

1004. ファミリー・フレンドリー企業表彰について / 労働省 (p.67-72)
1005. 男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方：21世紀の最重要課題(答申) / 総理府 (p.1-38)
1006. 「女性の人権ホットライン」の利用状況について(概要) / 法務省 (p.41-45)
1007. 男女雇用機会関東対策基本方針の策定について / 労働省 (p.46-51)
1008. 働く女性の身体と心を考える委員会報告：妊娠中及び出産後の女性労働者の保護のため母健連絡カード(母性健康管理指導事項連絡カード)の活用を! / 労働省 (p.52-59)
1009. 両立支援事業の概要 / 労働省 (p.64-65)
1010. 平成12年度全国男女共同参画宣言都市サミット開催要項(小松市) / 総理府 (p.80-81)
1011. 平成12年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要領(倉敷市) / 総理府 (p.82-83)

女性行政情報 [12-5](2000.12)
 < 国の動き >

1012. 平成12年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査(10月1日現在)について / 文部省 (p.8-14)
1013. 女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事業所では7割以上に：「平成11年度女性雇用管理基本調査」結果概要 / 労働省 (p.29-62)
1014. 平成11年度における一般職の国家公務員の育児休業等実態調査結果：女性の育児休業取得者数・取得率、今年度も過去最高を更新 / 人事院職員局福祉課 (p.66)

女性教養 [564](1999.10)

1015. 統計とジェンダー / 伊藤セツ (p.3-6)
1016. 実践レポート：女性問題講座「女性にとって老後問題とは」 / 山崎優子 (p.8-9)
1017. 活動情報：福祉のコミュニティづくりを目指すグループホーム「たのし家」の試み：生活介護ネットワークの取組から / 三沢徳江 (p.10-11)
1018. このひと：石原奈津子さん(有限会社「茄子の花」代表取締役) (p.13)

女性教養 [565](1999.11)

1019. 新聞とジェンダー / 田中和子 (p.3-6)
1020. 活動情報 1：女性情報とインターネットの活用：「世界女性情報会議」参加レポート / 尼川洋子 (p.8-9)

1021. 活動情報 2：あなたといっしょに……：情報誌「With You」 / 三浦幸治 (p.10-11)
1022. このひと：高橋紀子さん(「ウィメンズ・メッセージ」編集長) / 高橋紀子 (p.13)

女性教養 [566](1999.12)

特集：フォーラム「女性と学習」

1023. ジェンダー・トレーニングの工夫 事例発表(1)：ジェンダー・センシティビティ・トレーニングを創る / 丹羽雅代 (p.4-5)
1024. ジェンダー・トレーニングの工夫 事例発表(2)：参加体験型学習による女性の企画力養成講座 / 金香百合 (p.6-7)
1025. ワークショップ：事例から学ぶ：学習プログラムを検討する / 理解する (p.10-12)
1026. このひと：中川順子さん(国際交流コーディネーター) (p.18)

女性教養 [573](2000.07)

1027. 国際情報：フランスの「女性と男性の平等に関する憲法改正」 / 梶本玲子 (p.3-6)
1028. 活動情報 1：市民版「男女共同参画プラン」をつくる：女性のネットワーク鎌ヶ谷 / 岩橋堪子 (p.8-9)
1029. 活動情報 2：「男女平等に関する潜在意識調査」に取り組んで：こがねい女性ネットワーク / 千村裕子 (p.10-11)
1030. このひと：西尾理弘(出雲市長) (p.13)
1031. 資料情報：青少年の暴力観と非行に関する研究調査 / 総務庁青少年対策本部 (p.14)

女性教養 [574](2000.08)

1032. 国連特別総会「女性2000年会議」に参加して / 関口悦子, 加藤登紀子 (p.3-6)
1033. 活動情報 1：会津若松市「男女共同参画都市宣言」とそれを支えた「市女性行動計画推進会議」 / 畑洋子 (p.8-9)
1034. 活動情報 2：ドイツ・フランス研修から得たもの：行動する女性のネットワーク・AWN(あうん) / 杉本光古 (p.10-11)
1035. このひと：浜中和子さん(乳腺疾患患者の会「のぞみの会」会長) (p.13)
1036. 資料情報：男女共同参画社会に関する世論調査 / 総理府 (p.14)

女性教養 [575](2000.09)

1037. ジェンダー学習をめぐる青年男女のファシリテーター養成：神戸大学「青年男女の共同参画セミナー」の試み / 津田英二 (p.3-6)
1038. 活動情報 1：女性学講座PART 1：“わたし”を生きるために：新潟市女性センターの取組”： / 藤田美恵子 (p.8-9)
1039. 活動情報 2：「社会参画する力をつける学習」の調査から見えてきたもの：女性の学習情報をつなぐ会 / 西山恵美子 (p.10-11)

1040. このひと：宮地徳子さん(空間プランナー) (p.13)
 1041. 資料情報：大卒者の採用状況及び総合職女性の就業実態調査 / 21世紀職業財団 (p.14)

女性教養 [576] (2000.10)

1042. 夫・恋人の暴力の防止および根絶に向けての課題と対策：各国の取組状況から / 吉浜美恵子 (p.3-6)
 1043. 活動情報 1：「自らの行動を見直す行動綱領」づくりと活動の歩み：新やまがたひゅーまんらいふフォーラム / 玉津菊子 (p.8-9)
 1044. 活動情報 2：参加型セクシュアル・ハラスメント防止講座を開設して：かながわ女性会議「女性の人権を考えるプロジェクト」 / 新井陽子 (p.10-11)
 1045. このひと：立田彰子さん(伊賀環境問題研究会) (p.13)

女性教養 [577] (2000.11)

1046. 女子高校生の職業意識・進路状況および高校家庭科における進路指導のあり方について / 佐藤由佳 (p.3-6)
 1047. 活動情報 1：「公立高校男女共学」を目指して：公立高校男女共学を実現する会 / 高橋久仁子 (p.8-9)
 1048. 活動情報 2：「男女の役割それでいいの？」セミナーを実施して：ガールスカウト日本連盟 / 新井妙子 (p.10-11)
 1049. このひと：今井嘉江さん(シャーロック・ホームズ代表) (p.13)

女性教養 [578] (2000.12)

- 特集：2000年(平成12)年度 フォーラム「女性と学習」
 1050. どうつくる男女共同参画社会に向けた学習：学習支援者の役割を考える：ワークショップ報告 (p.3-12)

女性教養 [579] (2001.01)

1051. 少子高齢化社会の中での女性労働のゆくえ：その課題と展望 / 大沢真知子 (p.3-6)
 1052. 活動情報1：「まちの福祉づくり」を目指して：とやま福祉ネットワーク：まちの福祉しらべ隊 / 大津典子 (p.8-9)
 1053. 活動情報2：東北と女性センターの未来を考える：手づくりシンポジウムを企画して：21世紀の女性センターを考える会・東北 / 藤原美妃子 (p.10-11)
 1054. このひと：細谷洋子さん(「私たちのアクションプラン」代表) (p.13)

女性・戦争・人権 [3] (2000.05)

1055. シンポジウム報告：戦争責任・ジェンダー・植民地主義 / 徐京植[ほか] (p.6-46)

特集：戦争責任・ジェンダー・植民地主義

1056. 第三帝国下の女性たち / 山下公子 (p.95-125)
 1057. 国際女性調査団のみた朝鮮戦争 / 藤目ゆき (p.126-148)
 1058. 戦争犯罪論の現在 / 前田朗 (p.149-184)
 1059. 解明の進むナチドイツ国防軍性暴力 / 梶村道子 (p.185-189)
 1060. タイ少女買売春防止NGOの活動より / 高原幸子 (p.190-207)
 1061. 映画『狂宴』にみる奈良RRセンター周辺のおんなた

ち / 茶園敏美 (p.208-215)

1062. ドイツでの「出会い」 / 大越愛子 (p.216-219)

女性展望 [517] (2000.07)

1063. 対談：国連特別総会「女性2000年会議」に出席して / 目黒依子, 中村道子 (p.4-9)
 1064. 第42回総選挙シリーズ(2)：全女性候補者の選挙結果：史上2位の35人が当選 (p.10-14)
 1065. 男女共同参画基本計画策定に向け「論点整理」公表 (p.15)
 1066. 男女共同参画に関する世論調査 (p.15)

女性展望 [518] (2000.08)

1067. 「女性2000年会議」力強いNGOの宗教的原理主義者たちとの闘い!! / 房野桂 (p.4-5)
 1068. 第42回総選挙シリーズ(3)：概括 女性議員進出の背景 (p.6-9)
 1069. 第42回総選挙シリーズ(3)：女性衆院議員に聞く / 青山二三[ほか] (p.9-14)
 1070. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人(6)：本部機構の抜本的見直し：高岡完治元総理府審議官に聞く / 縫田暉子 (p.15-18)

女性展望 [519] (2000.09)

1071. 「女性2000年会議」と日本NGO / 高岡日出子[ほか] (p.6-9)
 1072. 女性行政推進機構の軌跡 あのと、この人(7)：諮問機関に参加して：有馬真喜子/藤原房子両氏に聞く / 縫田暉子 (p.10-15)
 1073. 女性に対する暴力に関する基本的方策について：男女共同参画審議会が答申 (p.16-17)

女性展望 [520] (2000.10)

1074. インタビュー：環境庁長官川口順子さん (p.5-7)
 1075. 北欧スタディツアーから：アイスランドとフィンランドの女性たち / 渡辺まどか, 木下淑恵 (p.8-10)
 1076. 女性行政推進機構の軌跡 あのと、この人(8)：内閣府に男女共同参画会議：猪口邦子元行政改革会議委員に聞く / 縫田暉子 (p.11-14)
 1077. 論点：女性差別撤廃条約選択議定書の個人通報制度 / 多谷千香子 (p.15-17)

女性展望 [521] (2000.11+12)

1078. 座談会：変動期の日本社会と女性問題：2000年を振り返る / 北村邦生[ほか] (p.5-10)
 1079. 女性行政推進機構の軌跡 あのと、この人(9)：男女共同参画社会基本法への道：古橋源六郎氏に聞く / 縫田暉子 (p.11-16)
 1080. 世界女性国会議員比率ランキング：日本は衆院104位、参院24位 (p.19-18)

女性展望 [522] (2001.01)

1081. 座談会：共生時代の生命を考える / 堀口雅子, 米沢富美子, 生井久美子 (p.4-9)
 1082. 女性2000年NGO日本大会：男女平等・開発・平和、女性たちのさらなる前進 / 中村道子[ほか] (p.10-12)
 1083. 女性行政推進機構の軌跡 あのと、この人(10)：国際

婦人年から基本法成立まで / 中村紀伊[ほか] (p.13-16)

女性と労働21 [8-30](1999.10)

特集：介護保険制度の施行

1084. 99.緊急セミナー ゆさぶられる介護保険：社会保障改革の論点を検証する / 石毛 薫子, 大沢真理 (p.22-45)

1085. (1999.10) 雇用創出・産業競争力強化のための規制改革(平成11年7月13日) / 産業構造転換・雇用対策本部 (p.46-52)

1086. 緊急少子化対策の基本方針(提言)(平成11年4月7日) / 少子化対策検討会 (p.53-55)

1087. 夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために(提言)(平成10年12月21日) / 少子化への対応を考える有識者会議 (p.56-69)

1088. 女性に対する暴力のない社会を目指して(答申)(平成11年5月27日) / 男女共同参画審議会 (p.70-81)

1089. 児童買春、児童ポルノに係わる行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律(平成11年法律第52号) 公布 平成10年5月26日 (p.82-85)

1090. 第87回ILO総会(1999年6月17日)で採択された条約と勧告(仮約)：最悪の形態の児童労働の禁止及び廃絶のための即時行動に関する条約(第182号) (p.86-91)

女性と労働21 [9-33](2000.07)

特集：21世紀・男女共同参画基本計画策定に向けて

1091. 「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的方向」・論点整理に対する意見 / フォーラム「女性と労働21」(p.6-9)

1092. 男女共同参画の視点から社会制度を再構築する：男女共同参画2000年プラン重点課題2の徹底を / フォーラム・「女性と労働21」福祉社会将来ビジョン検討部会 (p.10-21)

1093. 男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理：21世紀の最重要課題 / 男女共同参画審議会基本問題部会 (p.22-45)

1094. 女性に対する暴力に関する基本的方策について(中間取りまとめ) / 男女共同参画審議会女性に対する暴力部会 (p.46-57)

1095. 平成11年版働く女性の实情 / 労働省 (p.58-82)

1096. 雇用均等製作研究会報告書の概要：変革期における企業の人材活用と個人の働き方の調和を目指して / 労働省 (p.83-88)

1097. 「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」の策定について / 労働省女性局 (p.89-118)

1098. 国連・「女性2000年会議」：政治宣言と今後の具体策を成果文書に (p.119-121)

女性と労働21 [9-34](2000.10)

特集：均等待遇の原則

1099. 「ものさし研究会」報告の課題 / 中野麻美 (p.6-13)

1100. 通常の労働者との均衡を考慮したパートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について：パートタイム勤務に係る雇用管理研究会報告書(ものさし研) / 労働省 (p.14-30)

1101. 参考資料：諸外国における法制等の概要 (p.31-43)

1102. 「改正均等法施行に関する再査」結果の概要：男女均衡、両立支援のための積極的な取組みの強化を / 日本労働組合総連合会・総合男女平等局 (p.44-48)

1103. 男女雇用機会均等対策基本方針 / 労働省 (p.49-64)

1104. 「コース等で区分した雇用管理についての留意事項」について / 労働省 (p.65-72)

1105. 雇用における年齢差別禁止に関する研究会・中間報告 / 経済企画庁総合計画課 (p.73-87)

1106. 少子化対策推進基本方針 / 少子化対策推進関係閣僚会議 (p.88-101)

1107. 新エンゼルプラン：重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について / 大蔵・文部・厚生・労働・建設・自治・6大臣合意 (p.102-108)

1108. 国際情報：第88回ILO総会：新母性保護条例・勧告を採択 (p.109)

女性の地位情報 [38](1999.03)

1109. 改正男女雇用機会均等法と求人広告について (p.1)

1110. 女性の時間外・休日労働、深夜業の規制の解消に向けての留意点について (p.1-10)

1111. パートタイム労働指針の改正について (p.11-14)

1112. 平成10年版働く女性の实情について (p.14-35)

女性ライフサイクル研究 [9](1999.11.01)

特集：女性のトラウマと回復

<女性の傷つきとその回復：事例編>

1113. 生態学的視点から見たトラウマと回復 / メアリー・ハーベイ; 村本邦子訳 (p.4-17)

1114. ひらめ 童話による外傷、童話の内容とそっくりの人生を歩んだ人 / 佐藤紀子 (p.19-27)

1115. もう、虐げられない。：夫に精神的暴力を受けた妻の記録 / 吉村薫 (p.28-36)

1116. 暴力による心の傷とそこからの回復：Aさんの事例を通して / 窪田由紀 (p.39-44)

<女性の傷つきとその回復：理論編>

1117. ドメスティック・バイオレンス：一体、何がおこっているのか / 川喜田好恵 (p.49-57)

1118. ドメスティック・バイオレンス：「男性のための非暴力プログラム」の取り組みについて / 中村彰 (p.58-62)

1119. 非行少女の「古い」家族観について / 横地環 (p.63-64)

1120. 女性の傷つきとその回復：理論編：夫婦間における暴力とトラウマ / 長谷川七重 (p.65-71)

1121. 女性の傷つきとその回復：理論編：トラウマを持つ人へのカウンセリングにおける中立性の問題 / 窪田容子 (p.75-83)

<傷ついた女性とコミュニティ：危機介入>

1122. 男性から女性への暴力：「女性サポートダイヤル」の取り組み / 平井三鶴 (p.85-91)

1123. 被害者への心理的援助：電話相談の経験から / 前田真比子, 井ノ崎敦子, 岩崎直子 (p.94-99)

1124. 自分の限界を知って息の長いサポートを：性暴力を許さない女の会の紹介と支援のあり方 / 周藤由美子 (p.100-104)

<傷ついた女性とコミュニティ：共生>

1125. ドラッグ・アルコール依存、家庭内暴力からの解放：アメリカ合衆国における犯罪被害者センターの取り組みから / 新恵理 (p.108-116)
1126. 女性のトラウマと宗教との関わり：その明と暗 / 前村よう子 (p.117-125)
1127. トラウマに対するセルフ・ヘルプ・グループと専門家のアプローチの違い / 高松里 (p.126-131)

1128. 社会制度と被害者支援：性暴力被害者に対する社会の動き：特に、最近一年を振り返って / 西順子 (p.135-143)
1129. 沖縄のネットワークそら / ネットワークそら (p.144)
1130. 社会制度と被害者支援：刑事手続における犯罪被害者の尊重について：平山真理 (p.145-153)

女性ライフサイクル研究 [10] (2000.11)

特集：フェミニスト心理学をつくる：癒しと成長のフェミニズム

1131. アメリカにおけるフェミニスト心理学の歴史と展望 / 村本邦子 (p.4-13)
1132. 女性のトラウマに関わる臨床家の使命 / メアリー・ハーベイ, 村本邦子訳 (p.14-22)
1133. 心理療法にセックスが入ってくるとき / アメリカ心理学会・心理療法における女性委員会, 村本邦子訳 (p.23-27)
1134. 日本におけるフェミニスト心理学の歴史と展望 / 村本邦子 (p.28-35)
1135. アベコベ・サカサマの時代を生きて：思いつくままに / 佐藤紀子 (p.36-40)
1136. ケアと暴力 / 内藤和美 (p.42-46)
1137. 母親と息子の関係：フェミニズムの視点から考える / 窪田容子 (p.47-60)
1138. 民話の中のフェミニズムと癒し『食わず女房』 / 吉行郁美 (p.61-67)
1139. 高校社会科の授業の中のフェミニズムの視点を取り入れると・・・ / 前村よう子 (p.68-75)
1140. 女性へのヘイトクライム：ジェンダーカテゴリーを中心に / 新恵里 (p.76-84)
1141. 女にとって自己決定とは何か：先端生殖医療の発展のなかで / 中野冬美 (p.86-93)
1142. 不妊を考える / 吉村薫 (p.94-103)
1143. 女の健康運動とウィメンズセンター大阪 / 阿古安子 (p.104-107)
1144. 女性センター相談室の役割と援助方法の独自性を求めて / 長谷川七重 (p.109-116)
1145. カウンセリング/セラピーにおける対等性 / 疋島礼子 (p.117-123)
1146. フェミニストカウンセリングの実践：「フェミニストカウンセリング堺」の5年間から / 加藤伊都子 (p.124-132)
1147. 女性の自己実現と心理療法：『血と言葉』を女性の視点から読み直す / 西順子 (p.133-144)
1148. 本当の私を求めて：女性の自己実現 / 平井三鶴 (p.145-151)
1149. フェミニスト心理学の実践：利用する側から：信頼 / マリエ (p.155-161)

1150. フェミニスト心理学の実践：利用する側から：回復へのプロセスの中で：女性ライフサイクル研究所との出会い、そして / 水間みどり, 162-164)
1151. フェミニスト心理学の実践：利用する側から：サバイバーの立場からさまざまなサービスを体験して / てふ (p.165-167)

女性労働研究 [38] (2000.07)

特集：女性労働とフェミニズム：21世紀に向けてその最前線

1152. 労働運動フェミニズムの提起：労働運動にフェミニズム視点を / 木下武男 (p.6-14)
1153. 労働組合女性部(婦人部)とフェミニズム：運動を前進させるツールとして / 本間重子 (p.15-23)
1154. アメリカ合衆国のベイ・エクイティ運動の今日的意義：労働運動フェミニズムへの反発と受容 / 居城舜子 (p.24-32)
1155. イギリス工場法とフェミニズム / 竹内敬子 (p.33-41)
1156. 座談会：「労働運動フェミニズム」の可能性 / 中野麻美[ほか] (p.42-60)
1157. 女性解放思想と現代フェミニズム / 伊藤セツ(p.61-69)
1158. 女性政策とフェミニズム理論 / 渋谷敦司 (p.70-78)
1159. フェミニズムからみた階級理論・階級理論からみた女性 / 橋本健二 (p.79-87)
1160. 高砂建設男女賃金差別の実像：賃金台帳分析の陳述書から / 宮成友恵 (p.88-95)
1161. 女性一般職のキャリア形成：その促進要因と限界 / 仙田幸子 (p.96-102)
1162. 女性労働問題研究会が認証NGOとして参加：「女性2000年会議」参加報告 / 大竹美登利 (p.110)

人口問題研究 [54-3] (1998.09)

特集：『第1回全国家庭動向調査』データ利用による実証的研究

1163. 老親・成人子同居の規定要因：子どもの性別構成を中心に / 田淵六郎 (p.3-19)
1164. 都市度と有配偶女性のパーソナル・ネットワーク / 立山徳子 (p.20-38)
1165. 夫の家事遂行と妻の夫婦関係満足度：NSFH(National Survey of Families and Households) / 未盛慶, 石原邦雄 (p.39-55)

人口問題研究 [55-4] (1999.12)

特集：日本人の結婚と出産(その3)

1166. 20代、30代未婚者の親との同別居構造：第11回出生動向基本調査独身調査より / 岩上真珠 (p.1-15)
1167. だれが「両立」を断念しているのか：未婚女性によるライフコース予測の分析 / 岩澤美帆 (p.16-37)

人口問題研究 [56-1] (2000.03)

特集：少子化と家族・労働政策(その1)

1168. 『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』プロジェクト：分析結果の要点と政策的合意 / 阿藤誠 (p.1-7)
1169. 少子化現象と住宅事情 / 浅見泰司[ほか] (p.8-37)
1170. 出生、結婚および労働市場の計量分析 / 加藤久和

(p.38-60)

1171. 資料：日本世帯数の将来推計(都道府県別推計)：1995(平成7年)～2020(平成32年)：2000(平成12年)3月推計 / 西岡八郎[ほか] (p.61-102)

性と生の教育 [25](1999.11)

特集：ジェンダーフリー教育のすすめ

1172. 座談会：子どもの個性を狭める「隠れたカリキュラム」 / 樋上典子[ほか] (p.6-12)
1173. ジェンダーフリーが21世紀を切り拓く：その二つの方向性 / 安川悦子 (p.14-17)
1174. ポイント解説：ジェンダーフリー教育基礎知識 / 鈴木正弘 (p.21-18)
1175. 実践：ホームルーム・授業・行事あらゆる場で、学校ぐるみで / 相山美恵子 (p.22-27)
1176. 実践：劇「シュフときどきセンタク」の創作に取り組んで / 竹内貴子 (p.28-31)
1177. 実践：ジェンダーフリーで子どもが変わる、教師が変わる / 背戸恵子 (p.32-35)
1178. 報告：男女混合名簿で歩み始めた共生教育 / 森陽子 (p.36-39)
1179. 分析&報告：学校ってジェンダーフリー? / 荒木文栄 (p.40-43)
1180. スウェーデンのジェンダーフリー教育の実際：大人社会にある男女不平等を意識的に変革する教育 / 朴木佳緒留 (p.44-47)
1181. メンズリブから教師・親へ：「男なんだから」と不用意に言うてはいませんか? / 中村彰 (p.48-51)
1182. 報告：「男らしさ」幻想のなかでもがく高校生たち / 武田恭子 (p.52-55)
1183. 同性愛者から見た学校教育：「男らしさ・女らしさ」とセットで刷り込まれる同性愛恐怖症 / 梁瀬竜太 (p.57-56)
1184. 分析：ジェンダーの視点から童話や絵本を読み解くと... / 安達優雅子 (p.59-60)
1185. 学習実践：小学校：ビデオやゲームを駆使し、ジェンダーフリーで自分らしさ探し / 野崎正子 (p.62-67)
1186. 学習実践：小学校：生物学的性からジェンダーフリーを考える / 向原恵子 (p.68-72)
1187. 学習実践：高校：夫婦別姓を考えるなかで自分を大切に生きる方を学ぶ / 寺尾由美 (p.73-77)
1188. 編集長対談：性は私有、個人のものであり国有するものではない / 山本直英、鈴木敏文 (p.84-90)

1189. 産婦人科の窓から (1)：女性から心身の負担を解放する低用量ピル / 河野美代子 (p.92-93)

1190. 性の神話の物語 (2)：愛情は言葉にされてこそ満たされる / 安積遊歩 (p.94-95)

1191. 戦争と女性：20世紀の記憶 (5)：加害者のトラウマと不処罰 (3) / 西野瑠美子 (p.98-99)

1192. エイズ学習のススメ・最新エイズ情報 (22)：米国・エイズCTシステムの現状分析報告 / 桜井賢樹 (p.107-106)

1193. 「個の確立」こそが戦後の宿題：終戦の日の三大新聞を読んで / 山本直英 (p.108-110)

性と生の教育 [26](2000.01)

特集：性教育の課題：結婚・シングル・離婚

1194. インタビュー：結婚を個人の「趣味」に：制度結婚の脱制度化のために / 上野千鶴子、安達優雅子 (p.14-19)

1195. <シングル単位>から：性教育とは結婚制度批判教育であれ！結婚制度を斬る！ / 伊田広行 (p.20-23)

1196. 現代離婚事情：世間体からの脱出のすすめ：「顔がキライ」は離婚の理由になりませんか?：夫婦と母娘の複雑系深層心理バトル / 橋由子 (p.24-27)

1197. 可能性としてのシングルを生きる / いちご一恵 (p.28-29)

1198. 私にとっての離婚：私の「独立記念日」 / 葉山なお (p.30-31)

1199. 私にとっての離婚・再婚：女が絶望を断ち切るとき / 背戸恵子 (p.32-33)

1200. 海外事情報告：個の選択と結婚のカタチ：ノルウェー：シングルマザーを支える“男尊女尊”政策 / 三井マリ子 (p.39-38)

1201. 海外事情報告：個の選択と結婚のカタチ：オランダ：生き方の選択肢が開かれている国の「個」の輝き / 奈良佑一 (p.37-36)

1202. 海外事情報告：個の選択と結婚のカタチ：中国：時代とともに変わる若者の結婚観 / 馬利中 (p.36-34)

1203. 結婚調査：家庭内性別役割に中・高生で差 / 金子由美子、鈴木正弘 (p.43-40)

1204. 子どもたちへのアンケート：“お嫁さん”と聞いてどんなイメージをもちますか? / 今井恭子 (p.44-45)

1205. 調査分析レポート：日本人の結婚と離婚の不健康さ / 安達優雅子 (p.47-46)

1206. 盤石であるように見える異性愛主義とその解体 / 河口和也 (p.48-51)

1207. 学習実践・小学生：自分を好きになるために、そして互いに認め合うために / 阿部孝彦 (p.52-57)

1208. 学習実践・中学校：多様な生き方や共生のスタイルを学ぶ / 由井宏幸 (p.58-63)

1209. 学習実践・高校：自分の将来にひきつけて「結婚」を考えてみる / 宮崎敦子 (p.64-69)

1210. 学習実践のために・障害児教育：課題をたくさん抱えても望みがかなえられる社会に / 新井田恵子 (p.70-73)

1211. 70年前に提起された結婚についてのある視点：山本宣治と当代弁護士の認識の共通点 / 山本直英 (p.74-75)

1212. 対談：プライバシーを平然とやじる「男性議員」の人権感覚の欠如 / 円より子、山本直英 (p.88-94)

1213. 産婦人科の窓から (2)：女性に産まない自由は保障されたけれど / 河野美代子 (p.98-99)

1214. 性の神話の物語 (3)：命の重さを自覚し、幸せに暮らすために / 安積遊歩 (p.100-101)

1215. 生涯恋愛の経済学 (3)：性愛にも市場原理が働き始めている / 森永卓郎 (p.102-103)

1216. 戦争と女性-20世紀の記憶 (6)：いまだき「女人結界」とは! / 西野瑠美子 (p.104-105)

世界 [682](2000.12)

特集：戦時性暴力-市民による審判へ

1217. 歴史と裁き：女性国際戦犯法廷をめぐって / 高橋哲哉

(p.98-107)

1218. なぜ裁くか、どう裁くか：「女性国際戦犯法廷」がめざすもの／松井やより (p.108-115)
1219. 資料：各国の「慰安婦」被害・年表・裁判／VAWW-NETジャパン編 (p.116-127)
1220. 置き去りにされてきた日本人「慰安婦」：誰が誰によりどう移送されたか-南海島の場合／西野瑠美子 (p.128-132)
1221. インタビュー：主席検事パトリシア・V-セラーズに聞く：「社会的な死」を招く性奴隷制／松井やより (p.133-136)
1222. 被害の「記録」を「記憶」に：「ビデオ塾」の活動から／山岡優子 (p.137-138)
1223. 十代に蔓延する性行為感染症／富永國比古 (p.154-164)

世界 [683] (2001.01)

特集：21世紀のマニフェスト：ポスト団塊世代は発言する

1224. 男女平等の確立が日本社会の「不安」を解消する：「個人モデル」の社会政策パッケージ／大沢真理[ほか] (p.150-169)
1225. 私たちにはなにかができる：政治への無力感からアクションへ／森田ゆり (p.170-175)

世界 [684] (2001.02)

特集：家族はどうなっているのか？

1226. 「中間世界」を取り戻せ：「よい」「わるい」の二分法を超えて／汐見稔幸 (p.64-71)
1227. 座談会：家族をいかにサポートするか：孤立と暴力への介入／信田さよ子、西山明、徳永雅子 (p.72-83)
1228. 佐賀「バスジャック」両親の手記をどう読むか／矢幡洋 (p.84-91)
1229. インタビュー：「ひきこもり」：外に出なくちゃはじまらない／工藤定次 (p.92-96)
1230. 少年事件への視点(3)：何が子どもを歪めさせたか／小林道雄 (p.97-109)
1231. 高齢者医療：老いの現場で：見たくない思想的現実を見て歩く(2)：老いと死の市場取引：老人という《他者》／金子勝、大澤真幸 (p.110-130)

世界と人口 [317] (2000.08)

1232. 女性2000年会議に参加して／児玉治美 (p.12-18)
1233. ヨーロッパNGOによる地域連携キャンペーン フェイス・トゥ・フェイス：国連人口基金親善大使ジュネーブ会議／永野玲子 (p.20-25)
1234. インターネットでみる海外の人口事情(18)：オランダ人口の最近の動向／大友篤 (p.28-38)
1235. 2000年第4回「加藤シヅエ賞」授賞式 (p.39-45)

世界と人口 [318] (2000.09)

1236. 世界人口白書2000：男女共生と見えない格差：変革の時／国連人口基金 (p.6-17)
1237. 第25回毎日新聞全国家族計画世論調査から見た結婚・

出産・家族関係の特徴／渡部武史 (p.18-23)

1238. 今月の人：UNFPAのアジアでの新たな使命：イメルダ・ヘンキン氏(UNFPAアジア局長) (p.32-33)
1239. 参考：知っていますか？女性に関する用語の周知度／堂本暁子 (p.34-35)
1240. 人口統計あらかると(38)：1995年国勢調査：我が国の夫婦の年齢の状況／西文彦 (p.48-51)

世界と人口 [319] (2000.10)

1241. 「世界人口デー」と別シンポジウム・パネルディスカッションから：21世紀の人口と女性／アグネス・チャン[ほか] (p.11-35)
1242. フィリピン、パラヤン町、マラカニヤン宮殿で表彰：「女性センター」プログラム、全国の自治体モデルとして (p.36-37)
1243. 人口統計あらかると(39)：1995年国勢調査：我が国の親子の同居の状況(その2)／西文彦 (p.42-47)

世界と人口 [320] (2000.11)

1244. 海外の文献から：暴力：女性の三分の一は、何らかの虐待を受けたことがある：ジョンズ・ホプキンス大学報告 (p.32-34)
1245. インターネットでみる海外の人口事情(21)：イラン人口の最近の動向／大石篤 (p.38-45)
1246. 人口統計あらかると(40)：1995年国勢調査：我が国の三世以上世帯等の状況／西文彦 (p.52-56)

世界と人口 [321] (2000.12)

1247. UNFPAの次期事務局長にトラヤ・オベイド氏を任命：サウジアラビア人で初の国連機関の長 (p.12-13)
1248. ビル発売から1年／北村邦夫 (p.14-21)
1249. 今月の人：違いはあっても協力はできる：アルマ・エリーザ氏(地方自治と統合研究開発センター事務局長) (p.22-23)
1250. インターネットでみる海外の人口事情(22)：1998年センサスによるカンボジアの人口／大友篤 (p.28-35)
1251. ベトナムだより(31)：リプロダクティブ・ヘルス・プロジェクト・フェーズII：省全土に拡大するプロジェクト地域／石井澄江 (p.38-40)
1252. フィリピンのリプロダクティブヘルス・プロジェクトに人間の安全保障基金 (p.42-43)
1253. 人口統計あらかると(41・完)：1995年国勢調査：我が国の単独有配偶者の状況／西文彦 (p.46-51)

世界と人口 [322] (2001.01)

1254. 日本のリプロヘルス/ライツのあけぼの：久保秀史、村松稔に聞く(1)：戦前の家族計画を振り返る／西内正彦 (p.8-13)
1255. 人口問題の潮流：カイロ会議から21世紀へ：ナフィス・サディック国連人口基金事務局長講演 (p.18-21)
1256. インターネットでみる海外の人口事情(23)：合衆国における出生力の動向／大友篤 (p.26-33)
1257. 平成12年国勢調査からみた我が国の人口の状況／西文彦 (p.36-40)
1258. 国際協力の現場から：チュニジアの若者の声を聞く／藤掛洋子 (p.48-51)

世界の児童と母性 [47] (1999.10)

特集：子ども虐待と心のケア

1259. 子ども虐待と心のケア / 村瀬嘉代子 (p.2-5)
 1260. 被虐待児の行動の特徴と臨床的意味 / 奥山真紀子 (p.6-9)
 1261. 虐待を受けた子どもへの心理的ケア：トラウマへの包括的アプローチ / 西澤哲 (p.10-13)
 1262. 子ども虐待とソーシャルワーク / 才村純 (p.18-22)
 1263. 母子生活支援施設における子ども虐待 / 大澤正男 (p.38-40)
 1264. 心のケアの実際：B.S.C.を通しての心のケア：子ども家庭支援センターの活動 / 濱田多衛子 (p.41-43)
 1265. 心のケアの実際：子どもたちと暮らして思うこと：自立援助ホームの活動から / 三好洋子 (p.47-49)
 1266. 外国の実情：ケアの終焉？：英国におけるソーシャルワークの変化と子どもの虐待防止 / 田邊泰美 (p.50-52)
 1267. 外国の実情：アメリカにおける子どもたちへの心のケアとそのシステムの成り立ち / 丸山恭子 (p.53-55)
 1268. トピックス：乳児院における家庭支援専門相談員の配置について / 正司順一 (p.60-61)

世界の児童と母性 [49] (2000.10)

特集：世界の子ども家庭福祉

< 世界の社会的養護の動向 >

1269. インド：極貧からの解放と義務教育の徹底 / 中町美佐子 (p.10-12)
 1270. 韓国：韓国における社会的養護の動向と課題 / 尹靖水 (p.13-15)
 1271. タイ：タイにおける家族・子どもの現状 / Ratjai Adjayutpokin (p.16-18)
 1272. 中国：90年代における中国の児童福祉の動向 / 金潔 (p.19-21)
 1273. フィリピン：NGO的視点でとらえたフィリピンの教育状況 / 松中みどり (p.22-24)
 1274. アメリカ：90年代のアメリカ児童福祉の動向と21世紀への展望 / 桐野由美子 (p.25-27)
 1275. イギリス：90年代児童養護施策の失敗とクオリティ・プロテクト計画 / 津崎哲雄 (p.28-30)
 1276. オーストラリア：オーストラリアの児童虐待対策と社会的養護の動向 / 加藤純 (p.31-33)
 1277. カナダ：カナダの子育ての家庭支援 / 伊志嶺美津子 (p.34-36)
 1278. スウェーデン：男女平等社会の子育て政策の動向 / 北川清一 (p.37-39)
 1279. フィンランド：フィンランドにおける保育と仕事と家庭の両立支援 / 前園香織 (p.40-42)
 1280. 日本の国際協力活動：母子生活支援施設における在日母子への支援 / 鹿村愛子 (p.52-54)
 1281. 私の国の児童福祉施設：デンマーク：EGEVANG(エーヴァング)治療施設 / Ole Leerbeck (p.58-59)
 1282. 私の国の児童福祉施設：マレーシア：孤児院RUMAH BARKAT(ルマー パルカ) / Sulaiman Bin Hassan (p.60-61)
 1283. 児童虐待防止施策の動向と防止法の成立 / 柏女霊峰 (p.66-68)

中央公論 [115-11] (2000.10)

特集：<研究>お父さんのためのフェミニズム講座

1284. パラサイト・シングルvs. フェミニスト / 山田昌弘 (p.210-217)
 1285. なぜ林道義氏は人気があるのか / 広田照幸 (p.218-225)
 1286. お節介で口やかましい妻は病気が<ルポ> / 秩父啓子 (p.226-230)
 1287. <ルポ>17歳は何を食べてきたか / 郡司和夫 (p.246-255)
 1288. 世紀末少年犯罪の文化的背景 / 赤塚行雄 (p.256-267)
 1289. 企業を変えるパラサイト・シングル / 西山昭彦 (p.268-278)

中央公論 [115-13] (2000.12)

1290. 女ばかりがどうして強いのか / 養老孟司 (p.42-45)

特集：人口激減：少子化日本の深刻

1291. 結婚しない恋人たち：非婚型カップルを認める社会へ / 岩澤美帆 (p.86-95)
 1292. 政府は無策だったのか<ルポ> / 樺島秀吉 (p.96-103)
 1293. 「スウェーデン・モデル」の失敗：出産・育児支援策の有効性を問う / 古田隆彦 (p.104-111)
 1294. 少子化時代の企業の役割 / 八代尚宏 (p.118-125)
 1295. 移民導入の時代が来たのか / 河野綱果 (p.126-133)
 1296. 日本という商品の魅力が問題 / 樋口廣太郎 (p.112-114)
 1297. フレキシブルな選択を認めよ / 加藤充 (p.115-117)
 1298. 本誌10月号「なぜ林道義氏は人気があるのか」への反論：教えてあげよう人気の秘密：「女性の自立」は自明の前提か / 林道義 (p.250-255)
 1299. 「新婚さんいらっしゃい!!」長寿の理由 / 尾上たかし (p.264-271)

賃金と社会保障 [1259] (1999.10.10)

特集：新設・福祉職俸給表&ヘルパーの賃金

1300. 人事院が新設した「福祉職俸給表」の読み方 / 桑本文幸 (p.4-13)
 1301. 介護保険の実施を前に：ホームヘルパーの賃金について考える / 宇和川邁 (p.14-29)
 1302. 「福祉(介護)の市場」とは?(下)：東京都商工指導所・調査研究報告書『福祉ビジネスの事業化戦略』より (平成11年3月) (p.40-54)

賃金と社会保障 [1260] (1999.10.25)

1303. 資料：指定居宅介護サービス事業者・東京版：10月8日現在、120法人 (p.46-54)
 1304. 資料：介護保険事業者指定基準：訪問介護/訪問入浴介護/訪問看護の場合：平成11年3月31日公布 厚生省令・告示より (p.55-65)

賃金と社会保障 [1261] (1999.11.10)

特集：ホームヘルパーの健康と安全のために

1305. ホームヘルパーの健康問題：イギリスグラスゴー大学の調査とGMB憲章から学ぶ / 重田博正 (p.30-33)
 1306. ホームヘルパーの健康と安全に関する権利 / 英国一般

- 労働組合(GMB) / 重田博正訳 (p.34-38)
 1307. グラスゴーのホームヘルパーが直面する諸問題：1998年調査報告 / ジョン・スキャンラン, チャールズ・ウールフソン, マティアス・ベック ; 重田博正訳 (p.39-53)

賃金と社会保障 [1262](1999.11.25)

1308. 資料：「介護サービス事業者に聞く[緊急]アンケート」サービス提供事業者の準備状況はどうなっているか(1999年9月27日) / 明治生命保険相互会社 (p.18-24)

賃金と社会保障 [1263](1999.12.10)

1309. 資料：労働コストの変化と新しい働き方：『こうすれば日本の生活は楽しくなる』(経済企画庁物価局報告書第2章)より / 糸瀬茂 (p.46-65)

賃金と社会保障 [1276](2000.06.25)

1310. パート労働者の賃金・処遇をどう改善していくか(上)：通常の労働者との均衡を考慮したパートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について(パートタイム労働に係る雇用管理研究会報告) / 労働省女性局女性労働課 (p.52-72)

賃金と社会保障 [1279](2000.08.10)

- 特集：保育における規制緩和
 1311. 検証：保育所の規制緩和はどこまでできているか / 垣内国光 (p.4-19)
 1312. 資料・保育における規制緩和：保育所の設置認可・運営に関する規制緩和措置：厚生省が提示してきたこと(行政関係資料) (p.20-31, 49)
 1313. 資料・保育における規制緩和：公立保育所の民営化計画と父母・保育労働者 (p.32-61)
 1314. 「高コストの公」から「コストの低い民」へ：地方行革への手引き：公立と民間とのコストとサービス比較：全国延べ316自治体からの報告とその分析：地方自治経営学会による調査と分析(2000年4月) (p.62-73)

賃金と社会保障 [1280](2000.08.25)

- 特集：イギリスのパート労働新事情
 1315. イギリスのパートタイム労働に関する新法制とEC(現EU)理事会指令：翻訳資料の紹介に際して / 柴山恵美子 (p.42-47)
 1316. 翻訳資料：イギリスのパートタイム新労働法制：パートタイム労働に関する欧州労使の枠組み協定：EU理事会指令 / 柴山恵美子訳 (p.48-64)

賃金と社会保障 [1281](2000.09.10)

- 特集：許すまい!! 老人福祉の後退
 1317. 介護保険とホームヘルプ労働についての考察 / 佐藤卓利 (p.60-74)

賃金と社会保障 [1282](2000.09.25)

- 特集：『民の声from JAPAN』日本における社会的人権の状況
 1318. 日本のNGO(非政府組織)の初挑戦：社会権規約の実施状況「日本政府の報告書」に対して25本の反論レポート / 井川昌之 (p.34-36)

1319. 資料：社会権規約委員会が日本政府の規約実施状況について情報提供を望んでいるリスト46項目 (p.37-39)
 1320. 『民の声from JAPAN』総論：日本の労働者と労働組合の権利の状況について / 国際民主法律家協会(日本支部), 国際人権活動日本委員会 (p.40-46)
 1321. 『民の声from JAPAN』個別カウンターレポート (p.47-73)

賃金と社会保障 [1283](2000.10.10)

- 特集：「パート労働物差し研」報告をどう読むか
 1322. ジョブレス社会・日本の悲劇と課題 / 木下武男 (p.4-17)
 1323. 資料：パート労働者の賃金・処遇をどう改善していくか(下)：通常の労働者との均衡を考慮したパートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について：労働省女性局女性労働課パートタイム労働に係る雇用管理研究会報告 (p.18-28)
 1324. 資料：パート労働者の賃金・処遇をどう改善していくか(下)：諸外国における法制等の概要について(参考資料) / 労働省女性局女性労働課パートタイム労働に係る雇用管理研究会 (p.28-36)
 1325. 資料：職場におけるストレスコントロールの必要性について：労働省「人事・労務管理研究会労働環境ワーキンググループ調査研究報告」(p.37-46)
 1326. 高齢者総合福祉施設旭ヶ岡の家の苦情処理システムについて：オンブズマン制度を中心に / 祐川暢生 (p.47-57)

賃金と社会保障 [1285](2000.11.10)

- 特集：非営利社会福祉法人・医療法人等の発展のために
 1327. 調査資料：介護事業従事者の就業実態(調査報告) / ゼンセン同盟日本介護クラフトユニオン (p.20-37)

賃金と社会保障 [1287](2000.12.10)

- 特集：介護保障の国際比較 1
 1328. 社会サービスとしての介護保障：公的介護保障国際比較の視点：福祉国家の国際比較研究を含めて / 高島進 (p.4-30)
 1329. 介護事業：民間介護関連企業の誤算：日本経済新聞社・介護事業調査(10月)より (p.31-34)

1330. まちづくり型社会保障運動のすすめ(2)：自治体保健婦の仕事について：家庭・地域の育児・保健・福祉力向上のために / 篠崎次男 (p.36-51)

1331. 介護保険と相談の事例集：その1・居宅介護サービス(通所を含む)関係：国民生活センター『介護契約にかかわる相談の実態』(2000年10月から) (p.52-68)

賃金と社会保障 [1288](2000.12.25)

1332. 介護保険と相談の事例集：その2・入所・施設サービス関係：国民生活センター『介護契約にかかわる相談の実態』(2000年10月から) (p.45-51)

時の動き [44-5](2000.05)

- 特集：子育て：21世紀の子どもたちのために

< 施策の紹介 >

1333. 施策の紹介：少子化対策推進基本方針及び新エンゼルプランの概要：基本方針と具体的実施計画の策定で休息に進行する少子化に対応 / 文部省, 厚生省 (p.32-35)
1334. 文部省の少子化対策：様々な教育機会を見直し、子育てを支援する (p.36-38)
1335. 家庭教育の支援施策：子育ての自信を取り戻すために / 文部省 (p.39-42)
1336. 幼稚園における子育て支援：社会の変化に応じた幼稚園機能の活用を図る / 文部省 (p.43-45)
1337. 児童福祉法と児童の自立支援：児童福祉の新たな理念のもとで様々な自立支援施策を実施 / 厚生省 (p.52-55)
1338. 児童の健全育成・児童手当制度の改正：児童館などの児童厚生施設の設置や放課後児童健全育成事業の普及を図る / 厚生省 (p.56-57)
1339. 保育対策：新エンゼルプランで多様な保育需要に対応 / 厚生省 (p.60-65)
1340. 母子保健施策：母性及び乳幼児の健康の保持と増進 / 厚生省 (p.66-68)
1341. 資料：子どもの体験活動等に関する国際比較調査の実施結果について(抜粋)(文部省調査) / 子どもの体験活動研究会 (p.89-93)

時の動き [44-8] (2000.08)

1342. 2000年国勢調査：統計結果からみた2000年国勢調査の注目点 (p.30-37)

特集：児童虐待を防ぐ

1343. 施策の紹介：児童虐待防止法の概要：虐待の早期発見と虐待を受けた児童の適切な保護 / 厚生省 (p.56-60)
1344. 施策の紹介：児童虐待の現状及び虐待防止への課題と対策：相談体制の充実・関係機関の連携強化で虐待の防止・早期発見を図る / 厚生省 (p.61-65)
1345. 児童の保護に万全を期すための諸対策 / 警察庁 (p.66-67)
1346. 青少年健全育成の観点から取り組む児童虐待問題 / 総務庁 (p.68-69)
1347. 人権擁護機関による児童虐待防止の取組 / 法務省 (p.70-71)
1348. 児童虐待防止に向けた家庭・地域・学校での取組 / 文部省 (p.72-73)
1349. 児童虐待に迅速・的確に対応：家庭裁判所の取組 / 最高裁判所 (p.73-75)
1350. 児童相談所を訪ねて：神奈川県中央児童相談所：福祉と医療の連携で「ストップ・ザ虐待」 / 綾野まさる (p.78-80)

日本家政学会誌 [50-11] (1999.11)

1351. 生活財の管理の外部化に関する基礎調査：レンタル用品の利用実態と利用意識 / 富士田亮子 (p.43-51)
1352. 居住者の生活行動からみた生活スタイル特性と住環境整備意識：奈良県橿原市今井町における / 牧野唯, 今井範子 (p.53-64)
1353. 「生と死の教育」のための教材開発：小学校高学年向け教材 / 得丸定子[ほか] (p.71-78)

1354. 第一線で活躍する家政系出身者から(26)：「女性の病いと家族の意識調査」を実施して / 渡辺美恵 (p.79-80)

日本家政学会誌 [50-12] (1999.12)

1355. 第一線で活躍する家政系出身者から(27)：生活者の立場と業際的視野を持った家政学に期待して / 滝沢真美 (p.93-34)
1356. 第一線で活躍する家政系出身者から(27)：特許事務所の経営まで / 沼形泰枝 (p.95-96)

日本家政学会誌 [51-7] (2000.07)

1357. 小学生の食生活及び食に関する意識・知識の発達の変容(第1報)：4年生から6年生における発達の変容 / 福原桂[ほか] (p.35-42)
1358. 小学生の食生活及び食に関する意識・知識の発達の変容(第2報) [変容パターンとその相互関連性 / 田辺由紀[ほか] (p.43-49)
1359. 大学生の生活情報に対するニーズとその要因：東京圏と一地方都市の調査に基づいて / 滝山桂子[ほか] (p.57-68)
1360. 第一線で活躍する家政系出身者から(33)：私と職業 / 笛木百合子 (p.69-70)
1361. 第一線で活躍する家政系出身者から(33)：家政学讃歌 / 須能朝子 (p.71-72)

日本家政学会誌 [51-8] (2000.08)

1362. 第一線で活躍する家政系出身者から(34)：10年のSE生活をふりかえって / 山田文香 (p.57-58)
1363. 第一線で活躍する家政系出身者から(34)：ペーパー・トーイ、紙でつくる立体イラストレーション / 安座上真紀子 (p.59-60)

日本家政学会誌 [51-9] (2000.09)

1364. シルバーピア住宅における高齢者の住生活と居住空間(第1報)：シルバーピア住宅の団地と居住者特性 / 楊麗娟, 沖田富美子, 小川信子 (p.57-69)
1365. 第一線で活躍する家政系出身者から(35)：進化するタイトル / 王尾亜紀子 (p.97-98)
1366. 第一線で活躍する家政系出身者から(35)：農村で仕事をして見えてきたもの / 岩本さつき (p.99-100)
1367. 子どもをめぐる人間関係(3)：親と子が集う集団：心理劇を活用する親グループ活動 / 黒田淑子 (p.109-115)

日本家政学会誌 [51-10] (2000.10)

1368. 北タイの3地域における経済化と情報化の進展が児童・生徒の間食選択に与える影響：主な4品目の間食に着目して / 宇都宮由佳, 益本仁雄 (p.9-28)
1369. 第一線で活躍する家政系出身者から(36)：公務員になって考えること / 三管宜子 (p.75-76)

日本家政学会誌 [51-11] (2000.11)

1370. 第一線で活躍する家政系出身者から(37)：道草 / 高岡真佐子 (p.57-58)
1371. 新しい時代のリベアルアーツ：藤女子大学人間生活学部 / 住田和子 (p.69-71)

1372. 子どもをめぐる人間関係(5)：子どもの食生活と人間関係：食卓を巡る人間関係を中心に／猪野郁子 (p.77-80)

日本家政学会誌 [51-12](2000.12)

1373. 第一線で活躍する家政系出身者から(38)：東西文化交流ときんからかわ／森下雅代 (p.55-56)

1374. 第一線で活躍する家政系出身者から(38)：家政学と看護学を学んで：保健婦活動に生かす家政学の視点／井上愛子 (p.57-58)

1375. 子どもをめぐる人間関係(6)：文化としてのお小遣い：または正しい魔法使いの育て方について／山本登志哉, 片成男 (p.65-70)

日本家政学会誌 [52-1](2001.01)

1376. ワイルドの喜劇と舞台衣装：『まじめが肝心』を中心に／佐々井啓 (p.43-51)

1377. 居住者の居住志向と交流からみたネットワークの特徴：奈良県橿原市今井町の場合／牧野唯, 今井範子 (p.61-70)

1378. 第一線で活躍する家政系出身者から(39)：流れるままの日々を綴る／辰巳菊子 (p.81-82)

1379. 第一線で活躍する家政系出身者から(39)：1枚の染織品に思うこと／水上嘉代子 (p.83-84)

1380. 子どもをめぐる人間関係(7)：幼児の「おとな感」の変質を探る／友定啓子 (p.97-101)

発達 [20-80](1999.10)

特集：「精神薄弱」から「知的障害」へ

1381. 「出生前診断」という視座から見えるもの／玉井真理子 (p.8-14)

1382. 人との関係に問題をもつ子どもたち《発達臨床》研究会(22)：対人関係でトラブルをくり返したろう女性の事情：A子が家族の中に居場所を見つけるまで／麻生武, 河崎佳子 (p.95-102)

発達 [21-84](2000.10)

特集：21世紀の子育て支援ネットワーク

1383. 三鷹市における乳幼児期の子育て支援ネットワークの資源／山本真実 (p.2-21)

1384. 大学病院と子育て支援：三鷹市との関わりのなかで／松田博男 (p.22-31)

1385. 三鷹市の子育てネットワークを支えるもの／山本真実 (p.32-37)

特集：子育て支援はどこへ向かうか

1386. 母親たちにとっての「子育て支援」／丹羽洋子 (p.38-39)

1387. 緊急一時保育所ベビーハウス24の受付から／岸和田かおり (p.40-42)

1388. 親が自分を見つめ、わが子を知る：親心を超える「子育て支援」／市原悟子, 山本健慈 (p.43-45)

1389. 保育園の子育て支援：親子同時支援の挑戦／田中昭子 (p.46-49)

1390. 幼稚園の子育て支援：家庭幼稚園の実践から／東喜代雄 (p.50-52)

1391. 新しい地域子育て支援システムの構築をめざして：「FSCシステム・アプローチ」から「FSCCネットワーク・サポート」へ／原田正文 (p.53-55)

1392. 保育園の行方：保育改革の論点／前田正子 (p.56-59)

1393. 子ども家庭福祉の新展開／柏女豊峰 (p.64-67)

1394. 子育てを見る目は変わったか：子育て支援サービスの課題と方向／山縣文治 (p.68-71)

1395. 無免許運転?の親を励ます：育児を支援するとはどういうことか／汐見稔幸 (p.72-75)

ファミポリティク=Femme politique [26](1999.12)

1396. メディアが支配する来世紀：子どもたちの未来は(下)／山口遼子 (p.14-16)

1397. 「介護保険」をめぐる国民のホンネ：国民不在で制度がすすむ／田中喜美子 (p.17-19)

ファミポリティク=Femme Politique [28](2000.06)

1398. 「法律」の内容を勝手に変える官僚たち：こんなことが許されるのか／向井承子 (p.2-5)

1399. 女性地方議員の第1号は奄美だった：54年前の女性議員を訪ねて／甘利てる代 (p.12-14)

1400. 女性議員のページ：前田佐枝子さん／甘利てる代 (p.15)

1401. 女の政治スクール：円より子の「女性のための政治スクール」(p.16-17)

ファミポリティク=Femme politique [29](2000.09)

1402. 豊島(てしま)から何をまなぶか／渡辺さと子 (p.2-6)

1403. 女性議員のページ：吉本ひろ子さん／甘利てる代 (p.7)

1404. 堂本暁子が語る日本の女性政策／宗像陽子 (p.15-17)

1405. 女性のための政治スクール：女性議員をふやすネットワーク「しなの」：「女性議員をふやすそう・ながさき」(p.18-19)

ファミポリティク=Femme politique [30](2000.12)

1406. 女性を躍進させる選挙制度：三井マリ子さんに聞く／宗像陽子 (p.6-8)

1407. 女性議員のページ：丸山寿子さん／甘利てる代 (p.9)

1408. 中高年女性よ、声を上げよう! 提言するOWL／大海篤子 (p.15)

1409. 女性のための政治スクール：鹿児島県内の女性議員を100人にする会：バックアップスクールin関西 (p.16-17)

1410. FGM(女性性器切除)を私たちの問題として考える／ヤンソン・柳沢由実子 (p.18)

婦人新報 [1189](1999.10)

1411. 男女共同参画社会基本法の意味：しんじゅく女性団体会議主催講演会(7/23)より／佐藤洋子 (p.11-13)

1412. 児童売春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律／宮本潤子 (p.14-18)

1413. 報告：韓国挺身隊問題対策協議会主催：ソウル国際シンポジウムに出席して／高橋喜久江 (p.24-27)

婦人新報 [1190](1999.11)

特集：若者を襲うドラッグ

1414. 薬物乱用とネットワーク対応：東京都におけるモデル
事業 / 妹尾栄一 (p.2-5)

1415. 「第三次覚せい剤乱用期」：夜回りの経験から / 水谷
修 (p.6-10)

1416. 「慰安婦」問題うごき：2000年女性国際戦犯法廷 / 高
橋喜久江 (p.26)

婦人新報 [1191] (1999.12)

1417. 回想のなかの会とひと：矯風会の群れの牧者：谷川和
子元会頭：平和運動を共にして / 山谷新子 (p.9-10)

1418. 法律部学習会講演要旨：すすめよう!民法改正 / 赤石
千衣子 (p.13-15)

1419. 真の悔い改めと国交正常化を：「日本と朝鮮をつなぐ
女性のピースライン訪朝団」に参加して(1999.9.16 ~
23) / 麻生和子 (p.16-19)

婦人新報 [1199] (2000.08)

1420. 松谷裁判に関わって / 山本潤子 (p.14-15)

1421. アメリカのDV防止対策を聞く / 三鬼和子 (p.21)

1422. 「慰安婦」問題立法と運動 / 高橋喜久江 (p.25)

婦人新報 [1200] (2000.09)

特集：セクシュアリティの学び：からだ・こころ・関係性の性

1423. 少女たちの性・からだ・こころ：婦人科の診察室か
ら / 丸本百合子 (p.2-5)

1424. 重要! 男子への性教育 / 村瀬幸浩 (p.6-9)

1425. ジェンダーフリーの教育を / 金子由美子 (p.10-12)

1426. 「児童虐待防止法」成立までのうごきと法律の特徴 /
松本成子 (p.20-21)

1427. 移住労働者と連帯する全国ネットワーク第3回活動者
会議 / 本木朋子 (p.24-25)

婦人新報 [1201] (2000.10)

特集：ステップハウス オープン

1428. 同じ目の高さからの援助：ステップハウスに期待する
こと / 湯浅範子 (p.2-5)

1429. 自立につながるステップ・ハウス：AWSの例 / 池田ひ
かり (p.6-7)

1430. 友愛会の中島儀一さんにインタビュー (p.8-10)

1431. 矯風会でステップハウスを始める意義 / 柿澤路得子
(p.11-12)

1432. 女子学生寮からステップハウスへ：矯風会第二会館の
変遷 / 崎浜啓子 (p.13-14)

1433. 矯風会ステップ・ハウスを開設します! (p.15)

婦人新報 [1202] (2000.11)

特集：多様な視点から知るアルコールの害

1434. アルコール依存症の娘とともに：家族のおもい (p.6-
9)

婦人新報 [1203] (2000.12)

1435. サポートグループ「ばんだね」：DV法案のためのヒ
アリングへ / 三鬼和子 (p.16-17)

1436. 家族を再定義する：第11回日本嗜癪行動学会報告 / 松

本成子 (p.18-19)

1437. 女性国際戦犯法廷に向けたキリスト者全国集会：女性
への暴力を断ち切るために / 大場千代子 (p.24)

婦人新報 [1204] (2001.01)

1438. 活動する矯風会：会員から、支部から (p.2-13)

婦人通信 [491] (1999.10)

1439. ストップ・ザ・セクハラ：運輸省：“男社会”で働き
続ける / 田中親美 (p.12-14)

1440. ストップ・ザ・セクハラ：神奈川外語短大：“セクハ
ラの証拠がない”：時代に逆行する判決 / 鳥居千珠子
(p.14-16)

婦人通信 [491] (1999.10)

1441. ストップ・ザ・セクハラ：千葉県公立病院：“私のよ
うな思いをする人を出さないで” / 半田悦子 (p.16-17)

1442. 20世紀を生きた女たち(4)：宮本百合子：映画の曙
の時代に(1899-1951年) / 高橋和枝 (p.26-29)

1443. 文学に描かれた女性像：徳富蘆花『不如帰』 / 根本萌
臈子 (p.42-43)

婦人通信 [492] (1999.11)

1444. 20世紀を生きた女たち(5)：矢島せい子：ひたすらな
歩み(1903-1988年) / 小森香子 (p.28-31)

1445. 文学に描かれた女性像：アイザック・B・シンガー
『愛のイェントル』 / 瀬野とし (p.42-43)

婦人通信 [493] (1999.12)

1446. 男女双方の発信：方向が見えてきた：第10回女性研究
者問題全国シンポジウム / 石渡真理子 (p.4-5)

1447. 20世紀を生きた女たち(6)：関鑑子：わが歌を平和に
捧げて(1899-1973年) / 檀上さわえ (p.26-29)

1448. 文学に描かれた女性像：三浦綾子『母』 / 根本萌臈子
(p.42-43)

婦人通信 [496] (2000.02)

特集：2000年国際婦人デー

1449. 女性2000年会議に向けて：日本政府報告に対する
NGOレポート：日本女性の実態と私たちの意見：女
性と経済：女性と人権：女性と武力紛争 / 女性2000年
会議にとりくむ会 (p.14-27)

1450. 第4回世界女性会議行動綱領 (p.28-29)

1451. 海外のたたかい：差別をなくし、女性の権利守れ：賃
下げなしの35時間労働を(フランス) / 片岡文子訳
(p.30-31)

1452. 海外のたたかい：差別をなくし、女性の権利を守れ：
経済のグローバル化への挑戦(韓国) / マリア・リー
(p.32-35)

1453. アジア・太平洋地域NGOシンポジウム宣言：「アジ
ア・太平洋女性2000年男女平等、開発、平和」(p.36-
39)

1454. 資料と解説：女性差別撤廃条約の選択議定書(99年10
月第54回国連総会採択) (p.40-43)

1455. 年表：国際婦人年から女性2000年会議まで (p.44)

1456. 国際婦人デーの歴史：世界と日本 (p.45-48)

婦人通信 [502] (2000.08)

1457. 夫・恋人からの暴力(DV)の根絶を：自分を失っていた夫との日々：婦人相談員業務から見てきたもの：DVに男性が向き合う時代：DVをめぐる政府、国会の動き / 佐藤藍衣, 草柳和之, 高橋万里 (p.4-12)
1458. 世界女性行進情報：女性2000年会議をステップに！：国連特別総会「女性2000年会議：21世紀に向けての男女平等・開発・平和」に参加 / 平野恵美子 (p.13-15)
1459. 20世紀を生きた女たち(14)：高山しげり：地域が主役に(1899-1977年) / 田中里子 (p.24-27)
1460. 文学に描かれた女性像：ペロー『眠れる森の美女』、グリム『いばら姫』 / 根本萌臈子 (p.36-37)
1461. 男女平等・女性の地位向上に関する要望(下) (p.44-46)

婦人通信 [503] (2000.09)

1462. 世界女性行進情報：世界にとどけ“基地ノー”の声：沖縄サミットいっせい行動 (p.16-17)
1463. 2000年世界女性行進：私のサポートカード：退職時にせめて掛長に / 山崎里美 (p.18)
1464. パワーあふれる韓国の働く女性 / 浅野明日香 (p.20-21)
1465. 憲法納得トーク(3)：露骨な性表現は取り締まれるか? / 大坂恭子, 中野和子 (p.25-27)
1466. 20世紀を生きた女たち(15)：太田洋子「核」に立ち向かって(1903-1963年) / 江刺昭子 (p.28-31)
1467. 文学に描かれた女性像：村田喜代子『籠秘御天歌』 / 瀬野とし (p.40-41)

婦人通信 [504] (2000.10)

- 特集：セクシュアル・ライツ=性的権利はいま：女性2000年会議が問いかけるもの
1468. ビルを通して見えてくるもの：低用量ピル認可一年 / 早乙女智子 (p.4-6)
1469. 人口妊娠中絶と生命倫理 / 齋藤有紀子 (p.6-8)
1470. 人権問題としてのセクシュアル・マイノリティ / 伊藤悟 (p.8-11)
1471. 同性愛者として生きる / 間名汀子 (p.11-13)
1472. 世界女性行進情報：2000年世界女性行進10月17日終結行動近づく (p.18-19)
1473. 20世紀を生きた女たち(16)：三岸節子：大地の鼓動をキャンパスに(1905~1999年) / 吉安恵子 (p.22-25)
1474. 文学に描かれた女性像：坂口安吾『戦争と一人の女』『続戦争と一人の女』 / 根本萌臈子 (p.34-35)
1475. 平和あればこそ(2) / 伊藤正子 (p.42-45)

婦人通信 [505] (2000.11)

1476. 世界女性行進情報：9.28国会請願デモと政府要請行動 (p.18)
1477. ドイツの働く女性 / ビルギット・ツィッヒ (p.20-21)
1478. 20世紀を生きた女たち(17)：帯刀貞代：妻死ならず(1904-1990年)：永原和子 (p.26-29)
1479. 文学に描かれた女性像：鈴木光司『紙おむつとレーサーレプリカ』 / 瀬野とし (p.38-39)
1480. 平和あればこそ(3) / 伊藤正子 (p.43-45)

婦人通信 [506] (2000.12)

1481. 20世紀を生きた女たち(18)：神谷三恵子：「病める人」とともに(1914-1979年) / 江尻美穂子 (p.24-27)
1482. 世界女性行進情報：“貧困と女性に対する暴力なくせ” 2000年世界女性行進10.17終結行動 / 堀江ゆり (p.28-29)
1483. 文学に描かれた女性像：ベルンハルト・シュリンク『朗読者』 / 根本萌臈子 (p.42-43)
1484. 平和あればこそ(4) / 伊藤正子 (p.44-46)

婦人通信 [507] (2001.01)

1485. 21世紀わたしらしく生きる：若者たちの自分さがし / 荒井千帆, 米倉万有美, 野村早苗 (p.5-12)
1486. 2001年らいてうへの旅(1)：プロローグ 21世紀のらいてう像 / 米田佐代子 (p.20-21)
1487. 「世界の日立」に勝ちました：元日立の男女差別をなくす原告団長 / 堀口暁子 (p.22-23)
1488. 世界女性行進情報：11月17日終結集会アピール (p.24)
1489. 「あぶない教科書」No! / 依義文 (p.26-28)
1490. 文学に描かれた女性像：モーパッサン『脂肪の塊』 / 瀬野とし (p.36-37)
1491. 平和あればこそ(5) / 伊藤正子 (p.38-40)

婦人之友 [93-11] (1999.10)

1492. 私とボランティア：法律の視点から：ボランティア活動と責任 / 福武公子 (p.55-58)

婦人之友 [93-12] (1999.11)

1493. 記憶の扉をひらく 個人美術館の旅(11)：戦争と人間を主題に：佐喜眞美術館 / 中村輝子 (p.80-87)
1494. 投稿・共働き家庭の実例より：忙しい人のためのポイント家事 (p.119-127)

婦人之友 [93-13] (1999.12)

1495. イギリス便り：海の彼方からきたエラ：娘夫婦の新しい家族 / 森嶋瑤子 (p.34-39)

特集：さあ、どうしよう! その答えは家計簿に

1496. 中学・高校生のお小遣いと祖父母世帯の「特別費」：祖父母世帯17人の特別費調べ / 町田友の会・壮年グループ (p.62-71)

婦人之友 [94-10] (2000.09)

- 特集：介護保険スタート：暮らしはどう変わったか
1497. 負担は増えたが安心感が高まった：八王子市で要介護認定を受けた3人を訪ねて (p.30-37)
1498. ヘルパーさんとバトンタッチ / 吉田トミ子 (p.38-39)
1499. 50代で介護保険の適用を受ける / 長岡禮子 (p.40-41)
1500. 遠距離介護を乗り切るには / 太田差恵子 (p.42-43)
1501. 住民参加で制度を育てる / 高橋信幸 (p.44-47)

婦人之友 [94-11] (2000.10)

1502. 時代をひらく人々(7)：家庭の中に問いも答えも / 本谷滋子 (p.64-69)
1503. 教育座談会：フリーターという働き方 / 長須正明, 小杉礼子, 富田富士也 (p.70-77)

婦人之友 [94-12] (2000.11)

1504. 時代をひらく人々(8) : 継がれゆくもの / 中村紀伊 (p.64-69)

婦人之友 [94-13](2000.12)

1505. 時代をひらく人々(9) : 女であるという条件 / 津島佑子 (p.36-41)

1506. 親と子60人のアンケートから : 社会人になった子どもの独立、親の自立 (p.80-87)

婦人之友 [95-1](2001.01)

1507. 時代をひらく人々(10) : 違和と問いの中で / 清水眞砂子 (p.82-87)

婦人之友 [95-2](2001.02)

特集 : 食がつくる「人間力」 : 味覚を育てる

1508. 伝えたいわが家の味 : あなたにとって「母の味」とは? (p.26-29)

1509. ニュースのことば : 女性国際戦犯法廷 / 川名紀美 (p.72-73)

1510. 時代をひらく人々(11) : アジアを歩く・複眼で考える / 内海愛子 (p.78-83)

1511. インナーウェア新世紀 / 武田尚子 (p.148-152)

別冊ジュリスト [154](2000.09)

特集 : 憲法判例百選 1

< 基本的人権 >

1512. 私的団体における女性差別 : 女子若年定年制事件 / 中山勲 (p.28-29)

1513. 公立中学校における髪形の規制 / 浅利祐一 (p.46-47)
< 法の下での平等 >

1514. 尊属殺重罰と法の下での平等 : 尊属殺重罰規定判決 / 赤坂正浩 (p.62-63)

1515. 嫡出性の有無による法廷相続分差別 / 熊田道彦 (p.64-65)

1516. 女性の再婚禁止期間の合理性 / 小林節 (p.66-67)

1517. 同性愛者に対する公共施設宿泊拒否 : 東京都青年の家事件 / 君塚正臣 (p.70-71)

1518. 地域による取扱いの差異と地方自治 / 安西文雄 (p.74-75)

1519. 国籍法の性差別とその救済法 / 畑尻剛 (p.76-77)

< 精神的自由 >

1520. わいせつ文書の頒布禁止と表現の自由 : チャタレイ事件 / 阪本昌成 (p.118-119)

1521. わいせつの概念 : 「悪徳の栄え」事件 / 阪口正二郎 (p.120-121)

1522. わいせつの概念の再構築 : 「四畳半襖の下張」事件 / 角替晃 (p.122-123)

1523. プライバシーと表現の自由 : 「宴のあと」事件 / 松本昌悦 (p.138-139)

1524. プライバシー侵害と表現の自由 : 「エロス+虐殺」事件 / 佐藤幸治 (p.140-141)

別冊ジュリスト [155](2000.10)

特集 : 憲法判例百選2

1525. 国務請求権 : 家事審判法による審判の合憲性 / 林家礼二 (p.282-283)

1526. 社会権 : 老齢福祉年金と夫婦受給制限 : 牧野訴訟 / 久保田穰 (p.292-293)

1527. 社会権 : 障害福祉年金と児童扶養手当との併給禁止 : 堀木訴訟 / 戸松秀典 (p.294-295)

1528. 財産 : 夫婦所得課税 / 清永敬次 (p.436-437)

母子研究 [20](2000.03)

1529. 自死遺児について / 副田義也 (p.1-9)

1530. 保健医療サービス利用の遅延に関連する要因 : 母乳育児における桶谷式乳房マッサージの利用事例 / 中山慎吾 (p.10-22)

1531. 夢・支え・勲章 : 「障害者の子育て」にたいする理解の諸相 / 時岡新 (p.23-50)

1532. 「月経」指導と調査の近代 / 加藤朋江 (p.51-60)

1533. 内閣官僚と婦人公民法案 : 昭和初期政府案への展開と挫折 / 遠藤恵子 (p.81-94)

1534. ジンメル分化論における女性文化の可能性 / 川島知子 (p.95-102)

母子保健情報 [40](1999.11)

特集 : 若い女性とダイエット : 「食」を中心に

1535. 食市場の現状と今後 : 「食」の選択肢の視点から / 茂木信太郎 (p.4-7)

1536. 現代の若い女性の「やせ」志向とダイエット / 佐々木大輔 (p.8-11)

1537. 若い女性のための「食」の工夫 / 八倉巻和子 (p.12-19)

1538. 若い女性の適正体重とダイエットの現状 / 橋本勲, 小幡夏子 (p.24-30)

1539. ダイエットと月経異常 / 多賀理吉 (p.44-46)

1540. ダイエットによる妊娠中の健康と胎児の発育 / 森川肇, 原田直哉 (p.47-54)

1541. 若い女性と摂食障害(拒食症, 過食症)の治療 : 再養育療法を中心に / 加藤直子, 山岡昌之 (p.55-59)

1542. 統計情報 : 「平成9年国民栄養調査」からみた各期の栄養状況 / 中原澄男 (p.64-72)

1543. 「男女共同参画社会基本法」施行 : 1999年6月23日 / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.73-76)

1544. 11月は「乳幼児突然死症候群対策強化月間」 : 小さな灯を守って / 仁志田博司 (p.77-82)

母子保健情報 [41](2000.06)

特集 : 女性が美しく健康に生きるために

1545. 男女平等社会と女性の美 / 永島玉枝 (p.6-9)

1546. グローバルな時代の日本人の美貌観 : ボーダレスから自分らしさへ / 村澤博人 (p.10-15)

1547. 化粧で開かれる世界 : 美の創造 / 大竹政義 (p.16-19)

1548. 美しい「表情」の演出 / 高野ルリ子 (p.20-24)

1549. ホルモンは美と健康の源泉 / 寺尾俊彦 (p.40-45)

1550. 美しさと健康を保つための睡眠 / 金圭子, 大川匡子 (p.46-50)

1551. 若さとスタイル維持のための体型美創り / 田中泰博 (p.51-57)

1552. あなたの笑顔、なにより薬! : 笑いが免疫力を高める / 昇幹夫 (p.58-65)

1553. 一生を通してのすばらしい「素肌づくり」 / 山本一哉

(p.66-70)

1554. 統計情報：女性雑誌に見るダイエット広告・記事の変遷 / 松浦賢長 (p.71-78)
1555. 保育所待機児童解消に向けて：「平成11年度版保育所入所待機児童数等データ集」から / 山本真実 (p.84-86)
1556. 自宅などでの医師や助産婦が介助しない出産等は危険!! / 中林正雄 (p.87-90)
1557. 地方分権時代とヘルスプロモーション：「健やか親子21」を住民のものとするために / 榎本真幸 (p.91-105)

労務事情 [966] (2000.06.15)

特集：育児・介護への柔軟な対応：育児・介護への企業の新たな視点と働き方を追う

1558. 企業事例1：日本アイ・ピー・エムのe-ワーク制度：コンピューター・ネットワークを活用、自宅勤務が行えるe-ワーク制度で育児・介護を支援 / 山口俊一 (p.6-10)
1559. 企業事例2：日立製作所の育児・介護制度：「F.F.プラン」(ジェンダー・フリー・ファミリー・フレンドリー・プラン)の実施による仕事と家庭の両立支援 / 日立製作所 (p.11-13)
1560. 調査解説：「子ども看護休暇制度」の1日も早い実現を：連合の「子ども看護休暇に関する調査結果」から / 市川清美 (p.14-21)
1561. 電気A社の育児休業規定(従業員600名)：介護休業規定 (p.22-26)
1562. 参考様式：労働省の「育児休業申出書」「育児休業取扱通知書」「育児休業・育児のための深夜業制限対象児出生届」(p.27-29)

fct GAZETTE [19-69] (1999.11)

1563. NPO活動への展開：NPO設立趣旨説明 / 鈴木みどり (p.3)
1564. NPO活動への展開：特定非営利活動法人FCT市民のメディア・フォーラム定款 (p.8-9)
1565. テレビと子どもをめぐる議論の流れ：Vチップからメディア・リテラシーへ / 宮崎寿子, 新開清子 (p.10-15)
1566. 女性2000年会議に向けての「女性とメディア」に関するNGOレポート / 村松泰子 (p.20-21)

fct GAZETTE [20-71] (2000.07)

1567. サミット2000：カナダ・トロントで開催される (p.3-11)
1568. 少年事件報道に見るメディアと市民の責任 / 鈴木信彦 (p.12-13)
1569. 私のメディア観：新聞報道について / 立花英人 (p.14-15)
1570. さまざまなメディア・リテラシーの取り組み：2000年3月25日(土)於：横浜女性フォーラム(神奈川県戸塚区) / 伊藤晶子[ほか] (p.18-20)

JIL@Work [1] (2000.03)

特集：新しい労働の世界を求めて

1571. ネット化する在宅ワーク：役割分担で障害者も含めチャンス拡大 / 神谷隆之 (p.24-28)

1572. 若者と仕事：「学校から職業への移行」の日本的特徴とその変化 / 本田由紀 (p.29-32)

1573. 仕事と家庭：仕事も家庭もバランスよく調査させる生き方のために / 大沢真知子 (p.33-34)

JIL@Work [2] (2000.06)

特集：若者の適職探しを支援する

1574. 「学校から職業へ」の移行の変化と大卒未就業者の卒業後の状況 / 小杉礼子 (p.10-14)
1575. フリーター予備軍の実像：卒業を目前にした高校生の意識 / 本田由紀 (p.15-19)
1576. フリーターの意識と実態：フリーター・ヒアリング調査より / 上西充子 (p.20-24)
1577. 就職活動・就業支援の現場から / 喜多信雄 (p.25-28)
1578. 諸外国における職業生活への移行支援から学ぶもの / 吉本圭一 (p.29-32)
1579. 若者をとりまく2つの危険：スキル形成の観点から / 守島基博 (p.33-37)

WINET情報 [4] (1999.09)

1580. 「婦人教育施設職員の抱える課題」：平成11年度婦人教育施設教員のためのセミナー参加者アンケート結果より / 小林千枝子 (p.10-11)
1581. エクアドル女性の現状と政策 / 江原裕美 (p.12-16)

WINET情報 [5] (2000.03)

1582. 隠された女性たちの素顔：サウディ・アラビア見聞録 / 中野洋恵 (p.18-23)

WINET情報 [6] (2000.09)

特集：国連特別総会「女性2000年会議」

1583. NGOの目から見た女性2000年会議：成果文書内容の実施にむけてのNGOの役割と課題 / 国信潤子 (p.3-5)

Women & work [133] (2000.09)

特集：仕事と家庭の両立を考える

1584. 日本における「ファミリー・フレンドリー」施策と企業の取組 / 脇坂明 (p.3-5)
1585. 男性の育児休業取得・子育て体験 / 堤浩一郎, 高倉信行 (p.6-7)
1586. 平成11年度女性雇用管理基本調査結果概要：女性の育児休業取得者は半数を超え、100人以上事務所では7割以上に / 労働省女性局女性福祉課 (p.8-10)
1587. 育児・介護を行う労働者の生活と集合の実態等に関する調査結果概要：育児休業を取得しなかった者の65.3%が改善点として「職場の理解」を挙げる / 労働省女性局女性福祉課 (p.11-12)
1588. 平成13年度厚生労働省重点施策 / 労働省女性局女性政策課 (p.13-14)
1589. 「男女雇用機会均等対策基本方針」の策定について / 労働省女性局女性政策課 (p.15-17)
1590. 「コース等で区分した雇用管理についての留意事項」について / 労働省女性局女性政策課 (p.18-21)
1591. 総合職女性の就業実態調査結果概要：総合職の3.5%が女性、総合職で働く理由は「仕事のやりがい」 / 21世紀職業財団 (p.22-25)
1592. 企業から：三笠運輸株式会社の女性活用 / 山中恵子

(p.26-28)

1593. 「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」を策定! / 労働省女性局女性労働課 (p.29-30)
1594. 女性2000年会議・ニューヨーク報告 / 吉本明子, 古谷典子 (p.32-35)
1595. 海外情報: EUにおける「男女均等法制と女性政策」(2): 「男女均等待遇指令の2000年改正案 / 溝口桂一郎 (p.36-39)
1596. 施設だより: 未来に向けての女性教育ナショナルセンター: 国立婦人教育会館 (p.40-41)
1597. 解説シリーズ: 短時間労働者雇用管理改善等助成金について / 労働省女性局女性労働課 (p.42-43)
1598. 沖縄労働局雇用均等室発: 南風(はえ)たより / 志賀加代子 (p.46-47)

Women & work [134] (2000.12)

特集: 雇用均等・児童家庭局の発足

1599. 鼎談: 雇用均等・児童家庭局の発足に向けて / 北浦正行, 棕野美智子, 村木厚子 (p.3-14)
1600. 雇用均等・児童家庭局の組織について / 労働省女性局庶務課 (p.15-16)

< 少子化時代の家族や企業の在り方を考える国際シンポジウム >

1601. EU企業における仕事と家庭の両立のための取組について / スーザン・ルイス (p.17-20)
1602. アメリカ企業における仕事と家庭の両立のための取組について / ラッセルC. デーヨ (p.21-22)
1603. 少子化時代における新たな家族や企業の役割を考える: 諸外国の事例を参考に / 佐藤博樹[ほか] (p.23-28)
1604. ファミリー・フレンドリー企業表彰について / 労働省女性局女性福祉課 (p.29-32)
1605. セイコーエプソン株式会社の育児介護支援制度について / 中條利治 (p.33-35)
1606. 平成12年度大学等卒業予定者就職内定状況等調査(平成12年10月1日現在)結果について / 労働省職業安定局業務調整課 (p.38-39)
1607. 海外情報: EUにおける「男女均等法制と女性政策」(3): 女性と男性の家庭生活と職業生活へのバランスのとれた参加 / 溝口桂一郎 (p.40-43)
1608. 三重労働局雇用均等室発: 東西日本の接点で / 鼎山信子 (p.44-45)
1609. 施設だより: 一人ひとりが21世紀を自分らしく生きるために: 静岡県女性総合センターあざれあ (p.46-47)

テーマ展示図書案内

女性教育情報センターでは、「男女共同参画社会の形成をめざした「学び」と「活動」」を平成12年度の総合テーマとして、会館が所蔵している資料の紹介と、女性問題に対する課題解決に資するためにテーマ展示を実施しています。今回は2000年10月～2001年3月の資料リストをご紹介します。

10～12月

● テーマ

「セクシュアリティをめぐる現在」

● ねらい

昨年埼玉医大において性転換手術が行われるなど、セクシュアリティをめぐる、性的マイノリティの立場からの動きも見られるようになりました。そこで、セクシュアリティや性についての規範をめぐる歴史的文化的流れをジェンダーの視点から探るとともに、現在の動きについても考えました。

1～3月

● テーマ

「政策決定の場における男女共同参画」

● ねらい

初めての女性知事の誕生、また各地で女性議員を育てるためのネットワークや、バックアップスクール等が広がり、これからますます女性の政治参画は進むものと思われれます。女性議員の進出による自治体、国の政策の変化と今後について考えました。

なお、平成13年度は「又エック新たなる飛翔 男女共同参画社会の形成をめざした「学び」と「活動」」を総合テーマに年4回の展示を行います。

4～6月 ● テーマ「学校におけるジェンダー・フリー」

7～9月 ● テーマ「新しい働き方の創造」を予定しています。

凡 例

No. 書名：副書名 / 編著者

出版社（出版年）請求記号

「セクシュアリティをめぐる現在」
(平成12年10月～12月)

1. アダムとイブのやぶにらみ：刺激的ヒューマン・ウォッチングのすすめ / 池上千寿子著
はまの出版 (1996) 367.9/A16
2. ある性転換者の記録 / 虎井まさ衛, 宇佐美恵子著
青弓社 (1997) 367.9/A79
3. 異性愛をめぐる対話 / 伊藤悟, 築瀬竜太編著
飛鳥新社 (1999) 367.9/I69
4. インターセクシュアル(半陰陽者)の叫び：性のボーダレス時代に生きる / 橋本秀雄, 小田切明徳著
かもがわ出版 (1997) 367.9/I57
5. XY：男とは何か / E・バダンテール著；上村くにこ, 饗庭千代子訳, 筑摩書房 (1997) 367/O42
6. 男でも女でもない性：インターセックス (半陰陽) を生きる / 橋本秀雄著, 青弓社 (1998) 367.9/O86
7. 女から男になったワタシ / 虎井まさ衛著
青弓社 (1996) 367.9/O66
8. Q&A同性愛を知るための基礎知識 / エリック・マーカス著；金城克哉訳, 明石書店 (1997) 367.9/Q1
9. クィア・スタディーズ '96, '97 / クィア・スタディーズ編集委員会編
七つ森書館 (1996,1997) 367.9/Ku23
10. クィア・パラダイス：「性」の迷宮へようこそ 伏見憲明対談集 / 伏見憲明著, 翔泳社 (1996) 367.9/Ku23
11. クローゼットの認識論：セクシュアリティの20世紀 / イヴ・コソフスキー・セジウィック著；外岡尚美訳
青土社 (1999) 367.9/Ku78
12. ゲイ・スタディーズ / キース・ピンセント, 風間孝, 河口和也 [著], 青土社 (1997) 367.9/G32
13. 「心の性」で生きる / 八岩まどか著
朝日ソノラマ (1998) 367.9/Ko44
14. 310人の性意識：異性愛者ではない女たちのアンケート調査 / 性意識調査グループ編
七つ森書館 (1998) 367.9/Sa61
15. ジェンダーと多文化：マイノリティを生きるものたち / 桑山紀彦編著, 明石書店 (1997) 367.2/J36
16. ジェンダー・トラブル：フェミニズムとアイデンティティの攪乱 / ジュディス・パトラー著；竹村和子訳
青土社 (1999) 367.2/J36
17. ジェンダーのレンズ：性の不平等と人間性発達 / サンドラL.ベム著；福富護訳
川島書店 (1999) 367.2/J36
18. 実践するセクシュアリティ：同性愛/異性愛の政治学 (アイデンティティ研究叢書, 1) / 風間孝, キース・ヴィンセント, 河口和也編集
動くゲイとレズビアン会 (1998) 367.9/J54
19. 知った気であるあなたのためのセクシュアリティ入門 / 関修, 木谷麦子編
夏目書房 (1999) 367.9/Sh92
20. 障害をもつ人たちの性：性のノーマライゼーションをめざして / 谷口明広編著
明石書店 (1998) 369.2/Sh95
21. 女性同性愛者のライフヒストリー / 矢島正見編著
学文社 (1999) 367.9/J76
22. 図解性転換マニュアル：カウンセリング、ホルモン療法から各種手術、戸籍の変更まで / 性の問題研究会著
同文書院 (2000) 367.9/Z6
23. 性教育が深まる本：[小・中・高校]ピギナーのための20の講話と1つの対話 / 村瀬幸浩著
十月舎 (1999) 367.9/Se17
24. 性転換手術は許されるのか：性同一性障害と性のあり方 / 山内俊雄著
明石書店 (1999) 367.9/Se19
25. 性同一性障害：性転換の朝 / 吉永みち子著
集英社 (2000) 367.9/Se17
26. 性同一性障害はオモシロイ：性別って変えられるんだよ / 佐倉智美著, 現代書館 (1999) 367.9/Se17
27. 性の境界：からだの性とこころの性 (岩波科学ライブラリー；74) / 山内俊雄著
岩波書店 (2000) 367.9/Sh19
28. 性の誤解：性転換-男の体を持った女 / 河添恵子著
恒友出版 (1997) 367.9/Se19
29. 性の人権教育論：21世紀を拓くアクティビティ / 山本直英著, 明石書店 (1998) 367.9/Se19
30. 性の倫理学 / 伏見憲明著, 朝日新聞社 (2000) 152/Se19
31. セクシュアリティ / ジェフリー・ウィークス著；上野千鶴子監訳
河出書房新社 (1996) 367.9/Se45
32. セクシュアリティの社会学 (岩波講座現代社会学；10) / 井上俊 [ほか] 編, 岩波書店 (1996) 361/I95
33. セクシュアリティをめぐる (シリーズ「女性と心理」；第2巻) / 河野貴代美編
新水社 (1998) 367.9/Se45

34. セクシュアル・ライツ：人類最後の人権 / 山本直英編著, 明石書店 (1997) 367.9/Se45
35. セクシュアル・ライツ入門：子どもの性的人権と性教育のための20章 / 浅井春夫著
十月舎 (2000) 367.9/Se45
36. セックス・性・世界観：新しい関係性を探る / 伊田広行編著, 法律文化社 (1997) 367.9/Se44
37. 先生のレズビアン宣言：つながるためのカムアウト / 池田久美子著. かもがわ出版 (1999) 367.9/Se73
38. 男性同性愛者のライフストーリー / 矢島正見編著
学文社 (1997) 367.9/D38
39. 同性愛の基礎知識 / 伊藤悟著
あゆみ出版 (1996) 367.9/D89
40. トランスジェンダーの仲間たち (寺子屋ブックス ; 09) / 虎井まさ衛著, 青弓社 (2000) 367.9/To66
41. トランスジェンダリズム：性別の彼岸：性を越境する人びと / 松尾寿子 [著]
世織書房 (1997) 367.9/To66
42. 21世紀・性と性教育のゆくえ / 村瀬幸浩著
大月書店 (1998) 367.9/N73
43. 脳が決める男と女：性の起源とジェンダー・アイデンティティ / サイモン・ルベイ著; 新井康允訳
文光堂 (2000) 491.3/N97
44. 脳に組み込まれたセックス：なぜ男と女なのか / デボラ・ブラム著; 越智典子訳
白揚社 (2000) 467/N97
45. バイセクシュアルという生き方 / フリッツ・クライン著; 河野貴代美訳, 現代書館 (1997) 367.9/B14
46. はちみつパイブレーション / 北原みのり著
河出書房新社 (1998) 367.9/H11
47. 発情装置：エロスのシナリオ / 上野千鶴子著
筑摩書房 (1998) 367.9/H42
48. パブリック・セックス：挑発するラディカルな性 / パット・カリフィア著; 東玲子訳
青土社 (1998) 367.9/P11
49. ポリセクシュアル・ラヴ：ひとつではない愛のかたち / 石井達朗著, 青弓社 (1997) 367.9/P82
50. Missダンディ：男として生きる女性たち / 外山ひとみ著, 新潮社 (1999) 367.9/Mi53
51. メイル・ボディ：クィアの90年代 (Queer Japan ; Vol.1) / 伏見憲明編
勁草書房 (1999) 367.9/Me25
52. ゆらぎ (シリーズ「性を問う」 ; 5) / 大庭健 [ほか] 編集, 専修大学出版局 (1998) 367.9/Sh88
53. わたしが最後にドレスを着たとき：性同一性障害と診断されたある「少女」の回想 / ダフネ・ショリンスキー, ジェーン・メレディス・アダムス著; 脇山真木訳, 大和書房 (1999) 936/W47
54. Body space : destabilizing geographies of gender and sexuality / Nancy Duncan
Routledge (1996) 367.2/B61
55. Confessions of a gender defender : a psychologist's reflections on life among the transgendered / Randi Ettner, Chicago Spectrum Press (1996) 367.9/C86
56. Difference troubles : queering social theory and sexual politics (Cambridge cultural social studies) / Steven Seidman, Cambridge University Press (1997) 367.9/D73
57. Hermaphrodites and the medical invention of sex / Alice Domurat Dreger, Harvard University Press (1998) 367.9/H53
58. Lessons from the intersexed / Suzanne J. Kessler, Rutgers University Press (1998) 367.9/L56
59. A natural history of homosexuality / Francis Mark Mondimore, Johns Hopkins University Press (1996) 367.9/N58
60. Male femaling : a grounded theory approach to cross-dressing and sex-changing / Richard Ekins foreword by Anselm Strauss, Routledge (1997) 367.2/Ma39
61. Queer studies : a lesbian, gay, bisexual, & transgender anthology / Brett Beemyn and Mickey Eliason, New York University Press (1996) 367.9/Q3
62. Sex changes : the politics of transgenderism / Pat Califia, Cleis Press (1997) 367.9/Se97
63. Sexual orientation : toward biological understanding / Lee Ellis and Linda Ebertz ; foreword by Brian A. Gladue, Praeger (1997) 367.9/Se97
- < 雑誌特集号 >
・現代思想 増刊：レズビアン/ゲイ・スタディーズ
青土社 (1997.5)

「政策決定の場における男女共同参画」
(平成13年1月～3月)

1. 秋田県女性議会報告書 / 秋田県生活環境部青少年女性課, 秋田県生活環境部青少年女性課 (1999) 318/24
2. 汗・涙かがやいて: 埼玉女性議員107人奮戦記 / 滝いく子著, かもがわ出版 (1998) 318/A91
3. 新しき明日の来るを信ず: はじめての女性代議士たち / 岩尾光代著, 日本放送出版協会 (1999) 314/A94
4. Up to 30: 女性登用のお願い / 名古屋市男女共同参画推進会議
名古屋市男女共同参画推進会議 (199-) 318/55-Na
5. 阿波女を議会に!バックアップスクール講座記録集 / 阿波女を議会に!バックアップスクール [編]
阿波女を議会に!バックアップスクール (1999) 318/A97
6. 糸満市女性模擬市議会会議録 / 糸満市企画部女性・平和推進課
糸満市企画部女性・平和推進課 (1999) 318/99
7. 上田市制施行80周年記念女性議会報告書 / 上田市政策推進部企画課
女性議会実行委員会: 上田市 (1999) 318/52
8. 男を消せ!: ノルウェーを変えた女のクーデター / 三井マリ子著, 毎日新聞社 (1999) 367.2389/O86
9. 女たちが動く香川が動く: '95香川県議選手づくり選挙の記録 / 女性を議会に!みんなと政治をつなぐ会 [編]
女性を議会に!みんなと政治をつなぐ会 (1995) 314/O66
10. 女なら二足のわらじ / 広岡立美著
有信堂高文社 (1998) 304/O66
11. 女の議会報告書: 議席で咲かそうあなたの意見 / 港区区民部区民課, 港区区民部区民課 (1997) 318/36
12. 女ひとり地方議会に春一番: 新入り議員の涙と笑 / 小川みさ子著, BOC出版部 (1999) 318/O66
13. 99女のゼネスト: 第3回「女のゼネスト」記録・資料集 / 99「女のゼネスト」実行委員会編
99「女のゼネスト」実行委員会 (1999) 367.2/O66
14. 国の審議会等の女性委員の割合は19.8% (国の審議会等における女性委員の参画状況調べ: [平成11年]) / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 [編]
内閣総理大臣官房男女共同参画室 (1999) 367.1/Ku45
15. GENDER EQUALITY: 女性の政治への参画: ノルウェー王国・オランダ王国を訪ねて (東京都男女平等推進
視察団報告書: 平成8年度) / 東京都生活文化局女性青少年部女性計画課編
東京都生活文化局女性青少年部女性計画課 (1997) 379/36
16. ジェンダー・ポリティックス: 変革期アメリカの政治と女性 / 進藤久美子著, 新評論 (1997) 312/J36
17. 10年後はもっと働ける: 大阪初の女性府知事候補8万人のYES / 藤木美奈子著
出版文化社 (2000) 318/J95
18. 消費は毎日の投票: 地球時代の女性と政治 / 久保田真苗著
日本社会党中央本部機関紙局 (1995) 367.21/Sh95
19. 女性議員ゼロ議会をなくそう: あなたの想いを行動に / 「女性議員ゼロ議会をなくそう」リレー・フォーラム実行委員会
「女性議員ゼロ議会をなくそう」リレー・フォーラム実行委員会 (1999) 318/J76
20. 女性候補者を勝利に導くガイドブック: 全米女性政治コーカス選挙マニュアル / 全米女性政治コーカス著;
いきいきフォーラム2010編訳
築地書館 (2000) 314/J76
21. 女性国会報告書: 女性の視点から見た21世紀の日本: 男女共同参画社会を目指して: 参議院50周年記念 / 参議院事務局編, 参友会 (1998) 367.1/J76
22. 女性参政関係資料集: 女性参政50周年記念 / 市川房枝記念会出版部編集
市川房枝記念会出版部 (1997) 314/J76/R
23. 女性と政治 / 御巫由美子著, 新評論 (1999) 310/J76
24. 女性の政策決定参画状況調べ (平成12年8月) / 内閣総理大臣官房内政審議室 (婦人問題担当室)
内閣総理大臣官房内政審議室 (婦人問題担当室) (2000) 367.1/J76
25. 女性のための草の根まちづくり: ノルウェーの地域計画における女性参画プロジェクト / ノルウェー環境省編; 女性とまちづくり研究会訳
かもがわ出版 (1999) 318/J76
26. 女性のための政治セミナー事業報告書: 政策決定の場への参画 / やまぐち女性財団
やまぐち女性財団 (1998) 367/77
27. 女性のデータブック: 性・からだから政治参加まで / 井上輝子, 江原由美子編
有斐閣 (1999) 367.21/J76/R
28. 女性副知事サミット: 男女共同参画社会・新時代へのメッセージ: 報告書 / 女性副知事サミット実行委員会 [編]
[女性副知事サミット実行委員会] (2000) 318/J76
29. 政治と女性 (日本女性史論集; 2) / 黒田弘子, 長野ひろ子編

- 吉川弘文館 (1997) 367.21/N71
30. 政党の女性政策アンケート調査報告 / 梶本玲子アンケート担当; 中嶋里美G-Hコーカス担当
北京JAC事務局 (1998) 315/Se19
31. 絶対平和の生涯: アメリカ最初の女性国会議員ジャネット・ランキン / H・ジョセフソン著; 小林勇訳
藤原書店 (1997) 289/Z3
32. 1946.4.10: 初の婦人参政権行使と日本女性自立への出発 (たびだち) / 一冊の会 法女性学サロン読み合わせ分校 [著]
大槻明子 (1999) 314/Se69
33. 全地方議会女性議員の現状 (女性参政資料集; 1999年版) / 市川房枝記念会出版部編集
市川房枝記念会出版部 (1999) 314/Z3/R
34. 大丈夫、次はゆいが手伝うから: ゲータラママの町議会奮闘記 / 神崎千香子著
鉦脈社 (1995) 318/D19
35. 男女がともにつくる社会: 世界の動きと先進国の今: ワールド・フレンドシップ・フォーラム21 外交の窓inふくしま / 福島県国際課編
福島県国際課 (1999) 319/26
36. 男女共創・模擬議会報告書 / 宮城県環境生活部女性青少年課
宮城県環境生活部女性青少年課 (2000) 318/23
37. Cheer up!: 女性と政治のイイ関係 / 吉田里江著
近代文芸社 (1999) 367.2/C37
38. 辻元清美の「今からでも、変えられる」 / 辻元清美著
第三書館 (2000) 310/Ts43
39. デイジジョン・メイキングへの女性の参画
大学婦人協会 (1997) 367.2/D78
40. 東京における女性議員の議会活動に関する調査・研究 / 女性と地方自治を考える会 [編]
女性と地方自治を考える会 (1995) 318/To46
41. 徳島のがんばる女性議員: アンケート結果 / 「阿波女を議会に!」バックアップスクール実行委員会 [編]
「阿波女を議会に!」バックアップスクール実行委員会 (1999) 318/To43
42. ひろしま女性議会: ひろしま女性大学広島校同窓会ミレニウム事業: 女性の社会参画をキーワードにして広島県の行政を考える / ひろしま女性大学広島校同窓会『ひろしま女性議会』実行委員会 (2000) 318/H73
43. 副知事日記: 私の地方行政論 / 坂東真理子 [著]
大蔵省印刷局 (1998) 318/F74
44. フツの女性が選挙で勝つ方法 / 女性議員をふやす会編著, 童話館出版 (1998) 318/F97
45. 防府市女性議会 / 防府市女性団体連絡協議会
- 防府市企画調整部地域振興課女性行政係 (1998) 318/77
46. 負けても勝ち: ぶらすONEの選挙顛末記 / 岡部香月 [ほか] 著, ぶらすONE事業企画 (1998) 318/Ma33
47. ママは大臣パパ育児: ヨーロッパをゆさぶる男女平等の政治 / 三井マリ子著
明石書店 (1995) 367.23/Ma41
48. マレーシアとシンガポールにおける女性と政治: ナショナルリズム・国家建設・ジェンダー / 田村慶子著
アジア女性交流・研究フォーラム (1999) 312/91-Ki
49. 三重の女性: 男女共同参画社会を目指して
まほろばネットワーク・生活関連グループ (1995) 367.2156/Mi15
50. 模擬議会『さが市女性議会会議録』 / 佐賀市, 佐賀市教育委員会
佐賀市教育委員会・生涯学習課女性室 (1996) 367/92
51. やまぐち一日女性県議会報告書: 男女共同参画社会の実現をめざして / やまぐち一日女性県議会実行委員会
やまぐち一日女性県議会実行委員会 (1999) 318/77
52. わかりやすい男女共同参画政策と女性のエンパワメント / 川橋幸子著
アブレコミュニケーションズ (1998) 367.1/W25
53. Panel III, political empowerment of women (item 5(c) of the provisional agenda): issues in women's political empowerment in the Asia-Pacific region(ESCAP high-level intergovernmental meeting to review regional implementation of the Beijing platform for action) Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (1999) 367.1/E19
54. The politics of affirmative action: "women", equality and category politics / Carol Lee Bacchi
SAGE (1996) 367.2/P76
55. Towards partnership between men and women in politics, New Delhi, 14-18 February 1997(Series "Reports and documents"; no 29)
Inter-Parliamentary Union (1997) 367.2/To77
56. Women and empowerment: participation and decision making(Women and world development series) / Marilee KarlLondon
Zed Books (c1995) 367.2/W85
57. Women in electoral politics: lessons from Norway / Jill M. Bystydzienski
Praeger (c1995) 312.389/W85
58. Women in decision-making in co-operatives: Report of a regional conference / Lota Y. Bertulfo ed.
[AWCF, ICAROAP] (1997)

新着図書案内

当会館女性教育情報センターに2000年9～2001年2月までに受贈された資料の中から、一般には入手しにくく、女性問題学習に参考になるとと思われる資料をご紹介します。

1. 「糾われる開発：インド・グジャラートの女性組織運動とエージェンシー」文部省科学研究費・特定領域研究(A)「南アジアの構造変動とネットワーク」(2000.2)
2. 「アジア・太平洋地域女性による国際平和への貢献のためのワークショップ及び女性の社会参加のための日本語指導ボランティア」報告書(婦人国際平和自由連盟日本支部報告書;1999年度)婦人国際平和自由連盟日本支部(2000.3)
3. 「アジアの女性起業家」アジア女性交流・研究フォーラム(2000.12)
4. 「あすをひらく業者婦人(おんな)たち」全国商工団体連合会婦人部協議会(2000.6)
5. 「アンペイド・ワーク政策評価の枠組みづくりをめけて」カナダ女性の地位庁(2000.4)
6. 「オランダ・フランスにおける子育て支援視察報告」T-GAL(Think Globally Act Locally!)(2000.8)
7. 「男 & 女：命の値段はなぜ違う」佐賀県立女性センター(2000.3)
8. 「風と光と夢：写真集やまがた農おんな第1集」山形県トータルライフ研究会(2000.1)
9. 「教科書にみる男女共生：福井市女性問題研究会「テングダー'98」報告書：STEP・V」福井市女性問題研究会「テングダー'98」(1999.3)
10. 「黒田チカ資料目録」お茶の水女子大学ジェンダー研究センター(2000.3)
11. 「高校生が「学校」で身につけるもの(モノグラフ・高校生 vol.61)」ベネッセ教育研究所(2001.2)
12. 「高知発女性白書：ペーパーメント白書No.9総集」玖波井加代子(2000.3)
13. 「高齢期の女性の多様な生き方とその支援方策」えひめ女性財団(2000.12)
14. 「国連特別総会「女性2000年会議」の概要総理府男女共同参画室」(2000.11)
15. 「国連特別総会女性2000年会議：NGOフォーラム参加報告書」北京JAC久留米(2000.12)
16. 「心のケアワーカーとしての養護教諭：10年後の全国調査(モノグラフ・小学生ナウ vol.20-3)」ベネッセ教育研究所(2001.1)
17. 「子育てしやすい社会づくりをめざして報告書：夢ある子育て・希望ある社会参画」千葉県女性センター(2000.3)
18. 「30代男性の結婚意識と生活に関する調査報告と提言：首都圏における30代男性の「未婚事情」」日本青年館(2000.3)
19. 「シェルターにおける援助に関する実態調査」シェルター・DV問題調査研究会議調査4担当国広陽子他(2000.8)
20. 「シェルターを核とした関係援助機関の活動連携実態および法制度・運用に関する調査」シェルター・DV問題調査研究会議調査3担当戒能民江, 納米恵美子(2000.8)
21. 「ジェンダー関係の差別の構造に関する実証的研究」神田道子(2000.3)
22. 「市町村男女共同参画計画策定マニュアル」岩手県(2001.1)
23. 「「自分」という存在(からざレポート2000vol.1)」くもん子ども研究所(2000.4)
24. 「自分らしく生きるためにIV：続・女性に対する暴力」東京女性財団(2000.3)
25. 「市民版 かまがや男女共同参画プラン」女性のネットワーク鎌ヶ谷(1999.12)
26. 「社会参画する力をつける学習：調査活動を中心に」「女性のエンパワメントのための男女共同参画学習促進事業」実行委員会(2000.3)
27. 「14歳の本音を聴くは、どのようにして生まれたか?：これからの女と男のカンケイ」江の島塾BENTEN(2000.5)
28. 「生涯を通じた女性の健康施策に関する研究会報告書」厚生省児童家庭局母子保健課(1999.7)
29. 「生涯を通じた女性の健康支援に関する意識調査報告書」元氣都市中津川のまちおこし実行委員会(1999.12)
30. 「少子化対策に関する国際比較研究報告書」国際長寿センター(2000.3)
31. 「少子化対策(社会保障制度改革の提言(その3))」社団法人経済同友会(2000.1)
32. 「少子化対策推進基本方針」少子化対策推進関係閣僚会議(1999.12)
33. 「少子社会における未婚者の意識とライフスタイル(千葉県における若者の意識調査結果報告書)」千葉県社会部児童家庭課(2000.3)
34. 「女性グループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック」大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)(2001.1)
35. 「女性センターの未来：Feminist social workの可能性」ジェンダーとケア研究会(1999.5)
36. 「女性の視点からみた先端生殖技術」東京女性財団(2000.3)
37. 「女性のライフコースにおける女性関連施設の果たす役割を探る」女性のライフコース研究会(1999.3)
38. 「女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会[資料]([第1回],第2回,第3回))」女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会([2000])

39. 「シングルマザーの目でチェックしたひとり親家庭への行政サービスの比較」しんぐるまざあず・ふぉーらむ(2000.1)
40. 「新婚主婦とベテラン主婦計400組に聞く『夫の健康管理』に関する調査調査報告書」(株)ヤクルト本社(2000.11)
41. 「『数学とジェンダー』講演集3及びIOWMEの動向(数学教育におけるジェンダーの視座に基づいたカリキュラムの開発4)」瀬沼花子(2000.3)
42. 「正義への義務：日本の借金地獄へ人身売買されるタイ人女性」売買春問題ととりくむ会(2000.9)
43. 「生協で働く女性・男性職員のくらし方と働き方調査報告」日本生活協同組合連合会(2000.12)
44. 「性についてのレッスンノート：一緒に考えよう!お互いの「性」のこと、「自分らしく生きる」ってこと。」泉州地域男女共同参画社会づくり協議会, ルームシグマ(2000.12)
45. 「全国在宅保育サービス実施状況等実態調査：平成11年度報告書」社団法人全国ベビーシッター協会(2000.3)
46. 「全国女性シェルターネット2000年東京大会：第1分科会 私たちの欲しいDV防止法討議資料」女のスペース・おん([2000])
47. 「第6回仕事と家庭を考える月間：「仕事と家庭、どっちが大事?」「どっちも大事。」」労働省女性局(2000.9)
48. 「誰のための家族?：制度/政策と女性(女性学連続講演会第4期)」大阪女子大学女性学研究センター(2000.10)
49. 「男女共同参画社会の形成についての意識と実態に関する調査研究報告書」兵庫県長寿社会研究機構家庭問題研究所(2000.3)
50. 「男女共同参画影響調査研究会海外調査報告書」総理府男女共同参画室男女共同参画影響調査研究会(2000.12)
51. 「男女共同参画基本計画」総理府男女共同参画室(2000.12)
52. 「男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方：21世紀の最重要課題：答申」男女共同参画審議会(2000.9)
53. 「男女共同参画社会に関する世論調査：男性のライフスタイルを中心に」総理府内閣総理大臣官房広報室([2000])
54. 「男女共同参画社会の実現をめざして：見なおしませんかあなたのまわり私のまわり報告書」女性のエンパワーメントのための男女共同参画学習促進事業実行委員会([2000])
55. 「男女共同参画の視点に立った政策過程の再構築：男女共同参画影響調査研究会報告書」総理府男女共同参画室男女共同参画影響調査研究会(2000.12)
56. 「男女平等教育に関する学習ガイドブック：ジェンダーフリーな教育環境づくりのために」男女平等教育研究会(1999)
57. 「中学生の権利意識(モノグラフ・中学生の世界 vol.66)」ベネッセ教育研究所(2000.9)
58. 「中学生を持つ母親たち(モノグラフ・中学生の世界 vol.67)」ベネッセ教育研究所(2001.2)
59. 「中間施設(ステップハウス)事例報告書」神奈川県立かながわ女性センター(2000.1)
60. 「『長期休暇制度と家庭生活の在り方に関する国民会議』報告書：『長期休暇(L休暇)』の普及に向けて：しっかり休み、生き生き働く『いきいきライフ』の提案」労働省労働基準局賃金時間部労働時間課(2000.7)
61. 「低年齢少年の価値観等に関する調査」総務庁青少年対策本部(2000.12)
62. 「DVドメスティック・バイオレンス：夫・パートナーからの暴力：対応の手引き」静岡県生活・文化部男女共同参画室(2000.1)
63. 「ドメスティック・バイオレンスとの闘い：アメリカ・アジアの取り組みから：『女性に対する暴力を考える国際シンポジウム』報告書」兵庫県立女性センター・イーブン(2000.8)
64. 「ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する資料：ドーンセンター情報ライブラリー所蔵」大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)情報ライブラリー(2000.11)
65. 「新座市男女共同参画推進条例」新座市企画総務部自治振興課([2000])
66. 「21世紀に羽ばたくパートナーシップ彩の国：『女性2000年会議』派遣団報告書」埼玉県(2000.8)
67. 「21世紀の女子高等教育を考える：創始100年の軌跡を踏まえて」私立女子高等教育創始100周年事業委員会(2000.12)
68. 「2000 ベビーシッターNOW：平成11年度実態調査報告書」社団法人全国ベビーシッター協会(2000.3)
69. 「2000年全国業者婦人の実態調査：仕事・くらし・健康」全国商工団体連合会婦人部協議会(2000.10)
70. 「日・北欧高齢化に関する国際交流事業報告書」国際長寿センター(2000.3)
71. 「日本人女性を対象としたドメスティック・バイオレンスの実態調査」シェルター・DV問題調査研究会議(2000.3)
72. 「日本の女性へしあわせのプレゼント：日本国憲法草案に『男女平等』を書いたひととベアテさんをふたたび迎える」女性問題研究会TSU・アイリス(2000.4)
73. 「乳がん治療・日本の医療：アイデアフォー講演録」アイデアフォー(1999.3)
74. 「『パラサイト・パパ』『パラサイト・ママ』の実態、『パラサイト・シングル』のその後(からざレポート2000vol.2)」くも子ども研究所(2000.9)
75. 「被害者サポート：市町村に必要な被害者支援第二版(改訂版)」渋谷とみこ,菅原なおし(2000.11)
76. 「ふたたびはたらく：女性たちの自分起こし、仕事起こし」(社)全国消費生活相談員協会(2000.3)
77. 「ベアテさんの涙から生まれた男女平等：日本国憲法に男女平等を書いたベアテ・シロタ・ゴードンさん講演とシンポジウム記録誌」こうち・女性と政治をつなぐ会,出すぎる杭の会(2000.1)

78. 「平成11年度女性雇用管理基本調査結果報告書：育児・介護休業制度等実施状況調査」労働省女性局(2000.12)
79. 「北京会議から女性2000年会議へ：男女共同参画社会基本法を中心に：エポック10トーク」豊島区立男女平等推進センター(2000.3)
80. 「北京JAC第5回全国シンポジウムプログラム・資料」北京JAC第5回全国シンポジウム実行委員会(2000.7)
81. 「ベビーシッター：家庭での子育てを支える」社団法人全国ベビーシッター協会(2000.6)
82. 「放送ウーマン1999」日本女性放送者懇談会(2000.7)
83. 「暴力は、たにんごと!?：多くの人に関わる事」(財)日本女子社会教育会([2000])
84. 「マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー：経済危機の前夜まで：クアラルンプール調査報告書」アジア女性交流・研究フォーラム(2000)
85. 「まん真ん中の女たち：岐阜県女性史」岐阜県女性史集委員会(2000.1)
86. 「未知への勇氣：受け継がれる津田スピリット」津田塾大学創立100周年記念誌出版委員会(2000.1)
87. 「山口県男女共同参画推進条例の考え方：夢わかちあい個性きらめく明日へ」山口県環境生活部女性青少年課男女共同参画推進班([2000])
88. 「有期労働契約の反復更新に関する調査研究会報告」[労働省](2000.9)
89. 「許すのは私の役目ではない：性的虐待を生きのびて：リнда・ハリディ・サムナーさん講演会報告書」横浜市女性協会(2000.3)
90. 「幼児教育の充実に向けて（中間報告）」幼児教育の振興に関する調査研究協力者会合(2000.7)
91. 「Life design(ライフデザイン)：男女共同参画社会基本法：男(ひと)と女(ひと)共に生きる社会」秋田市男女共生社会に関する懇話会(2000.3)
92. 「私達が提案する滋賀県男女平等推進条例案」提出に至る経過」男女共同参画社会基本条例を推進する会(2000.12)

新刊案内

又エック女性学ビデオシリーズ

「ジェンダー・フリーな社会をめざして」(第1巻～第3巻)



このたび、又エック女性学ビデオシリーズ「ジェンダー・フリーな社会をめざして」第1巻～第3巻を刊行しました。このビデオシリーズは、『女性学教育/学習ハンドブック』（国立婦人教育会館 女性学・ジェンダー研究会編著、有斐閣、1999年）をもとに、女性学やジェンダーに関する学習の場で活用できるビデオ教材を作りたいという思いから、又エックが企画し、ハンドブックの執筆者の監修により実現したものです。

第1巻は、「ジェンダーってなに?～自分らしさの発見～」(46分)。「女はこう」「男はこう」あるいは「男の役割」「女の役割」とされるようなジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）に気づき、そのさまざまなありようを見つめながら、ジェンダー解消の道を探ります。ひとりの若い女性を案内役にして、親の世代との考え方のギャップや男女のつきあいにまつわるジェンダ

ーなどが話題となる学生の座談会、ジェンダー・フリーな教育をめざす小学校の授業における実践、マスメディアの影響についての解説（井上輝子・和光大学教授）、トランスジェンダーの作家、蔦森樹さんへのインタビューなどから構成されています。

第2巻「彼女たちの挑戦～女性たちの多様な働き方～」(40分)は、さまざまな働き方をしている女性、男性へのインタビューが収録されています。女性がほとんどいなかった建築業界に参入し女性の大工さんとして活躍している荻原みどりさん、百貨店の高島屋でキャリア・アップを重ね、管理職として後進を育てることに意欲を燃やす田沢幸代さん、マスメディアの送り手として共同通信社編集局社会部記者の飯田裕美子さん、第一子は妻が、第二子は夫が育児休業を取得し、子育てと仕事の両立をはかってきた渡辺良子さんと渡辺康英さん、ワーカーズ・コレクティブという新しい経営形態での仕出し弁当や配食サービスをしている「にんじん」の女性たちが、自らの経験と熱い思いを語ります。

第3巻「いまどき『女と男』事情～恋愛・結婚・子育て」(42分)は、いきなりトレンドドラマが始まります。結婚を控えたある若いカップルのやりとりを軸に、夫婦別姓、三歳児神話、子育てなどをめぐる戸惑いや心の揺らぎが描かれます。その後、専門家による解説（山田真・小児科医、金井淑子・横浜国立大学教授）があり、今後の展望が語られていきます。

学習講座やビデオフォーラムなどで、男女共同参画についての学習、討論を進める際のきっかけ、素材として、ご活用いただければ幸いです。又エックに来館の際は、館内視聴ができます。女性教育情報センターへお申し込みください。購入申し込み・問い合わせは、ジェムコ出版株式会社（TEL 03-5428-8245）まで。なお、続刊も企画中ですので、ご意見、ご要望をお待ちしています（事業課まで）。

（各巻20,000円+消費税）



編集後記

会館にある木々も次々と花開く季節となりました。21世紀を迎えて最初のWINET情報は、会館運営委員である神津十月氏に「高度な情報センターを目指せ」と題して、サイレントな女性たちの情報を浮かび上がらせる情報センターへという、女性センターの情報部門への非常に重要な提言をいただきました。

会館では、多くのボランティアの方々に活躍していただいておりますが、その中で今号では情報センターのボランティアグループ「T・Vが取組んだ、又エックフェスティバル2000」での展示をとりあげました。情報センターに寄贈されている、都道府県・政令指定都市発行の女性広報誌6年分を分析し、展示するという大変な作業でしたが、いきいきと熱心に取組まれていらっしゃる姿が印象的でした。

情報センターからは、女性統計データベースをご紹介します。女性の状況を示すための基礎資料となるものが統計です。会館としてもより一層使われるよう、情報の更新、新しい統計を取り上げる等に取り組んでまいりますので、どうぞご利用ください。

国立婦人教育会館は、本年1月6日から国の中央省庁等の改革により「国立女性教育会館」と名称を変更いたしました。それに伴い、情報センターも「女性教育情報センター」に変わりました。なお、4月1日より、「独立行政法人国立女性教育会館」となります。名称と運営形態は変わりますが、今後も研修・交流・情報・調査研究を4つの柱に、男女共同参画社会の実現へ向けて努力してまいりますので、御支援・御協力くださいますようお願いいたします。

(M.M)

WINET情報 No.7

発行日 平成13年3月30日

編集・発行 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地

電話 0493(62)6711(大代表)

ホームページ URL <http://www.nwec.go.jp>

E-mail webmaster@nwec.go.jp

印刷 株式会社青松社

電話 03(3479)7111(大代表)

